国民体育大会マーク

昭和22年に国民体育大会のシンボルとして制定され、
第2回大会から使用されることになった。
30度右傾斜した赤色の火炎を直径10分の1幅の紺青色の円帯で囲んである。

総合開会式・総合閉会式会場



岐阜メモリアルセンター



長良川競技場

愛称

ぎふ清流国体

美しい清流に恵まれた私たちのふるさと岐阜県。
爽やかな川の流れのように、人々が出会い、絆を深める舞台となることを願っています。

合言葉

輝け　はばたけ　だれもが主役

大会にかかわるすべての人々がキラキラと輝き、夢と感動を分かち合い、
ともに未来をつくる国体にしていきます。

心をひとつに　日本再生

2011年3月に発生した東日本大震災を踏まえ、震災を契機にできた岐阜県と
東北との繋がり、絆を復興のメッセージとして全国へと発信し、
本大会を「被災地を元気づける大会」、
さらには「日本再生のシンボルとなる大会」にしていきます。

マスコットキャラクター

キラキラした川の水面に住んでいるキラキラの妖精です。
元気いっぱいでスポーツと自然が大好き。

ミナモ



目　次

あいさつ	第６７回国民体育大会会長　公益財団法人　日本体育協会会長	張　富士夫	1
あいさつ	文部科学大臣	平野博文	2
あいさつ	公益財団法人　日本バドミントン協会会長	綿貫民輔	3
歓迎のことば	ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会会長	古田肇	4
歓迎のことば	ぎふ清流国体池田町実行委員会会長	岡崎和夫	5
歓迎のことば	岐阜県バドミントン協会会長	杉山忠国	6

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程 ・・・

あ　い　さ　つ



第６７回国民体育大会会長
公益財団法人　日本体育協会
会　長　　張　　富　士　夫

美濃の清流と飛騨の秀峰が見事な風景を織りなし、関ヶ原や岐阜城など激動の歴史の舞台として名高いここ岐阜県において、天皇陛下・皇后陛下のご臨席を仰ぎ、東日本大震災復興支援・第67回国民体育大会が開催されますことは、誠に意義深いことであります。

スポーツを通して広く国民に夢と希望を与え、明るく豊かな国づくりを目指しスタートした国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、我が国最大のスポーツの祭典として充実、発展を遂げてまいりました。

また、昨年、日本体育協会は、嘉納治五郎先生が前身である大日本体育協会を創立してから100周年を迎えました。そして、先ごろ行われたロンドンオリンピックは、わが国が初めて参加した1912年のストックホルムオリンピックから100年目となる記念すべき大会でありました。

スポーツは今や世代や国境を越えて大きく広がり、私たちの生活に深く根差したものとなっておりますが、これからの100年においてもより一層浸透・発展し、豊かな社会と誇れる未来をもたらすものと確信しております。

このような中、「ぎふ清流国体」の愛称のもと開催される本大会は、昭和40年の第20回大会以来、47年ぶりの岐阜県での開催であり、207万県民の皆さんが心のこもった岐阜県ならではの国体を体現するため、その準備に万全を尽くされた大会です。

全国から厳しい予選を勝ち抜き、栄えある郷土の代表として参加された選手の皆さんは、フェアプレイ精神のもと日頃鍛えた力と技を存分に発揮されるとともに、岐阜県の皆さんとの交流の輪を広げられ、実り多い大会とされるよう切望いたします。

また、今大会に全国各地から参加された選手の皆さんの全力で競技に取り組む姿が、昨年の東日本大震災をはじめ、全国各地で頻発している自然災害等により被災された皆様の力となることを、大会に関係する方々とともに主催者の一員として強く願っております。

終わりに、「ぎふ清流国体」の開催にあたり、長年諸準備にご尽力をいただいた地元岐阜県をはじめ、ご関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から感謝申し上げ、ごあいさつといたします。

あ　い　さ　つ



文部科学大臣

平　野　博　文

とうとうと緩やかに流れる長良川をはじめ数多くの清流を擁し、北アルプスの名峰笠ヶ岳や乗鞍岳などたくさんの山々に囲まれた山紫水明の魅力溢れるここ岐阜県において、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、東日本大震災復興支援第６７回国民体育大会「ぎふ清流国体」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

今年は、４年に一度の夏季オリンピックがロンドンで開催され、各競技で熱戦が繰り広げられました。選手達が活躍する姿は、国民に誇りと喜び、夢と感動を与え、国民のスポーツへの関心を更に高めるだけでなく、日本の社会に活力を生み出し、国民経済の発展に広く寄与します。

６７回の歴史を数える国民体育大会は、我が国の最大のスポーツの祭典として、広く国民の間に親しまれています。スポーツの振興・発展に極めて重要な役割を果たすとともに、開催を通じて人と人、地域と地域との交流にも大きく貢献して参りました。本大会を通じてスポーツのすばらしさ、楽しさを改めて多くの方々に感じていただければ幸いです。

岐阜県での国体開催は、昭和４０年の第２０回大会以来、４７年ぶりとなります。「輝け　はばたけ　だれもが主役」を合言葉に、県民一人一人がおもてなしの心で開催される意義深い大会であります。本年１月から２月に開催されました冬季大会と同様、国体を通じて被災地の復興支援、そして日本再生へとつながるすばらしい大会になりますことを心から願っております。

都道府県を代表し参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮されるとともに、この機会に全国の仲間や岐阜県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る競技会になることを期待しております。

結びに、「ぎふ清流国体」の開催に当たり、県民総参加で諸準備に当たられた地元岐阜県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援・御協力に対し、心から感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

あ　い　さ　つ



公益財団法人 日本バドミントン協会
会 長　綿　貫　　民　輔

昨年３月に発生しました東日本大震災においてお亡くなりになられた方々に心より哀悼の意を捧げますとともにご遺族並びに被災者の方々にお見舞いを申し上げます。また、被災地のいち早い復興をお祈りいたします。

東日本大震災復興支援 第 67 回国民体育大会「ぎふ清流国体」バドミントン競技会が『輝け はばたけ 誰もが主役』のスローガンのもと、ここ岐阜県池田町で開催されますことは誠に喜ばしく、心よりお祝い申し上げます。

ところで、今年はロンドンオリンピックが開催され、日本選手団はどの選手もスポーツマンシップに則り最後まで正正堂堂と戦い、メダル獲得数が過去最高というすばらしい成果を挙げました。また、バドミントン競技女子ダブルスにおいて藤井瑞希・垣岩令佳組が決勝戦で三度のマッチポイントを凌ぎ、観衆の万雷の拍手を浴びそして見事に銀メダルを獲得しました。日本のバドミントン界にとってオリンピックでのメダル獲得は史上初の快挙であり、バドミントン関係者にとってこれほど嬉しいニュースはありません。あらためて彼女たちの栄誉を称えるとともに、関係者こぞって喜びを分かち合いたいものです。

さて、国民体育大会は、日本の代表選手によって熱い戦いが繰り広げられる国内最大のスポーツフェスティバルです。今回のオリンピックに数々のドラマがあったように、今大会においても多くの感動や感激の場面があると確信しております。選手の皆様におかれましては、日ごろの厳しい練習で培われた力をいかんなく発揮され、選手としての誇りと郷土の栄誉をかけて全力で戦い抜いていただき、誰の心にも残るプレーをしてくださることを期待いたします。

終わりに、第 67 回国民体育大会の開催にあたり、誠心誠意ご尽力いただきました岐阜県および池田町ならびに地元協会の皆様に対して心からの御礼と感謝を申し上げあいさつといたします。

歓迎のことば



ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会会長

岐　阜　県　知　事　　古　田　肇

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から多くの選手及び役員の皆様をお迎えして、ここ清流・長良川の畔（ほとり）で、「東日本大震災復興支援　第６７回国民体育大会　ぎふ清流国体」を盛大に開催できますことは、この上ない喜びであり、岐阜県民を代表して心から歓迎申し上げます。

また、昨年３月１１日に発生した東日本大震災から１年半が経過しましたが、引き続き、全国民を挙げて復興・再生に取り組んでいかなければならない状況の中で、「ぎふ清流国体」が、スポーツを通じて国民の心をひとつにし、夢と感動を与え、日本再生の弾みとなることを願って止みません。

さて、岐阜県では、平成１８年に「第５７回全国植樹祭」、平成２２年には「第３０回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～」を開催し、山や清流の恵みがいかに貴重な財産であるかを見つめ直すと同時に、「清流」をふるさとのアイデンティティとして、守り育て、全国に情報発信してまいりました。この「ぎふ清流国体」の開催に当たっても、「清流」の名を冠し、「輝け　はばたけ　だれもが主役」を合言葉に、大会に関わるすべての人々がキラキラと輝き、夢と感動を分かち合い、ともに未来をつくる大会となるよう、県民総参加で心を込めて準備を進めてまいりました。

それぞれのふるさとを代表して参加される選手の皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮され、さらには、多くの人々と触れ合い、大いに絆を深めていただくことはもちろん、岐阜県の清流をはじめとする豊かな自然、おいしい食、薫り高い文化などの魅力に触れ、県民の温かいおもてなしの心を感じていただき、本大会が永く記憶に残る素晴らしい大会となることを願っております。

終わりに、各都道府県選手団の皆様の御健闘・御活躍を心からお祈り申し上げるとともに、本大会の開催に当たり、多大な御支援と御協力をいただきました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



ぎふ清流国体池田町実行委員会会長

池田町長　岡﨑　和夫

東日本大震災復興支援 第 67 回国民体育大会「ぎふ清流国体バドミントン競技会」が皆様のご協力のもと、全国各地から多くの選手、監督並びに役員の皆様をお迎えし、ここに盛大に開催できますことを誠に喜ばしく、池田町 25000 人の町民を代表して、心よりご歓迎申し上げます。

第 20 回国民体育大会が岐阜県で開催されてから 47 年の時を経て 2 回目の開催となります第 67 回大会が行われます。池田町におきましてはバドミントン競技会を希望し、心のもてなしを基本として 4 年前から準備を進めて参りました。ロンドンオリンピックでのバドミントン競技のメダル獲得のような熱き試合を期待しております。

池田町は、木曽三川によって形成された広大な濃尾平野の最北端に位置し、924mの池田山の山麓には国の名勝天然記念物である霞間ヶ渓の桜、最高の泉質を誇る池田温泉、香り高い美濃いび茶の産地を持つ、自然に囲まれた緑豊かなまちです。この機会に、池田町の自然や味覚、池田温泉などを楽しんでいただければ幸いです。

さて、池田町では「ぎふ清流国体バドミントン競技会」の開催に際し、全国からお越しいただく選手、監督の皆様をお迎えするため、池田町の民泊の愛称を「ミナモのお宿 池田」とし、43 地区の民泊協力会が、おもてなしの心で手作りの歓迎看板やお土産づくり、調理実習などを進めてまいりました。選手の皆様には、民泊家庭のあたたかい雰囲気を感じていただき、日頃の練習の成果を十分に発揮され、本大会が思い出に残る素晴らしい大会となりますよう願っております。

終わりに、本大会の開催にあたり、多大なご支援とご協力を賜りました、関係者の皆様に深く敬意と感謝の意を表します。私どもでは、本大会に向けて、準備万端進めて参りましたが何かとご迷惑、ご不便をおかけすることがあるかと思いますが、皆様方のご協力により大会の成功と、バドミントン競技のさらなるご発展を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば



岐阜県バドミントン協会

会長　杉山　忠国

東日本大震災復興支援第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」バドミントン競技会が池田町において盛大に開催されますことは、まことに喜ばしいことであります。

また、全国の厳しい戦いを勝ち抜き本大会に出場されます選手並びに監督の皆様方に対しましては、心からの敬意を表するとともに歓迎を申し上げます。

前回岐阜県においては東京オリンピックの翌年にあたる昭和40年に第20回国民体育大会が開催されました。それゆえ、47年ぶりに開催される本大会での熱戦には岐阜県民が大きな期待をしているところであります。

さて、今回の国体は、美しい清流に恵まれた私たちのふるさと岐阜県、爽やかな清流長良川の流れのように人々が出会い、絆を深める舞台となることを願って『ぎふ清流国体』という愛称が選ばれました。そしてスローガンであります『輝け　はばたけ　誰もが主役』のようにかかわるすべての人々がキラキラと輝き、夢と感動を分かち合い、ともに未来をつくる国体になりますことを心より祈念いたします。

選手並びに監督の皆様方におかれましては、日ごろの厳しい練習で培われた心技体を競技において存分に発揮されますとともに、この『ぎふ清流国体』の趣旨をくみ取っていただき、それぞれのふるさとの代表者として、出会いを大切に絆を深め合い、感動を分かち合っていただければ誠に幸いであります。

終わりにあたり、選手の皆様方のご健闘にてバドミントンの素晴らしさを岐阜県民にアピールして頂くことをお願い申し上げますとともに、本大会の開催に関してご支援ご協力を賜りました公益財団法人日本バドミントン協会、岐阜県、池田町の関係機関、そして役員、補助員の皆様に深く感謝とお礼を申し上げ本大会の成功を心からお祈りして歓迎のことばといたします。



天 皇 杯　　皇 后 杯

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程

第１条　天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　公益財団法人日本体育協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　　本規程は　昭和４１年４月　１日制定
昭和４５年１月２２日一部改訂
昭和４８年７月１０日一部改訂
昭和５４年５月　９日一部改訂
平成１７年６月１６日一部改訂
平成２３年６月２３日一部改訂



大会会長トロフィー

国民体育大会会長トロフィー授与規程

第１条　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　責任をもって保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第１条第２項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4)　公益財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　　本規程は　昭和４１年４月　１日制定
昭和４５年１月２２日一部改訂
昭和４８年７月１０日一部改訂
昭和５４年５月　９日一部改訂
平成１７年６月１６日一部改訂
平成２３年６月２３日一部改訂

大会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長	平野博文								
会長	張　富士夫								
副会長	佐治信忠	森　正博	監物永三	岡崎助一					
	久保公人	古田　肇	田口義嘉壽						
顧問	猪谷千春	帖佐寛章	日比野弘	臼井秀明					
	宇津木妙子	大野敬三	坂本祐之輔	坂口和隆					
	霜觸寛	竹田恆和	田中道博	橋本俊和					
	原田俊	樋口久子	福島修	不老浩二					
	下岡博司	横川浩	中村正彦	村田芳子					
	青木剛	福井一也	谷雅雄	内山勝					
	木村新	永井東一	岩満一臣	堀内光一郎					
	髙田裕司	前田彰一	岡本実	大島研一					
	笠井達夫	前原正浩	宗像豊巳	田中英壽					
	山内英樹	小野沢弘史	笹田嘉雄	関根義雄					
	吉本清信	來栖行正	福本修二	木本由孝					
	真下昇	内藤順造	藤田二郎	島田晴男					
	建部彰弘	栗原茂夫	川井武彦	中村ゆり子					
	佐藤直亮	塚田芳樹	後勝	東敏昭					
	萩原俊次	遠藤容弘	村岡久平	竹田恆正					
	佐藤厚	宮本英尚	村越真	園山和夫					
	永田敏雄	中山正夫	衣笠剛	知念かおる					
	伊部廣明	白髭俊穂	鷹觜文昭	武田哲郎					
	佐藤通隆	長岐博	市村仁	安納守一					
	野田伸	高橋悟	中澤正徳	棚橋進					
	島田徳一	下村修	柱山嗣廣	丹羽治夫					
	竹原悠子	村木啓作	田中敏夫	増田和貴					
	橋詰澄雄	岩﨑清彦	飯田賢良	福井基雄					
	星香里	和田義己	松井守	久保田文也					
	太田光宣	高井信一	分木秀樹	刈谷好孝					
	梅野哲雄	相良哲朗	城長眞治	渚洋行					
	廣田彰	髙城国昭	仲皿正伸	吉田秀博					
	塩田壽久	黒川光隆	高橋眞琴	河野一郎					
	久保博	石黒克巳	寺澤正孝	日枝久					

松本好雄　三田清一　大江　近　奥村展三
高井美穂　城井　崇　神本美恵子　森口泰孝
藤木完治　山中伸一　前川喜平　柴橋正直
棚橋泰文　園田康博　金子一義　阿知波吉信
今井雅人　橋本　勉　笠原多見子　山田良司
野田聖子　古屋圭司　藤井孝男　平田健二
渡辺猛之　小見山幸治　駒田　誠　土屋　嶢
水谷邦照　古川雅典　宗宮孝生　高橋　正
北島　登　古田善伯　河野洋平　佐野和夫
小倉純二　畔柳信雄　大久保尚武　吉田大士
山根　明　中野泰三郎　二木英徳　麻生太郎
橋本聖子　福田富昭　河野博文　飛田秀一
渡邊佳英　富原忠夫　表　孟宏　大林剛郎
大森一人　松尾新吾　千　玄室　山本秀雄
上村春樹　山崎　拓　綿貫民輔　石川武夫
坂本剛二　武安義光　森　喜朗　神崎忠男
福田康夫　安倍晋三　笹川　堯　奥住恒二
酒井　健　佐藤浩市　武部　勤　奥島孝康
安西孝之　岩城光英　堀　達也　蝦名　武
達増拓也　佐藤博俊　鈴木洋一　金森義弘
佐藤雄平　角田芳夫　福田富一　児玉三郎
上田清司　森田健作　石原慎太郎　山下泰裕
横内正明　馬場潤一郎　阿部守一　石井隆一
谷本正憲　吉田哲也　斉藤斗志二　大村秀章
岩名秀樹　河本英典　桝岡義明　町田勝彦
井戸敏三　荒井正吾　仁坂吉伸　油野利博
溝口善兵衛　石井正弘　加藤義明　二井関成
多田野　榮　飯泉嘉門　大亀孝裕　西山昌男
上田憲幸　古川　康　中村法道　甲斐隆博
広瀬勝貞　佐藤勇夫　伊藤祐一郎　仲井眞弘多
参　与　山脇良雄　山口　敏　今里　譲　嶋倉　剛
長登　健　矢島成剛　篠田　徹　脇坂洋二
松岡正人　水野正敏　野島征夫　小原　尚
猫田　孝　玉田和浩　平野恭弘　岩花正樹
渡辺嘉山　大須賀志津香　太田維久　水野吉近

道家康生	長屋光征	岩井豊太郎	伊藤秀光	
野村美穂	川上哲也	高殿　尚	山本勝敏	
高木貴行	林　幸広	酒向　薫	早川捷也	
平岩正光	佐藤武彦	渡辺　真	大野泰正	
小川恒雄	伊藤正博	足立勝利	村上孝志	
郷　明夫	洞口　博	松村多美夫	森　正弘	
田中勝士	村下貴夫	藤墳　守	渡辺信行	
国枝慎太郎	加藤大博	渕上俊則	上手繁雄	
野原正美	月村時子	稲本　正	森口祐子	
松川禮子	塚中和巳	若宮克行	彦谷直克	
安福正寿	秦　康之	川出達恭	宗宮康浩	
平工孝義	正村洋一郎	金森吉信	山本　馨	
志村隆雄	鵜飼　誠	河合正明	洞田厚男	
島田　清	近田和彦	片桐卓朗	高木善幸	
太田　誠	堤　俊彦	田中良幸	鈴木　誠	
鈴木　壯	山田芳喜	臼井宗一	松井逸朗	
堀江博海	三好信一	林　俊彦	三須　勝	
岩田義文	若林　一	辻　正	渡辺郁雄	
尾関尚司	小泉昌平	岩田雅治	竹中昌子	
吉田　豊	杉山幹夫	遠藤久子	森川幸江	
若井敦子	海鋒佳輝	糸井　統	安田善治郎	
小栗和成	新井祐子	井上保子	細江茂光	
早川三根夫	宮川浩兵	尾関卓司	村瀬恒治	
加藤昌弘	高野卓哉	中村　慈	酒井田定男	
奥田健右	米澤信雄	松永武彦	永井　寛	

委員長	泉　正文			
副委員長	川口三三夫	杉浦久弘	氷見谷直紀	武藤鉄弘
総務委員	荒川　昇	飯坂尚登	石樽詔之	市原則之
	勝田　隆	金子正子	木内貴史	菊　幸一
	三戸一嘉	篠宮　稔	菅原哲朗	杉山　茂
	豊島吉博	林　辰男	福林　徹	山口　香
	山本征悦	ヨーコ　ゼッターランド	横嶋信生	石渡敏温
	岸本良一	中野英則	橋本健一	東海林俊夫
	藤原敬一	高谷　信	川島雄二	西田晴之
	菊地秀行	川﨑邦光	真野芳宏	高木敏彦

委員

河合孝憲	鈴木賢治	柴田益孝	中島治郎
森　泰夫	鈴木浩二	植田昌利	森　清吉
中川　康	堤　雅明	荒木　健	小泉芳孝
佐久間裕司	入澤孝一	大矢豊治	末木創造
菊地俊美	江成元伸	松倉信裕	斉藤元三
若尾輝夫	安井和男	伊藤一人	松井　勲
三宅　豊	今井茂満	鹿野伸郎	長尾英宏
会田　彰	高山雅夫	山口徹正	溝井利和
有竹隆佐	堀口卓司郎	衛藤敬輔	小野恭子
関根宏一	関　敏博	山口雅生	山倉和彦
栗原洋和	土屋耕亮	松村広大	本間かすみ
西井知紀	森岡裕策	朝倉朝美	奥山敏之
松渕　紳	日比野幹生	小林美保	田口雅紀
瀬倉信康	山村研二	吉原誉夫	古市　智
市川清治	向坂嘉一	髙橋淳司	鈴木英介
吉田茂喜	西部政子	笠原孝一	丹羽　誠
渡辺勝博	増田和伯	尾崎浩之	浅川　伸
佐藤哲夫	花田　慎	平藤　淳	松坂　孝
齊藤　譲	奥山雅信	齋藤文夫	林　康宏
佐藤裕之	篠　祐次	花上光郎	相原正志
内野信昭	原　一樹	老月　守	濱辺正実
齋藤勇治	松田好道	大野芳樹	村木輝行
金山昭夫	坂本修司	真野正道	芦田光巨
吉田晴行	吹野英明	野津建二	長尾隆史
森鳰勝也	小野嘉孝	近藤理恵	福田和樹
原田　靖	築地裕樹	森　栄二	田村　司
吉田義博	村山　剛	佐々木榮一	片野　裕
佐藤和彦	新井清博	加藤久雄	寺林　敏
津田　誠	川合英之	吉本知之	川口一彦
有澤　寛	山本　巖		

競技会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長	岐阜県池田町長	岡﨑和夫
会長	公益財団法人日本バドミントン協会会長	綿貫民輔
副会長	公益財団法人日本バドミントン協会副会長	三宅祐司
	公益財団法人日本バドミントン協会副会長	籾井勝人
	岐阜県バドミントン協会会長	杉山忠国
	ぎふ清流国体池田町実行委員会事務局長	野原祐治
顧問	森喜朗	関谷勝嗣
	森田一	林芳正
	市川一朗	村上忠治
	八木橋伸夫	佐藤保
	塩川甫	橋本角市
	権田正一	植田博宣
	原二三雄	清水規矩雄
	平田登志郎	青木昭二
	毛利清志	内多小五郎
	小宮淳宏	吹田修一
	牧野武	村山幸雄
	戸田清一	濵中誠
	福岡幸一	伊豆晃
	岡本武利	本郷節生
	今北基夫	菊地利明
	野村嘉明	藤原和文
	里見光徳	山根怜
	佐藤芳朗	竹林克彦
	油井秀男	木村寛
	遠井稔男	岡村英男
	川島一郎	板垣隆房
	星野忠男	藤本滋
	栗原進	中村弘
	菅原周一	斉藤永吉
	金森義弘	吉田邦男
	手塚克彦	日野昇
	磯井貞夫	有瀬浩一
	杉田博	保坂和也
	宮川忠和	山田一六
	嵯峨元	中嶋光司
	上野忠	末岡熙章
	金森正	澤長壽
	田中田鶴子	瀬川欽也
	谷口章	石田真敏
	加藤博司	成相安信
	岡崎彬	田村興造
	松浦稔明	西野昌明
	中村時広	西森潮三
	本田正寛	中尾昌由
	里脇清隆	冨田浩
	近藤稔	相澤潔
	池田徹	金城芳雄
	秋草直之	関場武
	帰山好和	藤田庸右
	小野理	大竹健司
	遠藤和雄	野原正
	杉原輝彦	

参与	加藤寛治	原　紀征	鈴木勝之	藤原　航
	真壁幹雄	築地孝彦	三井　裕	濵中　勉
	国井　裕	和田直美	松岡正人	天野博江
	伊藤保明	桑原　宏	河村三吉	坂口　博
	松岡雅子	松岡正彦	岩谷真海	竹中芳弘
	土川　博	牧村範康	臼井幹夫	渡辺幸一
	牛嶋勝一	下野義弘	坪井一雄	香田勝巳
	野原利雄	寺戸勝則	内藤貫二	野原邦介
	西科敏彦	坪井一弘	今西　武	小川匠美
	遠藤幸一	坪井　強	國枝隆三	五十川　武
	竹中武志	樋口昭久		
競技会委員長	公益財団法人日本バドミントン協会専務理事			関根義雄
競技会副委員長	公益財団法人日本バドミントン協会総務本部　本部長			千葉健夫
	岐阜県バドミントン協会理事長			田中常隆
	西濃地区バドミントン協会会長			加藤晴彦
	ぎふ清流国体池田町実行委員会事務局次長			太田輝美
競技会委員	阿部秀夫	今井茂満	河崎正紀	河野幸男
	神戸　照	木戸純一	佐竹養一	銭谷欽治
	高橋英夫	中山紀子	西村健二	能登則男
	野村安忠	村元英美	山田順一郎	福田　武
	浅岡　武	上原信彦	尾藤宏治	高田　忠
	民谷千寿子	岩田甲司	伊藤功子	岸　洋司
	武藤芳紀	森　晟二	後藤路広	川合甲祐
	小塩雅弘	関谷正光	遠藤　透	森　清秀
	松岡龍三	加藤保英	谷　斉	安田光男
	蘭　和真	中田陽一	田中勝弘	戸﨑守雄
	白藤逸利	荒城正巳	平田島子	奥原陽子
	横尾宣幸	大橋　浩	田口正明	渡邉美知成
	所　哲郎	田中　彰	福永正弘	尾藤伸治
	加納義之	大橋奈麻輝	橋浦正史	奥村浩司
	戸田敬一郎	苅谷富嗣	関谷　篤	多田達矢
	原　善孝	小島一也		

競　技　役　員

（順不同・敬称略）

競技役員長	村元英美				
総務部長	田中常隆				
競技審判部長	岸　洋司				
競技審判副部長	小塩雅弘	戸田敬一郎			
総合成績計算委員長	今井茂満				
総合成績計算委員	小島一也	平田島子			
総務副部長	千葉健夫	小島一也	民谷千寿子		
総務主任	加納義之	高橋伸治			
総務副主任	金森利恵				
総務委員	原　陽子	犬飼悦代	髙橋郁子	日比公子	
	三輪恭子	木村洋子	佐藤洋子	大河内宣子	
	片桐益夫	安藤文子	奥村明子	若野由紀子	
	尾崎喜代子	太田良彦			
競技主任	平田島子				
競技委員	木股美保子	山本さよ子	宮川好洋	小栗まこ	
	田口伸治	伊藤辰廣	横尾宣幸	渡部英哲	
	大橋明美	中村奈津江	広瀬登代子	山本美枝子	
	高木明子	小寺由里	西村　淳	残馬　仁	
	高木拓也	民谷憲二			
進行主任	水野新悟				
進行委員	伊藤三奈	中井康裕	松原和彦	戸田洋子	
	寺田　巌	小川　卓	武藤明菜	石丸由子	
	土岐陽子	山河直美	細井若菜		
会場主任	川島稔章	水谷　登			
記録主任	所　哲郎				
記録副主任	山田博文				
記録委員	加藤貴大	足立賢一	吉田大輝	野村奏文	
	篠田真由美	小川翔平	細野佑斗	松木勇樹	
	井口広人	岩田翔平	高田紘路		
シャトル主任	中川智臣				
シャトル委員	柳瀬みどり	折山真生			

点示主任	小栗國男			
点示委員	川村謙二	宮田慶美	長澤　誠	小田切知加子
掲示主任	関谷篤			
掲示委員	岩田眞和	田仲綾奈		
報道主任	荻巣雅俊			
放送主任	藤原陽子			
放送副主任	野島志信			
召集主任	原善孝			
召集副主任	大橋奈麻輝			
召集委員	齋藤侑気	稲川正也	吉浦真志	中島翔太郎
	河添孝司			
得点表示主任	谷斉			
得点表示副主任	武藤芳紀			
得点表示委員	桑原元昭	棚橋誉久		
審判主任	森藤久美子	多田達矢		
審判員	櫻井学	長谷川工	慶野誠	義江浩一郎
	畦地俊宏	木村藤子	利行好男	戸崎義
	安田信一	中川敬子	渡邉伸也	原賢一
	松本禄生	関輔	松村昭洋	久原寿之
	斉藤勲	橋口裕司	岩崎真樹	奥山高志
	東エミ	鈴木美起	濱口輝美	鈴木満弥
	秋山啓太	大西富美昭	堀口節子	鷲見高雄
	瀧下博幸	小田肇	三輪佳孝	古澤千世
	多田智美	中野絵美	丹羽洋三	斎藤清美
	和田智司	安田佳代子	藤井陽子	山岸淳子
線審主任	坂井達美	堀口節子		
線審員	神谷れい子	中原なおみ	飴野邦和	飴野千奈美
	伊藤卓	高島勝	日比野諭	葛西深雪
	樋口亘	川添綾	外山恵利子	中村和由
	藤井由美子	久保仁	小倉国子	三輪めぐみ
	多和田涼子	小竹小百合	野々垣卓正	寺崎忠宏
	小嶋謙一	小嶋紀子	土田桂子	久富三起子

鬼頭千登美　長屋朋宏　宮川洋子　後鳥泰範
織田憂子　添田達也　白滝達也　清水満
日下部泰子　徳永量子　小島英司　林京子
矢嶋達也　太田真理子　藤吉淳史　中村剛
日比野広宣　溝上善之　野田勇　山内康弘
田中克典　中村久美　広瀬ゆかり　奥村典子
山田弥生　松尾きよ美　栗原嘉宏　三輪幸美
仙石浩美　山本悠　坪内きよ子　岩井晶子
立田美鈴　丹羽敏　河江みゆき　日置美和子
国松真奈美　村瀬眞美　是森鈴代　藤村洋子
武市里子　福本浩美　古田めぐみ　伊藤智美
塚原亜美　佐藤英男　渡辺辰夫　荒城正巳
今井隆幸　熊崎信行　高原あさみ　西尾達也
西尾安紀子　平野陽子　稲部英樹　岩田明菜
西尾雅志　坂地大輔　纐纈順子　小邑昌久
上小家明宏　打江達三　水野裕子　細川万昌
吉村典子　林哲子　勝山佳奈　田口信之
原隆文　野尻久美子　林ひとみ　鷲見哲也
小縣恵　片山佳津子　田中玲子　纐纈創
細江ひとみ　山田康太　斧田真由美　西川祥子
今井万美　樋口弘子　鈴木さゆり　長谷部冬子
藤井祐子　山口優太朗　角田浩二　中村理佐
長谷川淳　加藤章　岩田悟　佐藤孝彦
遠藤透　羽田野督貴　荒川一真　鷲見直子
遠藤司　田野岡賢　塩澤麻帆　木下侑梨恵
冨田樹里　塩澤渚　高田真吾　森山晴捺
金城智大　住友聡　藤谷誠仁　高橋熙人
田口和樹　堤真佐紀　坂永萌夏　上野美咲
内堀梨沙　木村美由希　肥後明日香　杉原里音
田上菜美子　原茜　水野愛美　古本瑞季
柴田友紀　長野愛菜　山中佐弥香　森山ゆいか
山本明希歩　山本理香　湯谷佳奈　太田健一郎

競　技　補　助　員

（順不同・敬称略）

岐阜県立池田高等学校

岩田裕貴　益山秋江　三田村元貴　長柄峻雅　野玉昴志
安江雄太郎　内藤聖吾　林　亜依里

岐阜県立大垣北高等学校

山﨑隆大　藤田康佑　水野涼平　奥西達哉　山森誠也
阪口敦哉　浅野栞里　杉原成美　伊藤江美　和田聖里加
河瀬侑里香　栗田友梨　佐野　楓　居川陽菜子　橋口晴香
髙岡結衣

岐阜県立大垣南高等学校

田邉智之　大橋乃輔　平井峻太　木村　愛　大島康平
髙田柊人　小里優希　小川詩央里

岐阜県立大垣東高等学校

淺井研哉　高橋遼河　平墳巧磨　野倉佑斗　種田　叶
小松田莉菜　藏　捺子　小山真穂　日根野航平　伊藤雅晃
太田雄一朗　三輪貴也　平田鈴乃　大場萌永　後藤妃菜
若山詩歩

岐阜県立大垣西高等学校

熊崎美沙都　吉田尚代　小竹真由　秋田茉美　久野仁美
新川美里　髙木　優　髙橋優実　吉位佳菜　大塚友梨香
稲川正哉　大迫崇稔　泉　京介　篠田　淳　藤田早登
田中優太　光田直紘　阿部大晟

岐阜県立大垣養老高等学校

板村　潤　澁谷優良　大倉優輝　野﨑　凌　中村慎仁
國枝拓矢　酒井敦也　坂口亮二

岐阜県立大垣工業高等学校

植野裕弥　西脇雅也　和田亮大　中山翔平　藤塚博光
大谷和輝　後藤健児　丹羽洋貴

岐阜県立大垣桜高等学校

國島のぞみ　坂口なお　所　夏未　廣瀬　愛

岐阜県立不破高等学校

斎藤あゆみ　辻　華寿美　吉田絢香　灰野典巳

実施本部員

（順不同・敬称略）

本部長	牛嶋勝一			
副本部長	下野義弘			
大会総括部長	西科敏彦			
国体推進班長	野原祐治	太田輝美		
国体推進係長	市川尚武	方山英樹		
国体推進係	髙橋厚士	河村一毅	北川夏美	高橋良輔
	吉田久美子	樋口達夫	竹中克也	
大会総務部長	内藤貫二			
式典班長	久保田昌美			
式典係	淺野真理子	清水珠貴	広木洋子	小森有紗
	小林陽子	太田悦子	梅澤真由美	
筆耕担当	大藤妙子	森光子		
式典会場係	遠藤泰史	冨田博	井川崇	高橋ゆかり
映像記録班長	野原邦介			
消防警備班長	森道明			
消防警備係	岩瀬昭紘	坪井幸太	岩間美智代	山本早霧
	宮川登紀子	竹中リカ	小寺優	川地真紗子
	遠藤彩華	末松千津子		
競技会場部長	香田勝巳			
総務班長	遠藤一美			
総務係長	岡崎正英			
総務係	牛嶋清則	五十川里奈	今西京子	林祐子
	大野あゆ美			
練習会場係長	渡邉正治			
練習会場係	小寺寿和	渡辺靖史	小川泰史	平野恵子
	久保田聡	中野里美	伊藤隆宣	森佳奈子
	杉岡貴美	野原かよ子	水谷さつき	渡辺尚美
	南林美子	片山美香	清水順子	安田朝絵
	佐々木須眞子			
輸送交通班長	高橋亮造			
輸送係	早野良洋	吉田悦子	川瀬沙織	
駐車場係長	林一彦	野網裕由記		
駐車場係	小林健	河村隆	高橋一紀	森善幸
	竹中晴彦	樋江井将和	松岡茂	國枝友和
	國枝嗣史	森隆徳	渡邊康子	竹中仁美

	小林絢香	國枝郁代	大津留健太郎	若原尚美
	藤田久美子			
宿泊衛生部長	坪井一雄			
歓迎案内装飾班長	小川孝文			
歓迎案内装飾係長	松田広美			
歓迎案内装飾係	山田みどり	遠藤千摩	勝野慎太郎	高橋千鶴
	清水佳年	西脇智美	衣斐美紀子	辻下智香子
	富田かおり	牧村知美	坂口和栄	田中智恵
	谷口綾香	藤墳美紀	宗宮良子	竹中紫乙美
	日下部真美	西川美鈴	杉山しおり	
衛生班長	西村洋			
弁当係長	宮川加奈子			
弁当係	深澤恵海	野原眞美子	加納洋子	
医療救護係長	小川祐貴子			
医療救護係	堀部友栄	浅野江里	大橋由佳	八木かおり
環境美化係長	方山誠人			
環境美化係	五反田早苗	伊藤智美	金子なつみ	後藤美貴
	岡本悠理	溝口幸世	竹中立子	牧村君代
	竹中一浩	子安佑子		
民泊班長	太田輝美			
民泊係長	髙橋厚士			
民泊係	林静男	野原玉枝	野原利雄	今西広和
	安田誠司	安田実成	高橋直樹	寺井健二
	岡崎弘晃	久保田秀輝	加納綾香	河村光次郎
	川村一成	飯干武人	河村隆	樋口清久
	奥村寿人	横幕大祐	三宅正一	中野悟
	竹中祐介	森千恵美	加納豊文	森裕隆
	森正登	中村和義	松田健夫	寺戸勝則
	河合有美	江崎昭子	國枝実成	野村政光
	國枝大樹	原幸子	松原淳	中山佳威
	丹羽弘和	野村和正	中村綾華	高橋一浩
	日比良幸	安藤智喜	大石治輝	高木浩太郎
	稲川浩史	中村千恵美	長濱美由紀	吉田あつ子
	松岡慎一郎	坪井正博	竹中春信	佐藤康陽
	北沢新			

競技会補助員

（順不同・敬称略）

NPO法人 ＩＴ支援センター

岡部千鶴　加藤めぐみ　勝野みどり　植田邦雄　中村益男
山口昌代　森谷美紀

池田町八日会

飯沼　猛　窪田　清　北野　茂　森　敏郎　竹中武志
国枝治郎

池田町視聴覚協議会

野網義一　伊藤和幸　久保田智津子　増田昭治

池田町観光ボランティアガイド協会

原　美千代　吉田　稔　五十川直靖　今西龍雄　遠藤喜代子
小川茂基　国枝　浩　窪田弘子　山本仁司　国枝哲夫

池田建設業協会

石﨑弘康　久保田秀次　遠藤浩介　成瀬嘉之　久保田大三
矢野裕季

(社)揖斐建設業協会

柳下英樹　植村裕司　野原克敏　大久保　晋　高橋謙太郎
藤田茂良　清水隆広　吉田国広　山本直人　橋本房則
山本和之　久保田智也　河田裕伸　内藤靖雄　古宮山喜代隆
乾　幸弘

サンタ・グラウンドゴルフクラブ

松岡洋行　松原美知代　横山玉生　石田昌司　森　雅子
河村勝甥　角山良郎　髙碕節夫　川本義明　川本千津子
久保田　勲　小川敏治　中村太郎　五十川資起

株式会社十六銀行 池田支店

長谷川　実　宗宮康之　堺　幸紀　加納佳代子

町民カメラマン

加納　勝　北村忠之　竹中辰夫　成瀬千秋　新川恵津子

バドミントン

松岡晶子　遠藤寿美子　中田リエ　山下かほる　樋口泰子
渡辺登志江　川瀬あゆみ　吉武佐代　水上由佳子　山田繁雄
山田大樹　小椋里恵子　久保田香織　今西久容　香田由果

外羽いづみ　木村弥生　横尾恵美子　木村貴司　田中英昭
野原靖世　吉武仁美　坪井千晴　伊藤和幸　遠藤晏弘
林　町子　谷　真奈美　河合由紀子　草野紀子　濵　孝介
織田文子　太田淳子　松永かおり　木村啓子　野原拓也
平野克江　立川美和子　藤田和子　吉村敦子　小林真紀子
野網淳子　立木亜理　窪田幸子　松岡英明　太田成幸
駒月秀夫　野原智裕　小寺正明　河田智志　窪田知洋
渡辺久美子　山口まゆみ　松岡晴美　成瀬佳江　今西久容
下嶋伸幸　河村浄美　松岡理江

ボーイスカウト揖斐１団

松岡　洋　合計25名

ガールスカウト岐阜県第８団

国枝磨須美　合計15名

【個人】

岡部光一郎　河瀬幹子　河村知拓　久保田健二郎　桑原大輝
小島保紀　末村豊治　髙橋晶義　髙橋秀雄　高見たみ子
竹内和代　竹中明日香　竹中栄子　竹中和義　谷村英俊
錦野弘治　西田さゆり　野原義己　東　多恵子　間下めぐみ
松原松男　森　温美　森　正則　弓削英香

総　　則

開 催 の 趣 旨

国民体育大会（以下「国体」という。）は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするものである。あわせて、この国体を通じ、人と人との絆、地域の絆を一層深め、東日本大震災からの復興、日本再生につながる大会とする。

【ぎふ清流国体が目指すもの】

1　簡素であっても質の高い国体

簡素・効率化を進める国体であっても、選手が高いレベルで競技を行い、来県者の方が快適に過ごせる環境を提供しなければならない。その中でも、全国から訪れる選手が最大限力を発揮できるよう環境を整備したり、県民一人ひとりがおもてなしの心で温かくお迎えしたり、簡素ではあっても質の高い国体を目指すものである。

2　だれもが主役となる国体

年齢、性別、障がい、競技レベルなどに関係なく、スポーツを「して」「観て」「支える」ことができるさまざまな環境をつくり出して、選手、役員、観客そして大会にかかわるすべての方が主役となる国体を目指すものである。

3　豊かなまちづくりにつながる国体

豊かなまちづくりに大きな役割を果たす県民協働の推進や健康づくりの推進、地域福祉の推進や青少年の健全育成、コミュニティの再生や地域経済の活性化、一流スポーツ選手の誕生や地域イメージづくりなど、地域スポーツ振興の一翼を担い、豊かなまちづくりにつながる国体を目指すものである。

実 施 方 針

1　実施競技

正　式　競　技	公開競技
陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ	高等学校野球 トライアスロン

2　会期及び会場地

会　　期	会　　場　　地	会場地数
※水泳競技会は下記日程内で実施 平成 24 年 9 月 13 日(木) ～17 日(月)〔5 日間〕	岐阜市、大垣市	2 市
平成 24 年　9 月 29 日（土） ～10 月　9 日（火） 〔11 日間〕	岐阜市、大垣市、高山市、多治見市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、飛騨市、本巣市、郡上市、下呂市、海津市、岐南町、養老町、垂井町、輪之内町、安八町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、白川町、愛知県蒲郡市	22 市 10 町

3　競技方法

正式競技は都道府県対抗とし、公開競技については実施要項に示す方法とする。

4　ドーピング検査の実施

大会におけるドーピング防止活動（ドーピング検査及びドーピング防止教育啓発活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本ドーピング防止規程」及び別に定める「国民体育大会ドーピング防止活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療目的使用に係る除外措置」（TUE）に係る手続きを行うこと。

5　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第６７回国民体育大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本体育協会ホームページ　http://www.japan-sports.or.jp/ 】

(1) 参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、成年又は少年の種別に参加することができる。

(ｱ) 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち永住者(日本国との平和条約に基づく日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法に定める特別永住者を含む。)

(ｲ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、大会実施要項が定める参加申込み締切時に 1 年以上在籍していること。

b　出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学又は家族滞在（中学 3 年生）に該当していること。

(ｳ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　平成 24 年以前に前号(ｲ)に該当していた者。

b　出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、大会参加時において留学に該

当しない者。

［注］ 大学等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格の「留学」と同等に扱う。

イ　選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育協会会長が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　第65回又は第66回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、第65回又は第66回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ) 成年種別

a　平成23年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

［注］別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記4「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

(ｲ) 少年種別

a　平成23年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置の考え方」による。）

d　JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

e　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記4「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

エ　選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ　選手及び監督は、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ　上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ｱ) 健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ｲ) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(ｳ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

(ｱ) 居住地を示す現住所

(ｲ) 勤務地

(ｳ) ふるさと（別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

［注］別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ　少年種別

(ｱ) 居住地を示す現住所

(ｲ) 学校教育法第１条に規定する学校の所在地

(ｳ) 勤務地

(ｴ) 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」（別記３）に定める小学校の所在地

※　「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校教育法第１条に規定する学校の所在地」のいずれかから参加する場合は、平成24年４月30日以前から本大会終了時（平成24年10月９日）まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

［成年種別］

a　「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を（別記４）受ける場合

［少年種別］

a　「一家転住」した場合

b　「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」（別記３）の適用を受ける場合

c　「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」（別記４）の適用を受ける場合

(3) 選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ｱ) 成年種別に参加する者は、平成６年４月１日以前に生まれた者とする。

(ｲ) 少年種別に参加する者は、平成９年４月１日以前に生まれた者から平成６年４月２日以後に生まれた者とする。

(ｳ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成24年４月１日を基準とする。

イ　公益財団法人日本体育協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、公益財団法人日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議の上、公益財団法人日本体育協会がその可否を決定する。

別記１【国民体育大会ふるさと選手制度】

(1) 成年種別に出場する選手は、開催基準要項細則第３項〔本則第８項第１号及び第10項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア　居住地を示す現住所

イ　勤務地

ウ　ふるさと

(2) 「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別記３「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第３項により取り扱うものとする。

(3) 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。
(4) 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
(5) 「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
(6) ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
(7) 参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込み締切期日までに、公益財団法人日本体育協会宛に提出する。

別記2【「一家転住等」に伴う特例措置の考え方】

転校への特例

1　次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③）に抵触しないものとする。
(1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
(2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
ア　親の転勤による一家の転居
イ　親の結婚、離婚による一家の転居
ウ　上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
(3) 転居した時点に応じて、次の手続きを終了していること。
ア　本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
イ　報告を受けた都道府県体育協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

2　本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は次のとおりとする。
(1) 転居した時点において、次に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
ア　転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
イ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
ウ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
(2) 転居した時点において、次に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
ア　転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記3【JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOCエリートアカデミー」に係る選手のうち、

次の(1)に該当する者については、開催基準要項細則第3項及び「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、次の(2)～(4)の特例を適用する。

(1) 対象者

ア　少年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーに在籍する者

イ　成年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

(2) 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

(1)アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「(ｱ)居住地を示す現住所」、「(ｲ)学校教育法第1条に規定する学校の所在地」、「(ｳ)勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

(3) 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

(1)イに定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民体育大会ふるさと選手制度」(2)に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

(4) 国内移動選手の制限に係る例外適用

(1)アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

［注］(1)イに定める成年種別年齢域の選手については、開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

別記4【東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置】

1　特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2　特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督については、「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規定する学校の所在地（以下『学校所在地』という。）」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ) 平成23年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の学校教育法第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ) 災害が発生しなかったと仮定した場合、平成24年4月30日以前から競技会終了時まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第65回及び第66回大会に当該特例対象県から参加していても、国民体育大会開催基準要項細則第3項－（1）－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ) 平成23年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の学校教育法第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が平成24年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］　「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日体協が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ　本項1）を適用して避難等による移動先の都道府県から第66回大会に参加した者が、第67回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民体育大会開催基準要項細則第3項－（1）－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

①　卒業中学校または卒業高等学校の所在地

②　災害の発生した時点で在籍していた中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記②の学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

平成23年度に、避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者。

別記５【トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置】

１　特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

(1) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会（冬季競技はオリンピック冬季競技大会）に参加した者。

(2) 大会開催年の４月30日(冬季大会は前年10月31日)時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。

ア　JOCアスリートプログラム強化指定選手

イ　各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ　中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

２　特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民体育大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア　居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ｱ) 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、住民票又は外国人登録原票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

a　自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること

b　当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること

c　当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること

d　当該住居に主要な家財道具が存すること

(ｲ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ　勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ｱ) 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

(ｲ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3　国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③の通りとする。

6　各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを都道府県ごとの男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア　競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次の2種類とする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	――――	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

〔注〕「種別」：種別などに与える競技得点　　「種目」：種目などに与える競技得点

イ　参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7　表　　彰

(1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場

合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

８　各競技の参加申込み方法

(1) 都道府県の体育協会会長及び各競技団体会長は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び(財)日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長あてに申込むものとする。

(2) 参加申込みは、定められた締切日までに国民体育大会参加申込システムにより行う。

(3) 参加申込み締切日

締　切　日	競　　技
①平成24年8月23日(木)	水泳、ボート、レスリング、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
②平成24年8月29日(水)	柔道
③平成24年9月 5日(水)	陸上競技、サッカー、テニス、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、高等学校野球

(4) 参加申込み様式は、公益財団法人日本体育協会が実施競技団体と協議して作成する。

(5) 参加申込み締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、次の所あてに所定の様式にて届け出なければならない。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会事務局

ウ　ぎふ清流国体各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、公益財団法人日本体育協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

９　各競技会の棄権手続き

参加申込み締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10　大会参加負担金

(1) 本大会に選手団（視察員を除く。）を派遣する都道府県体育協会は、一人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	1,500円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	2,000円

(2) 大会参加負担金は、各都道府県体育協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限

平成24年9月5日（水）

イ　納入先

みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　513729

公益財団法人日本体育協会

11　宿泊申込み

大会参加者は、ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12　参加選手団本部役員編成及び視察員

(1) 参加選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手500名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計20名以内とする。

イ　参加選手300名以上500名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計15名以内とする。

ウ　参加選手300名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計10名以内とする。

(2) 上記役員のほか、5名以内の顧問を設けることができる。

(3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。

(4) 参加選手団本部役員の1日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

(5) 視察員は、1都道府県3名以内とする。ただし、平成25年以降の国民体育大会の開催が決定又は内定している都県については、東京都100名以内、長崎県及び和歌山県60名以内、岩手県及び愛媛県40名以内とする。

13　大会参加章、大会参加記念章及び視察員章の交付

大会参加章、大会参加記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

(1) 大会参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員

(2) 大会参加記念章

デモンストレーションとしてのスポーツ行事参加者

(3) 視察員章

視察員

14　参加上の注意

(1) 大会期間中は、交付された大会参加章、大会参加記念章又は視察員章を携帯しなければならない。

(2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県を明示したユニフォームを着用しなければならない。

15　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて公益財団法人日本体育協会及び中央競技団体等関係

団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。なお、公益財団法人日本体育協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

(2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

(3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。なお、参加は１人１競技に限る。

(4) ブロック大会の申込みは、原則として国民体育大会参加申込システムにより行い、様式は公益財団法人日本体育協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

(5) 都道府県大会の参加申込み様式は、当該主催団体において作成する。

(6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

(7) 競技運営に差し支えない限り、岐阜県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

16　国民体育大会参加者傷害補償制度

公益財団法人日本体育協会及び都道府県体育協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民体育大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員(顧問を含む)、視察員並びにその他選手団役員とする。

(2) 大会参加の都道府県体育協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、公益財団法人日本体育協会に納入する。

(3) 納入締切日及び納入先については別途公益財団法人日本体育協会から都道府県体育協会へ通知する。

17　デモンストレーションとしてのスポーツ行事

デモンストレーションとしてのスポーツ行事は、次表のとおりとし、実施については、デモンストレーションとしてのスポーツ行事実施基準に基づく実施要項による。

デモンストレーションとしてのスポーツ行事	会　場　地	会場地数
10km・5km マラソン	岐阜市	8 市 15 町 2 村
インディアカ	岐阜市	
ミニテニス	岐阜市	
ビリヤード	大垣市	
ファミリー綱引	大垣市	
ドッヂビー	多治見市	
オリエンテーリング	多治見市	
キンボール	羽島市	
グラウンド・ゴルフ	羽島市、可児市、笠松町、神戸町、富加町	
パワーリフティング	美濃加茂市	

３Ｂ体操	可児市	
ゲートボール	瑞穂市	
ターゲット・バードゴルフ	瑞穂市	
ビーチバレー	海津市	
ウォーキング	養老町、八百津町	
スポーツチャンバラ	垂井町	
タスポニー	関ヶ原町	
バウンドテニス	安八町	
少女ソフトボール	揖斐川町	
ディスクゴルフ	池田町	
武術太極拳	北方町	
ミニバレー	坂祝町	
カローリング	七宗町	
ケイマンゴルフ	白川町	
ウォークラリー	東白川村、白川村	
マレットゴルフ	御嵩町	

19　そ の 他

(1) 参加申込み及び宿泊申込みが、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた締切日までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2) その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。

第67回国民体育大会バドミントン競技会実施要項

1　期　　日　　平成24年10月5日（金）から10月8日（月）まで（4日間）

種　別	10月5日（金）	10月6日（土）	10月7日（日）	10月8日（月）
成年男子	1　回　戦	2　回　戦	準々決勝・準決勝	3位決定戦・決勝
成年女子		1　回　戦	準々決勝・準決勝	3位決定戦・決勝
少年男子		1　回　戦	準々決勝・準決勝	3位決定戦・決勝
少年女子	1回戦・2回戦	3　回　戦	準々決勝・準決勝	3位決定戦・決勝

2　会　　場　　池田町　　池田町総合体育館

3　種別及び参加人員

種　別	監　督	選　手	参加都道府県	小　計	合　計
成年男子	1	3	32	128	444
成年女子	1	3	16	64	
少年男子	1	3	16	64	
少年女子	1	3	47	188	

4　競技上の規程及び方法

(1) 平成24年度の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則･大会運営規程並びに公認審判員規程による。

(2) 各種別とも1複2単による都道府県対抗トーナメント方式とし、うち2試合を得た方を勝ちとし、勝敗決定後の試合は打ち切る。また、3位決定戦を行う。

5　予選方法

ブロック大会を通過したチームが本大会に出場する。(少年女子は全都道府県が参加) ブロック大会区分及び選出チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	成年男子	成年女子	少年男子
北海道	北海道	1	1	1
東　北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	4	2	2
関　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	6	2	2
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	2	2
東　海	静岡、愛知、三重	2	1	1
近　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	2	2
中　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	2	2
四　国	香川、徳島、愛媛、高知	2	1	1
九　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	6	2	2
開催県	岐阜	1	1	1
計		32	16	16

6　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるもののほか、次による。

監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導員制度に基づく公認バドミントン上級コーチ、公認バドミントンコーチ、公認バドミントン上級指導員、公認バドミントン指導員の有資格者であることとする。

7　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その得点を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位（４チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8　表　　彰

(1) 男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に、表彰状を授与する。

(2) 男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

(3) 各種別の第１位から第８位までに、賞状を授与する

9　参加申込み方法

総則８に定めるもののほか、次による。

(1) 所定の Web ページ(国民体育大会参加申込み受付窓口)へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成 24 年９月５日（水）までに申込み手続きを完了すること。

(2) 締切期限以降は、所定の Web ページ(国民体育大会参加申込み受付窓口)へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

(3) 参加申込み締切後の選手変更は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、下記のア、イ、ウの事務局あてに文書で届け出なければならない。ただし、監督会議開催前までとする。

ア　〒150-8050　東京都渋谷区神南一丁目１番１号　岸記念体育会館内
公益財団法人　日本バドミントン協会
TEL 03-3481-2382　FAX 03-3481-2456

イ　〒500-8570　岐阜県岐阜市薮田南二丁目１番１号
ぎふ清流国体・ぎふ清流大会実行委員会事務局
TEL 058-272-8190　FAX 058-278-2604

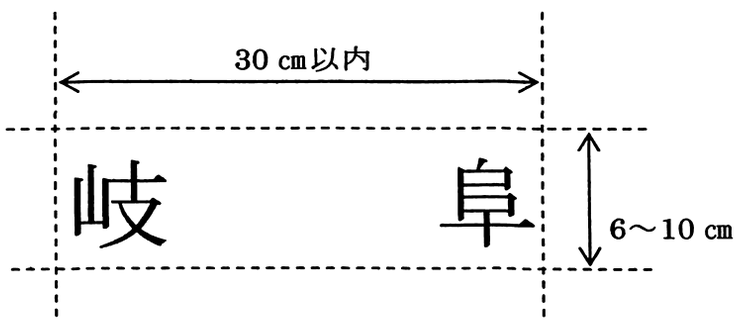
ウ　〒503-2492　岐阜県揖斐郡池田町六之井 1468 番地 1　池田町役場内
ぎふ清流国体池田町実行委員会事務局
TEL 0585-45-3111　FAX 0585-45-8314

なお、公益財団法人日本体育協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10　参加上の注意

競技に際しては、上衣背面中央に高さ 6～10 ㎝、横 30cm 以内の文字の大きさで県名のみ 1 行で明示すること。文字は明瞭な漢字とする。ベンチにおいても県名を明示したウエアを着ること。

【例】



11　そ の 他

(1) 組合せ抽選会

日　時　　平成 24 年 9 月 7 日（金）　午後 1 時
場　所　　FORUM8(ﾌｫｰﾗﾑｴｲﾄ)　会議室
〒150-0043　東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大宗ビル
TEL 03-3780-0008

(2) 審判会議

日　時　　平成 24 年 10 月 4 日（木）　午後 1 時 30 分
場　所　　池田町中央公民館
〒503-2425　岐阜県揖斐郡池田町六之井 1455 番地 1
TEL 0585-45-7110　FAX 0585-45-7116

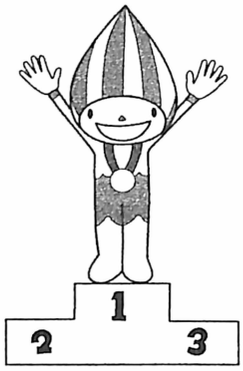
(3) 監督会議

日　時　　平成 24 年 10 月 4 日（木）　午後 3 時
場　所　　池田町中央公民館
〒503-2425　岐阜県揖斐郡池田町六之井 1455 番地 1
TEL 0585-45-7110　FAX 0585-45-7116

(4) 表彰式

日　時　　平成 24 年 10 月 8 日（月）　午後 3 時
場　所　　池田町総合体育館
〒503-2419　岐阜県揖斐郡池田町小寺 722 番地 1
TEL 0585-45-8711　FAX 0585-45-8710

表 彰 式 次 第



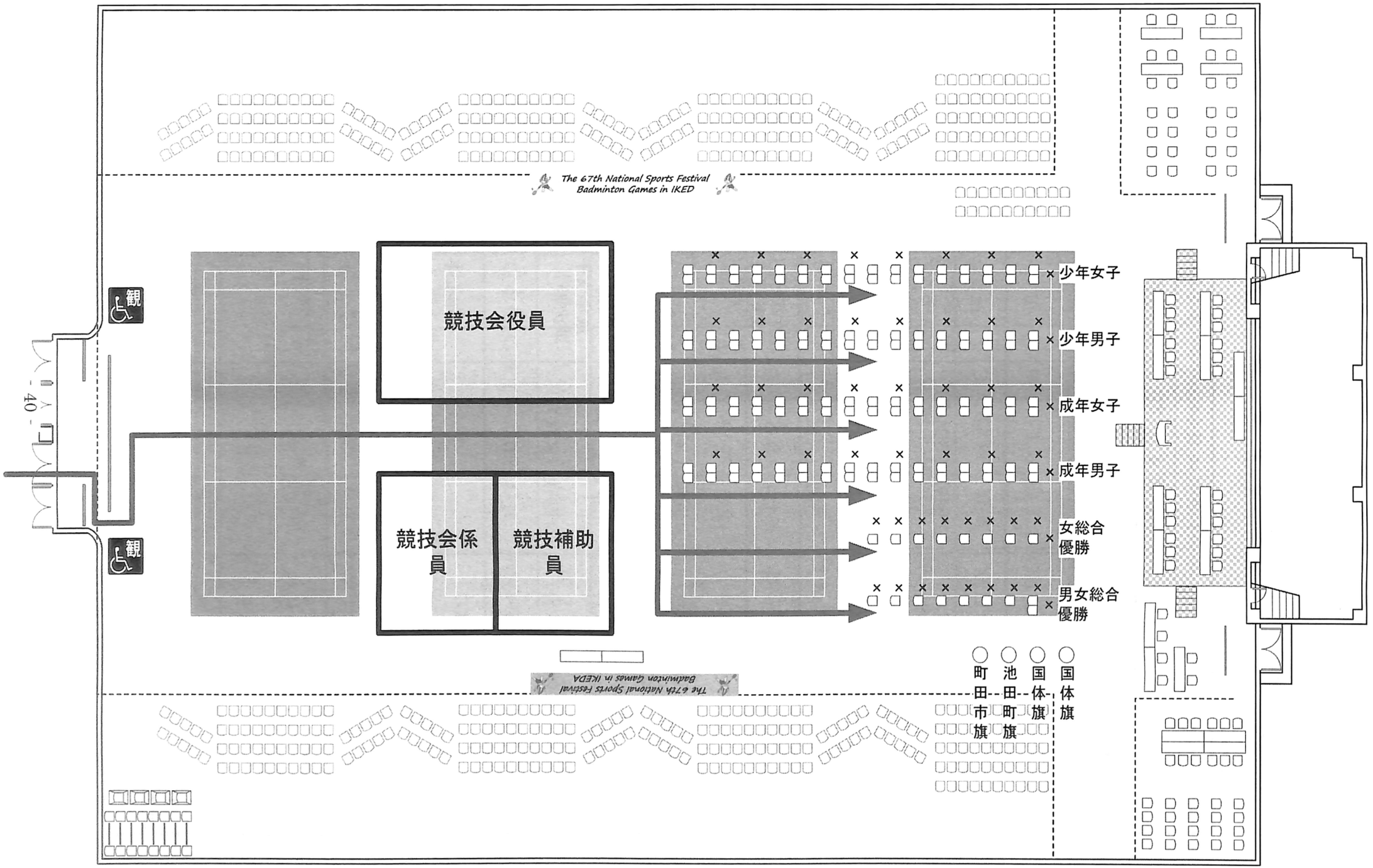
1　日　　時　平成 24 年 10 月 8 日（祝・月）　午後 3 時

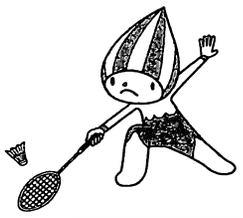
2　場　　所　池田町総合体育館　アリーナ

3　式 次 第

順序	次第	予定 時刻	内容
	競技（決勝）終了	13:30	
	表彰式会場へレイアウト変更	13:30	
	選手団集合・関係役員整列完了	14:50	※選手団招集放送 14:40
1	開式通告	15:00	放送より通告
2	選手団入場	15:01	
3	成績発表	15:06	総合成績計算委員長
4	表彰	15:09	競技会会長ほか
5	競技会会長あいさつ	15:39	競技会会長
6	歓送のことば	15:42	競技会名誉会長
7	国旗儀礼	15:45	
8	大会旗・協会旗・県旗・町旗儀礼	15:48	
9	競技会終了宣言	15:50	競技会委員長
10	閉式通告	15:51	放送により通告
	選手団解散	15:52	
	関係役員解散	15:57	

表彰式会場図


The 67th National Sports Festival
Badminton Games in IKED
観
観
競技会役員
競技会係員
競技補助員
少年女子
少年男子
成年女子
成年男子
女総合優勝
男女総合優勝
○国体旗
○国体旗
○池田町旗
○町田市旗
The 67th National Sports Festival
Badminton Games in IKEDA



競　技　日　程

審判会議	１０月４日(木)	１３時３０分	池田町中央公民館
監督会議	１０月４日(木)	１５時００分	池田町中央公民館

	１０月５日（金）	１０月６日（土）	１０月７日（日）	１０月８日（月）
9:00				
9:30	少年女子（G） １回戦（７試合） ９：３０～	少年男子（B） １回戦（８試合） ９：３０～	少年男子（B） 準々決勝（４試合） 成年女子（W） 準々決勝（４試合） ９：３０～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） ３位決定戦 ９：３０～
10:00				
10:30				
11:00	少年女子（G） １回戦（８試合） １１：００～	成年女子（W） １回戦（８試合） １１：００～		
11:30			少年女子（G） 準々決勝（４試合） 成年男子（M） 準々決勝（４試合） １１：３０～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） 決勝戦 １１：３０～
12:00				
12:30	成年男子（M） １回戦（８試合） １２：３０～	成年男子（M） ２回戦（８試合） １２：３０～		
13:00				
13:30			少年男子（B） 準決勝（２試合） 成年女子（W） 準決勝（２試合） １３：３０～	表彰式準備
14:00				
14:30	成年男子（M） １回戦（８試合） １４：００～	少年女子（G） ３回戦（８試合） １４：００～		
15:00				表彰式 １５：００～ 池田町総合体育館
15:30	少年女子（G） ２回戦（８試合） １５：３０～		少年女子（G） 準決勝（２試合） 成年男子（M） 準決勝（２試合） １５：３０～	
16:00				
16:30				
17:00	少年女子（G） ２回戦（８試合） １７：００～			
17:30				
18:00				
18:30				
19:00				

表彰式	１０月８日(月)	１５時００分	池田町総合体育館

※ Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子

タイムテーブル

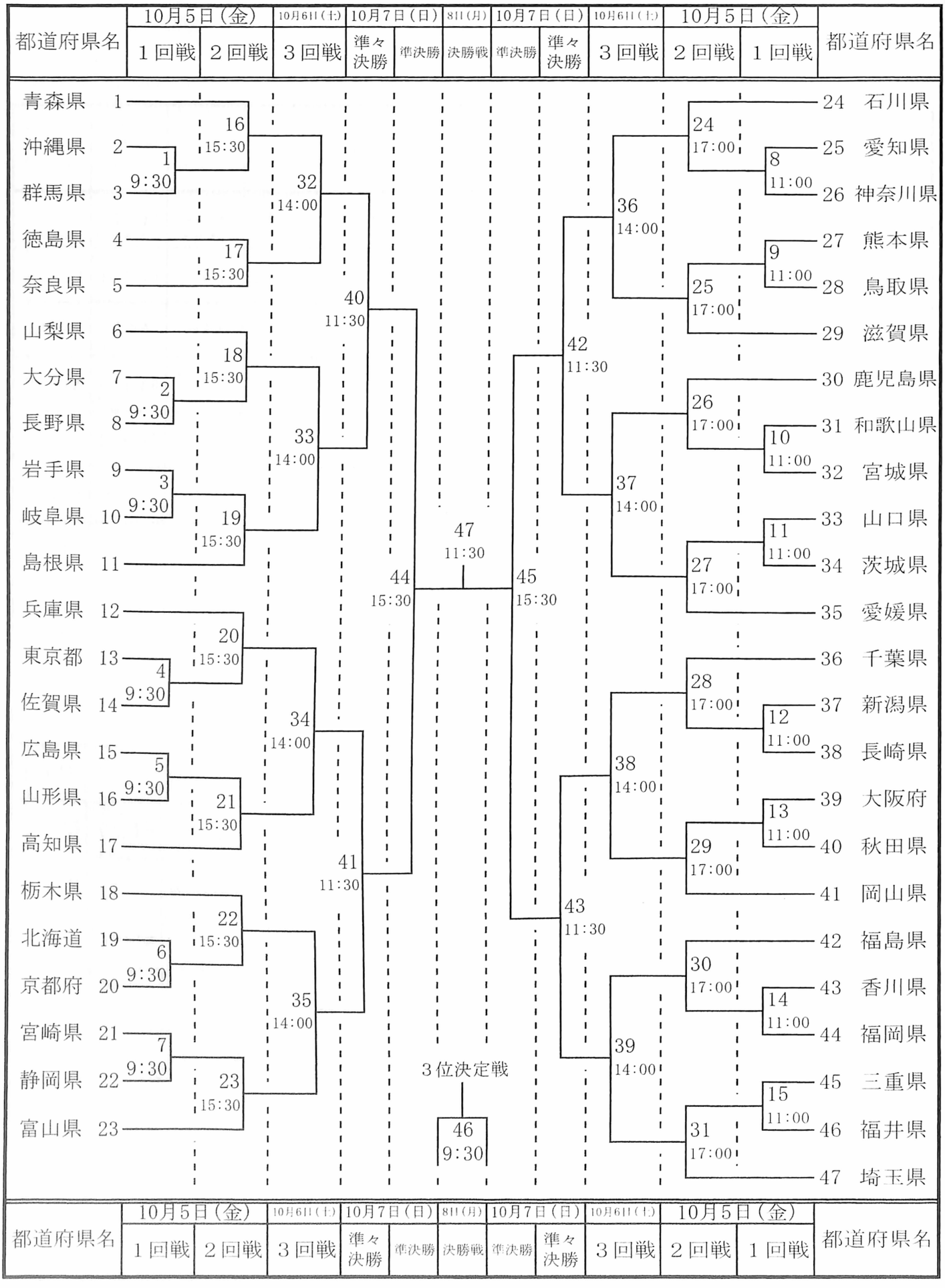
月　日	コート番号 / 開始時間	1	2	3	4	5	6	7	8
第１日目	9:30	Ｇ１	Ｇ２	Ｇ３	Ｇ４	Ｇ５	Ｇ６	Ｇ７	
１０月５日	11:00	Ｇ８	Ｇ９	Ｇ１０	Ｇ１１	Ｇ１２	Ｇ１３	Ｇ１４	Ｇ１５
（金）	12:30	Ｍ１	Ｍ２	Ｍ３	Ｍ４	Ｍ５	Ｍ６	Ｍ７	Ｍ８
	14:00	Ｍ９	Ｍ１０	Ｍ１１	Ｍ１２	Ｍ１３	Ｍ１４	Ｍ１５	Ｍ１６
	15:30	Ｇ１６	Ｇ１７	Ｇ１８	Ｇ１９	Ｇ２０	Ｇ２１	Ｇ２２	Ｇ２３
	17:00	Ｇ２４	Ｇ２５	Ｇ２６	Ｇ２７	Ｇ２８	Ｇ２９	Ｇ３０	Ｇ３１
第２日目	9:30	Ｂ１	Ｂ２	Ｂ３	Ｂ４	Ｂ５	Ｂ６	Ｂ７	Ｂ８
１０月６日	11:00	Ｗ１	Ｗ２	Ｗ３	Ｗ４	Ｗ５	Ｗ６	Ｗ７	Ｗ８
（土）	12:30	Ｍ１７	Ｍ１８	Ｍ１９	Ｍ２０	Ｍ２１	Ｍ２２	Ｍ２３	Ｍ２４
	14:00	Ｇ３２	Ｇ３３	Ｇ３４	Ｇ３５	Ｇ３６	Ｇ３７	Ｇ３８	Ｇ３９
第３日目	9:30	Ｂ９	Ｂ１０	Ｂ１１	Ｂ１２	Ｗ９	Ｗ１０	Ｗ１１	Ｗ１２
１０月７日	11:30	Ｇ４０	Ｇ４１	Ｇ４２	Ｇ４３	Ｍ２５	Ｍ２６	Ｍ２７	Ｍ２８
（日）	13:30	Ｂ１３		Ｂ１４			Ｗ１３		Ｗ１４
	15:30		Ｇ４４		Ｇ４５	Ｍ２９		Ｍ３０	
第４日目	9:30	Ｍ３１	Ｗ１５	Ｂ１５	Ｇ４６				
１０月８日	11:30	Ｍ３２	Ｗ１６	Ｂ１６	Ｇ４７				
（月）	15:00	表　彰　式							

※ Ｍは成年男子、Ｗは成年女子、Ｂは少年男子、Ｇは少年女子

※ □ は決勝戦、＿＿＿ は３位決定戦

組合せ表

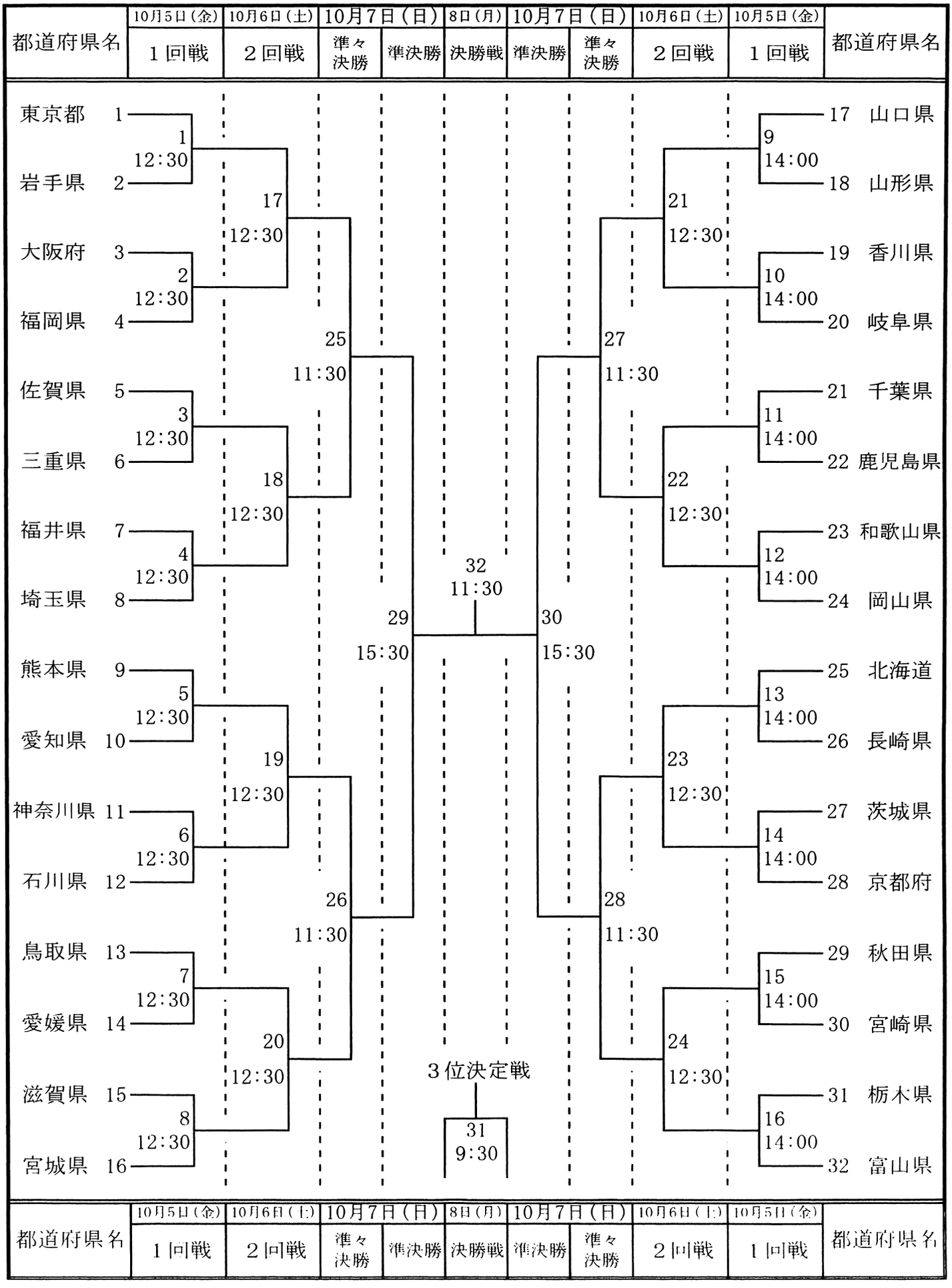
【　少年女子（G）】



都道府県名　10月5日（金）　1回戦　2回戦　10月6日（土）　3回戦　10月7日（日）　準々決勝　準決勝　8日（月）　決勝戦　10月7日（日）　準決勝　準々決勝　10月6日（土）　3回戦　10月5日（金）　2回戦　1回戦　都道府県名

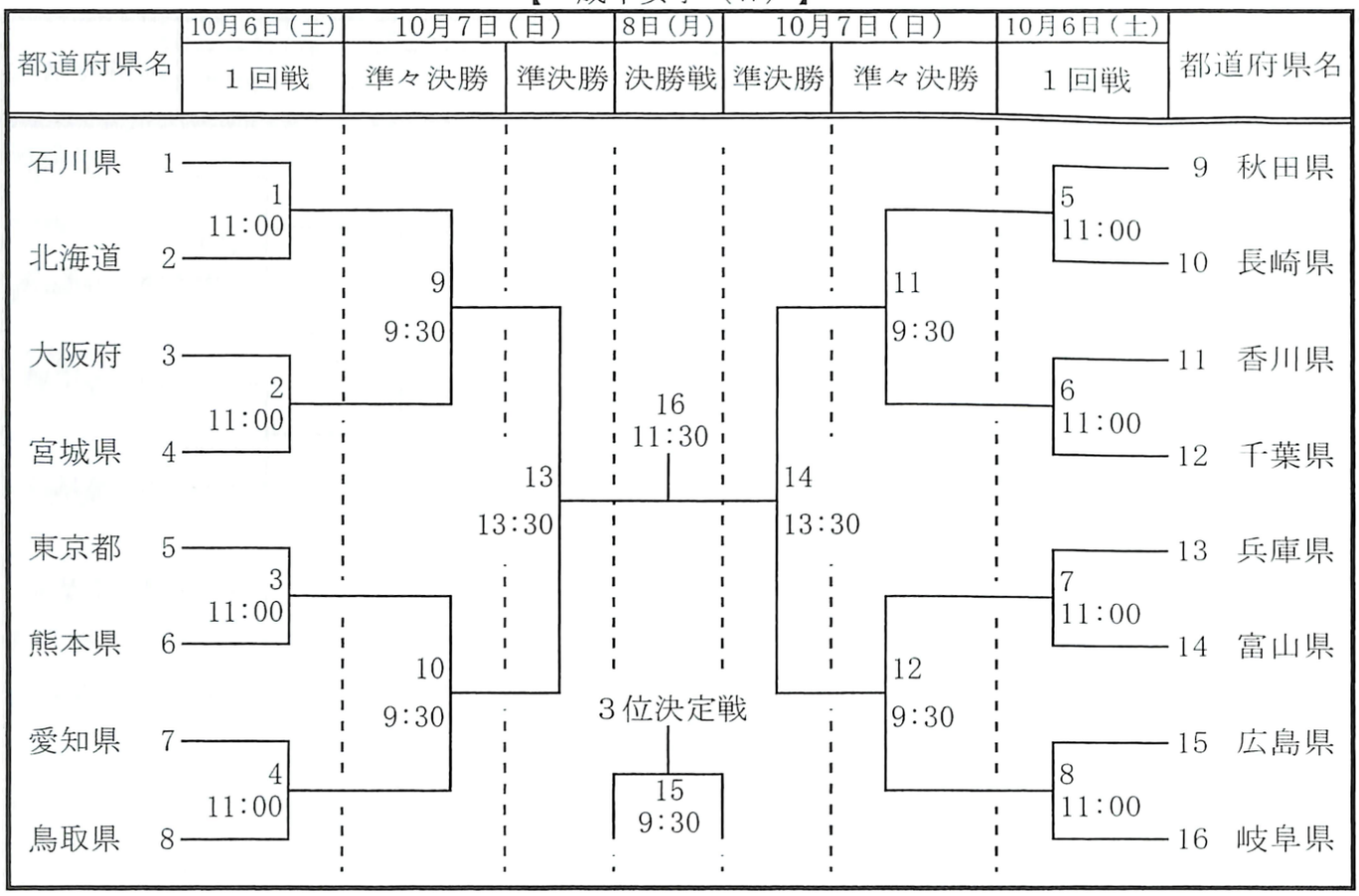
組合せ表

【　成年男子（M）】

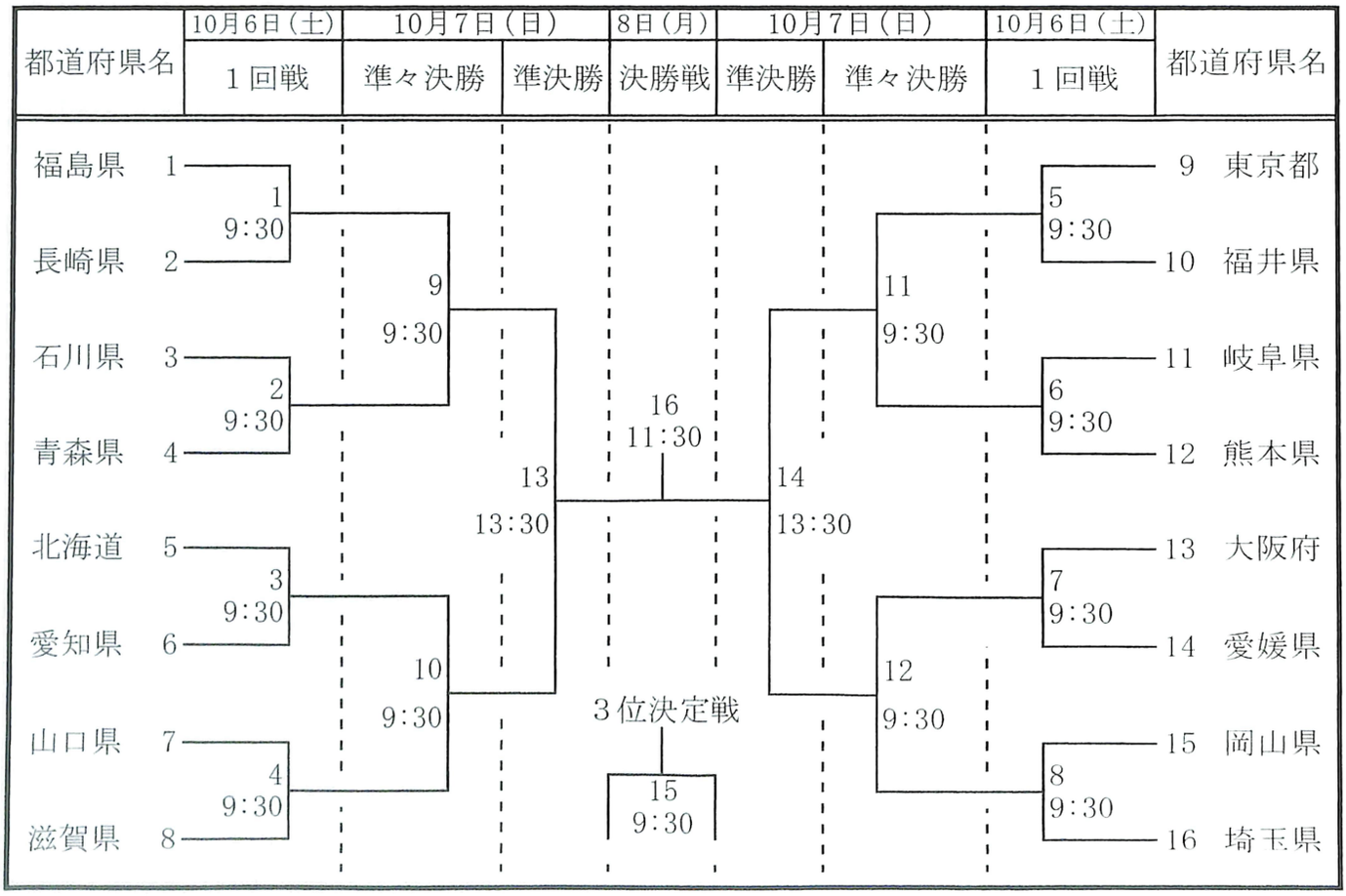


都道府県名 | 10月5日（金） 1回戦 | 10月6日（土） 2回戦 | 10月7日（日） 準々決勝 | 準決勝 | 8日（月） 決勝戦 | 10月7日（日） 準決勝 | 準々決勝 | 10月6日（土） 2回戦 | 10月5日（金） 1回戦 | 都道府県名

組合せ表
【　成年女子（W）】



組合せ表
【　少年男子（B）】



バドミントンを楽しく見るために

－　バドミントンQ&A　－



Q　バドミントンのルーツは?

A　バドミントンの誕生のもとになった羽根つき遊びは、古くから世界中で楽しまれていました。近世になって、こうした遊びはバトルドアー・アンド・シャトルコックと呼ばれるようになりました。（バトルドアーとはラケットのことです。）バドミントンの名の由来となったボーフォート公爵の居城バドミントン・ハウスにおいてもバトルドアー・アンド・シャトルコックが盛んに行われていました。

1860 年頃になって、ある玩具業者が、ラケットとシャトル、それにネットを加えてワンセットにし、バドミントン・ハウスの名を借りて、「バドミントン・バトルドアー」と名付けて売り出しました。この遊びの名前が省略されて「バドミントン」と呼ばれるようになったと考えられます。

その後、イギリスの植民地などにさまざまなルールで普及していきました。そこで、ルールを統一しようという動きが生まれて、1893 年にバドミントン協会が設立され、アソシエーション・バドミントンが誕生したのです。

これが今日、私たちがバドミントンと呼ぶところのものです。

（日本教職員バドミントン連盟１００問集より抜粋）

Q　バドミントンとは、どんなスポーツですか？

A①　ネットを挟んでラケットで羽根（シャトル）を打ち合うものです。コートの外に落ちたり、コートの内や外であっても床に落ちる前に身体にシャトルがタッチすれば失点（フォルト）になります。

②　試合には、相対する１人が行うシングルスと２人がペアを組んで行うダブルスがあります。

③　ダブルスには、男性同士、女性同士でペアを組むものと、男女でペアを組むもの（ミックスダブルス）があります。

Q　バドミントンの羽根（シャトル）はどんなものですか？

A　コルクの台に、ガチョウまたはアヒルの羽根を１６枚取り付けます。重さは5ｇ程しかありません。

Q　ラケットの長さや重さはどれ位ですか？

A　規定ではフレームの全長が６８ｃｍ以内、幅２３ｃｍ以内と決められています。重さは８０～８６ｇが主流となっています。（カーボン、チタン製など）

Q　打たれた時のシャトルコックのスピードはどれ位ですか？

A　下向きに強く打つスマッシュのとき、世界の一流選手の初速は 400㎞ を超えます。その速度は瞬間的には新幹線より速いのです。

Q　新幹線より速いスピードのものをどうして打ち返すことができるのですか？

A　ラケットから離れる時の速度は速いのですが、ネットを越えてある距離になると減速します。初速と終速の差が一番大きいスポーツです。

また、慣れてくると飛んでくるシャトルのコースを予測できるようになります。

Q　どうすれば、得点（ポイント）になりますか？

A　２００６年に開催されました兵庫国体までは、サービス権をもっているサイドがラリーに勝った時だけ得点になりましたが、２００７年の秋田国体からはサービス権の有無にかかわらず、ラリーに勝った時にポイントになるラリーポイント制に変わりました。

Q　試合の得点は何点で勝敗が決まるのですか？

A　全ての種目で、１ゲームは２１点で行います。試合は、３ゲームで行い、２ゲームを先取した方が勝ちです。

しかし、スコアが２０点オールになった時は、その後最初に２点リードした方が勝ちとなります。ただし、スコアが２９点オールになった時は、３０点目を得た方が、そのゲームの勝者となります。

≪国体バドミントン競技について≫

Q　種別はどのようなものがありますか？

A　成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の４種別があります。

Q　参加都道府県はどのように決めるのですか？

A　「２０１２年ぎふ清流国体」では、少年女子は４７都道府県が、成年男子、成年女子、少年男子は全国を９ブロックに分けて、各ブロック大会を勝ち抜いた都道府県が参加します。成年男子は開催県（岐阜県）を含む３２チーム、成年女子と少年男子は開催県（岐阜県）を含む１６チームの参加となります。

１チームは、監督１人・選手３人の４人で編成します。

Q　試合はどのようにして行いますか。

A　８コートを使って、すべて都道府県対抗の団体戦トーナメント方式で行います。

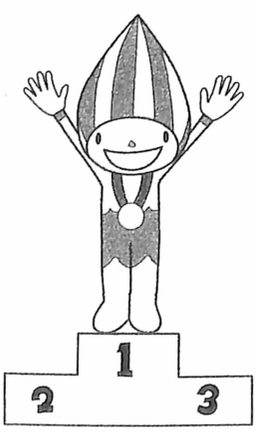
試合は、①ダブルス②シングルス③シングルスの順で行い、先に２勝したチームが勝ちとなります。なお、勝敗決定後のゲームは行いません。

Q　天皇杯得点・皇后杯得点は、どのようにして決まるのですか？

A　得点には、競技得点と参加得点があります。競技得点は、各種別ともに１位２４点、２位２１点、３位１８点、４位１５点、５位（４チーム）７．５点です。参加得点は、大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に１０点を与えるものです。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合には与えられません。この競技得点と参加得点の合計が総合得点になります。

天皇杯の対象種別は、成年男子・成年女子・少年男子・少年女子で、皇后杯の対象種別は、成年女子と少年女子です。







都道府県別参加人員一覧表

ブロック	都道府県	監督	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	計
北海道	北海道	4	3	3	3	3	16
東北	青森県	2			3	3	8
	岩手県	2	3			3	8
	宮城県	3	3	3		3	12
	秋田県	3	3	3		3	12
	山形県	2	3			3	8
	福島県	2			3	3	8
関東	茨城県	2	3			3	8
	栃木県	2	3			3	8
	群馬県	1				3	4
	埼玉県	3	3		3	3	12
	千葉県	3	3	3		3	12
	東京都	4	3	3	3	3	16
	神奈川県	2	3			3	8
	山梨県	1				3	4
北信越	新潟県	1				3	4
	長野県	1				3	4
	富山県	3	3	3		3	12
	石川県	4	3	3	3	3	16
	福井県	3	3		3	3	12
東海	静岡県	1				3	4
	愛知県	4	3	3	3	3	16
	三重県	2	3			3	8
	岐阜県	4	3	3	3	3	16
近畿	滋賀県	3	3		3	3	12
	京都府	2	3			3	8
	大阪府	4	3	3	3	3	16
	兵庫県	2		3		3	8
	奈良県	1				3	4
	和歌山県	2	3			3	8
中国	鳥取県	3	3	3		3	12
	島根県	1				3	4
	岡山県	3	3		3	3	12
	広島県	2		3		3	8
	山口県	3	3		3	3	12
四国	香川県	3	3	3		3	12
	徳島県	1				3	4
	愛媛県	3	3		3	3	12
	高知県	1				3	4
九州	福岡県	2	3			3	8
	佐賀県	2	3			3	8
	長崎県	4	3	3	3	3	16
	熊本県	4	3	3	3	3	16
	大分県	1				3	4
	宮崎県	2	3			3	8
	鹿児島県	2	3			3	8
	沖縄県	1				3	4
総計		111	96	48	48	141	444

都道府県別出場監督・選手一覧

少年女子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
北海道	監督　横山　匠	札幌静修高等学校	
	選手　鈴木　麻友	旭川実業高等学校	
	選手　佐々木　柚里菜	旭川実業高等学校	
	選手　松本　麻佑	とわの森三愛高等学校	
青森県	監督　藤田　真人	青森山田高等学校	
	選手　永田　麗	青森山田高等学校	
	選手　島田　きらら	青森山田高等学校	
	選手　宮浦　玲奈	青森山田高等学校	
岩手県	監督　渡邉　清一	前沢高等学校	
	選手　玉山　巴	前沢高等学校	
	選手　古川　佳奈	前沢高等学校	
	選手　高橋　咲	盛岡市立高等学校	
宮城県	監督　田所　光男	聖ウルスラ学院英智高等学校	
	選手　小池　紗葉	聖ウルスラ学院英智高等学校	
	選手　鳥居　彩乃	聖ウルスラ学院英智高等学校	
	選手　重山　智佳	聖ウルスラ学院英智高等学校	
秋田県	監督　藤田　理	秋田県立秋田高等学校	
	選手　菅生　愛也	秋田県立秋田北高等学校	
	選手　佐藤　想	秋田県立秋田北高等学校	
	選手　齊藤　志帆子	秋田県立秋田高等学校	
山形県	監督　丸山　勝美	鶴岡市役所	
	選手　松澤　美沙希	山形県立鶴岡北高等学校	
	選手　川越　愛奈	山形県立鶴岡北高等学校	
	選手　後藤　絵津穂	山形城北高等学校	
福島県	監督　渡部　訓生	勿来工業高等学校	
	選手　大堀　優	富岡高等学校	
	選手　大堀　彩	富岡高等学校	
	選手　濱北　もも	富岡高等学校	
茨城県	監督　相澤　理沙	常総学院高等学校	
	選手　山下　祐子	茨城県立石岡第一高等学校	
	選手　岡田　紗季	茨城県立石岡第一高等学校	
	選手　宮本　万由	常総学院高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧

少年女子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
栃木県	監督　遠藤　敦史	作新学院高等学校	
	選手　大幡　晴佳	作新学院高等学校	
	選手　長谷川　琴音	作新学院高等学校	
	選手　関町　理紗子	作新学院高等学校	
群馬県	監督　板垣　巌	群馬県立桐生南高等学校	
	選手　立花　遥	群馬県立桐生南高等学校	
	選手　篠田　希望	群馬県立伊勢崎清明高等学校	
	選手　下城　萌果	群馬県立桐生南高等学校	
埼玉県	監督　山田　秀樹	ユニアデックス（株）	
	選手　奥原　希望	埼玉県立大宮東高等学校	
	選手　渡邉　あかね	埼玉栄高等学校	
	選手　中西　貴映	埼玉県立大宮東高等学校	
千葉県	監督　高瀬　秀雄	西武台千葉高校	
	選手　小松　鮎実	西武台千葉高校	
	選手　柳　郁美	西武台千葉高校	
	選手　岡部　陽	西武台千葉高校	
東京都	監督　大石　宏	日本橋女学館	
	選手　仲井　由希乃	日本橋女学館	
	選手　武田　紗貴	日本橋女学館	
	選手　小野寺　香菜	関東第一高等学校	
神奈川県	監督　五十嵐　功	川崎市立川崎総合科学高等学校	
	選手　石郷岡　弓枝	川崎市立川崎総合科学高等学校	
	選手　中家　好美	川崎市立川崎総合科学高等学校	
	選手　城所　恵美	神奈川県立生田高等学校	
山梨県	監督　柿崎　孝央	甲斐清和高等学校	
	選手　井上　菜月	甲斐清和高等学校	
	選手　濱田　真衣	甲斐清和高等学校	
	選手　藤巻　亜里菜	甲斐清和高等学校	
新潟県	監督　吉田　亜土夢	新潟青陵高等学校	
	選手　桑原　花菜	新潟青陵高等学校	
	選手　北上　誌歩	新潟青陵高等学校	
	選手　阿部　英	東京学館新潟高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧

少年女子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
長野県	監督　山崎　広一	高山村役場	
	選手　山川　莉歩	文化学園長野高等学校	
	選手　小平　安佳里	文化学園長野高等学校	
	選手　松井　ひかり	松商学園高等学校	
富山県	監督　松田　高幸	富山国際大学付属高等学校	
	選手　山口　ソヨカ	富山国際大学付属高等学校	
	選手　松田　蒼	富山国際大学付属高等学校	
	選手　野上　碧水	富山県立富山商業高等学校	
石川県	監督　車　浩明	県立金沢向陽高校	
	選手　長谷川　由季	県立金沢向陽高校	
	選手　星　千智	県立金沢向陽高校	
	選手　吉森　朱里	県立金沢向陽高校	
福井県	監督　小林　陽年	福井県立勝山高等学校	
	選手　鈴木　沙知	福井県立勝山高等学校	
	選手　綿矢　汐里	福井県立勝山高等学校	
	選手　眞柄　友美	福井県立勝山高等学校	
静岡県	監督　西島　知彦	富士フイルム富士宮工場	
	選手　太田川　真希	静岡県立富士宮北高等学校	
	選手　芹澤　妃那子	御殿場西高等学校	
	選手　勝俣　莉里香	御殿場西高等学校	
愛知県	監督　中根　寿彦	岡崎城西高校	
	選手　峰　郁美	岡崎城西高校	
	選手　西川　菜月	岡崎城西高校	
	選手　小川　由香	岡崎城西高校	
三重県	監督　高倉　伸介	皇學館高等学校	
	選手　中西　理緒	皇學館高等学校	
	選手　山岡　夕記	暁高等学校	
	選手　川添　麻依子	皇學館高等学校	
岐阜県	監督　山田　青子	有限会社岐阜トリッキーパンダース	
	選手　中村　朱里	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　上野　亜実	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　髙田　結衣	岐阜県立大垣西高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧

少年女子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
滋賀県	監督　村井　健郎	（有）ラケットショップイチムラ	
	選手　藤田　麻子	滋賀県立大津商業高等学校	
	選手　三津川　有美	滋賀県立大津商業高等学校	
	選手　北村　毬乃	滋賀短期大学附属高等学校	
京都府	監督　山本　裕幸	京都府立乙訓高等学校	
	選手　岸上　紗帆	京都府立乙訓高等学校	
	選手　藤元　真美	京都府立乙訓高等学校	
	選手　山中　芹里	京都外大西高等学校	
大阪府	監督　西上　正一	大阪市立五条小学校	
	選手　木戸　美咲	四天王寺高等学校	
	選手　今井　優歩	四天王寺高等学校	
	選手　森　みず穂	四天王寺高等学校	
兵庫県	監督　寺町　彰浩	園田学園高等学校	
	選手　杉野　文保	園田学園高等学校	
	選手　柏原　みき	園田学園高等学校	
	選手　宇都宮　茉佑	園田学園高等学校	
奈良県	監督　三宅　知佳	斑鳩南中学校	
	選手　中村　真瑠美	奈良県立添上高校	
	選手　久保田　法子	奈良県立添上高校	
	選手　谷間　美奈	大和高田市立高田商業高校	
和歌山県	監督　三原　清和	有田市立初島中学校	
	選手　山本　千夏	和歌山県立耐久高等学校	
	選手　深瀬　法子	和歌山県立耐久高等学校	
	選手　名倉　帆南	和歌山県立耐久高等学校	
鳥取県	監督　清水　隆志	鳥取敬愛高等学校	
	選手　三橋　久瑠美	鳥取敬愛高等学校	
	選手　岩成　真帆	鳥取敬愛高等学校	
	選手　畑　由衣香	鳥取敬愛高等学校	
島根県	監督　丸岡　智子	株式会社山陰合同銀行	
	選手　井田　麻友	松徳学院高等学校	
	選手　菅野　菜々	松徳学院高等学校	
	選手　木村　文香	松徳学院高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧

少年女子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
岡山県	監督　尾﨑　勝久	岡山県立倉敷中央高等学校	
	選手　岡崎　梨紗	岡山県立倉敷中央高等学校	
	選手　秋田　知咲	岡山県立倉敷中央高等学校	
	選手　加藤　美幸	岡山県立倉敷中央高等学校	
広島県	監督　高井　英行	清水ヶ丘高等学校	
	選手　菊地　香奈子	清水ヶ丘高等学校	
	選手　田岸　美幸	清水ヶ丘高等学校	
	選手　中尾　実華	広島県立福山明王台高等学校	
山口県	監督　河野　強志	山口県立下関南高等学校	
	選手　重信　萌夏	山口県立柳井商工高等学校	
	選手　辻　瑞貴	山口県立柳井商工高等学校	
	選手　福本　涼香	山口県立柳井商工高等学校	
香川県	監督　土居　純子	香川県立高松商業高等学校	
	選手　三枝　舞奈	香川県立高松商業高等学校	
	選手　三谷　奈央	高松第一高等学校	
	選手　十河　茉由	香川県立高松商業高等学校	
徳島県	監督　小寺　由香	城東高等学校	
	選手　塚本　祥子	城東高等学校	
	選手　久田　佳奈	城東高等学校	
	選手　岩﨑　遥香	城東高等学校	
愛媛県	監督　出井　康隆	新田高等学校	
	選手　久枝　り　な	新田高等学校	
	選手　伊野　紫菜	新田高等学校	
	選手　倉本　梨香	新田高等学校	
高知県	監督　橋詰　高博	ワールドスポーツ（株）	
	選手　弘瀬　文	清和女子高等学校	
	選手　都築　奈々	高知南高等学校	
	選手　山本　朋	高知南高等学校	
福岡県	監督　明神　憲一	九州国際大学付属高等学校	
	選手　中村　麻裕	九州国際大学付属高等学校	
	選手　西尾　千空	九州国際大学付属高等学校	
	選手　寺田　桃香	九州国際大学付属高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧

少年女子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
佐賀県	監督　多田　美紀	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校	
	選手　光延　亜衣里	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校	
	選手　宗　佐耶香	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校	
	選手　毛利　未佳	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校	
長崎県	監督　西山　勝也	長崎県立諫早商業高等学校	
	選手　前田　悠希	長崎県立諫早商業高等学校	
	選手　松本　悠里	長崎県立諫早商業高等学校	
	選手　財津　穂	長崎県立諫早商業高等学校	
熊本県	監督　永松　勇一郎	玉名女子高校	
	選手　伊藤　月規	玉名女子高校	
	選手　廣田　彩花	玉名女子高校	
	選手　千々波　美華	八代白百合学園高校	
大分県	監督　吉田　太郎	昭和学園高等学校	
	選手　和田　真衣	大分県立別府鶴見丘高等学校	
	選手　嶺　和	大分県立別府鶴見丘高等学校	
	選手　井上　美沙	昭和学園高等学校	
宮崎県	監督　田原　秀典	宮崎商業高校	
	選手　宮崎　みなみ	宮崎商業高校	
	選手　定宗　瑠莉	宮崎商業高校	
	選手　本部　優奈	聖心ウルスラ学園高校	
鹿児島県	監督　草ノ瀬　公一郎	グッドウェーブ	
	選手　今林　里沙	鹿児島女子高等学校	
	選手　橋口　夏季	鹿児島女子高等学校	
	選手　牟田　香菜子	鹿児島女子高等学校	
沖縄県	監督　新里　登	沖縄県立コザ高等学校	
	選手　外間　優花	沖縄県立石川高等学校	
	選手　外間　結	沖縄県立石川高等学校	
	選手　田場　愛佳	沖縄県立コザ高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧

成年男子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
北海道	監督　小倉　隆司	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　高島　雅彦	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　竹村　純	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　早坂　幸平	北海道旅客鉄道株式会社	
岩手県	監督　石川　聡	ＪＲ東日本盛岡支社	
	選手　松浦　翔	ジェイテクト	
	選手　石川　貴寛	及川スポーツ	
	選手　亀ケ森　有		
宮城県	監督　内村　剛	東北マークス	
	選手　小町谷　輝	東北マークス	
	選手　鈴木　大裕	東北マークス	
	選手　青山　真	東北マークス	
秋田県	監督　菅生　哲也	宮ペン工業（株）	
	選手　広岡　翔	（株）北都銀行	
	選手　佐藤　大樹	（株）北都銀行	
	選手　甲谷　望	法政大学	
山形県	監督　遠藤　保樹	鶴岡市シルバー人材センター	
	選手　原田　雄基	（公財）山形市体育協会	
	選手　大山　琢也	法政大学	
	選手　佐藤　祐樹	敬和学園大学	
茨城県	監督　大橋　雅道	阿見町役場	
	選手　小松﨑　翔太	株式会社ゴーセン	
	選手　福岡　輝	ＪＡ土浦	
	選手　小松﨑　佑也	ＮＴＴ東日本株式会社	
栃木県	監督　笠井　孝之	日産自動車（株）栃木工場	
	選手　笠井　孝太	日産自動車（株）栃木工場	
	選手　福田　春樹	南那須精工（株）	
	選手　中里　好貴	南那須精工（株）	
埼玉県	監督　中條　彪	日本ユニシス（株）	
	選手　山田　和司	日本ユニシス（株）	
	選手　遠藤　大由	日本ユニシス（株）	
	選手　上田　拓馬	日本ユニシス（株）	

都道府県別出場監督・選手一覧

成年男子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
千葉県	監督　野村　和弘	千葉県庁生活協同組合	
	選手　竹内　宏気	ＮＴＴ東日本（株）	
	選手　大越　泉	ＮＴＴ東日本（株）	
	選手　松丸　一輝	ＮＴＴ東日本（株）	
東京都	監督　坂本　修一	日本ユニシス株式会社	
	選手　池田　雄一	日本ユニシス株式会社	
	選手　数野　健太	日本ユニシス株式会社	
	選手　垰畑　亮太	日本ユニシス株式会社	
神奈川県	監督　前田　吉憲	ウエンブレー	
	選手　海野　祐樹	日立情報通信エンジニアリング（株）	
	選手　山﨑　裕太	日立情報通信エンジニアリング（株）	
	選手　内藤　浩司	日本体育大学	
富山県	監督　荒木　純	トナミ運輸株式会社	
	選手　園田　啓悟	トナミ運輸株式会社	
	選手　嘉村　健士	トナミ運輸株式会社	
	選手　武下　利一	トナミ運輸株式会社	
石川県	監督　長谷川　進	（有）ハセガワスポーツ	
	選手　青山　天将	金沢学院大学	
	選手　伊東　克範	ＮＴＴマーケティングアクト	
	選手　坂井　一将	日本ユニシス	
福井県	監督　芦井　隆俊	福井県立武生工業高等学校	
	選手　廣部　好輝	日本ユニシス株式会社	
	選手　笹木　里司	福井県立勝山高等学校	
	選手　千京　尚将	日本体育大学	
愛知県	監督　馬場　直樹	東海興業株式会社	
	選手　酒井　宏治	株式会社ジェイテクト	
	選手　鈴木　陵麻	東海興業株式会社	
	選手　間瀬　俊介	法政大学	
三重県	監督　梅本　洋平	津市役所	
	選手　岩脇　峰生	庭工房	
	選手　柴原　啓紀	津市立一志中学校	
	選手　駒田　直也	日本橋女学館高校	

都道府県別出場監督・選手一覧

成年男子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
岐阜県	監督　深田　茂雄	（株）丸杉	
	選手　吉田　　昇	（株）丸杉	
	選手　髙木　洋平	（株）丸杉	
	選手　石川　直樹	（株）丸杉	
滋賀県	監督　酒井　良之	株式会社近江兄弟社	
	選手　川下　剛士	大同特殊鋼株式会社	
	選手　村上　　俊	早稲田大学	
	選手　宇野　賢人	立命館大学	
京都府	監督　山本　秀樹	ビーウエイ株式会社	
	選手　喜多　勝人	三菱自動車京都	
	選手　犬山　陽介	三菱自動車京都	
	選手　三森　領太	三菱自動車京都	
大阪府	監督　谷田　尚嗣	此花学院高等学校	
	選手　佐野　拓磨	法政大学	
	選手　井谷　和弥	トリッキーパンダース	
	選手　高階　知也	トリッキーパンダース	
和歌山県	監督　佐々木　朝幸	岩出市立岩出第二中学校	
	選手　山東　亮太	学校法人　金沢学院	
	選手　平野　晃一	西日本旅客鉄道株式会社	
	選手　北原　惇史	和歌山県バドミントン協会	
鳥取県	監督　宮本　義夫	有限会社　明和印刷	
	選手　花本　大地	パナソニック鳥取	
	選手　湯谷　亮介	株式会社 久大建材	
	選手　堂本　克樹	パナソニック鳥取	
岡山県	監督　藤原　道弘	JFEスチール株式会社西日本製鉄所	
	選手　佐伯　浩一	東日本電信電話株式会社	
	選手　佐伯　祐行	日本ユニシス株式会社	
	選手　逢澤　良亮	龍谷大学	
山口県	監督　原本　俊也	山口県立下関西高等学校	
	選手　山平　直輝	宇部興産株式会社	
	選手　松尾　光平	宇部興産株式会社	
	選手　米元　優樹	宇部興産株式会社	

都道府県別出場監督・選手一覧

成年男子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
香川県	監督　中村　亨	(株) タダノ	
	選手　天野　真一	(株) タダノ	
	選手　吉本　尚弘	(株) タダノ	
	選手　長谷川　達也	日本体育大学	
愛媛県	監督　高橋　徹	松山市役所	
	選手　濵中　裕太	愛媛大学大学院	
	選手　村上　真次郎	住友化学株式会社愛媛工場	
	選手　藤田　遼	龍谷大学	
福岡県	監督　武田　信一郎	スリーエス	
	選手　具志堅　興平	トヨタ自動車九州	
	選手　新宅　地塩	トヨタ自動車九州	
	選手　原田　和憲	早稲田大学	
佐賀県	監督　田中　昌樹	多久市立東部小学校	
	選手　森田　広貴	B・S・M	
	選手　樫本　孔明	佐賀大学	
	選手　嘉村　昌俊	早稲田大学	
長崎県	監督　茂見　祥平	諫早市立西諫早中学校	
	選手　小川　量平	鶴鳴学園長崎女子高等学校	
	選手　吉村　諒	龍谷大学	
	選手　山口　凌司	明治大学	
熊本県	監督　井上　哲章	県立翔陽高等学校	
	選手　古財　和輝	トナミ運輸	
	選手　宮本　樹希	金沢学院大学	
	選手　権藤　公平	日本体育大学	
宮城県	監督　橋口　俊彦	西都市役所	
	選手　井手　大	IBS	
	選手　渡邊　達哉	日本体育大学	
	選手　定宗　隆一郎	筑波大学	
鹿児島県	監督　古川　博文	川内商工高等学校	
	選手　溝口　元気	グッドウェーブ	
	選手　坂中　賢太	近畿大学	
	選手　川野　光志	関西学院大学	

都道府県別出場監督・選手一覧

成年女子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
北海道	監督　松村　徳市	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　永野　陽子	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　野村　有美	北翔大学	
	選手　本田　恵利奈	北翔大学	
宮城県	監督　草井　篤	ＮＴＴファシリティーズ東北	
	選手　音田　亜子	七十七銀行	
	選手　阪口　智郁	七十七銀行	
	選手　幡谷　若奈	七十七銀行	
秋田県	監督　原田　利雄	（株）北都銀行	
	選手　三好　奈緒	（株）北都銀行	
	選手　馬上　愛実	（株）北都銀行	
	選手　楠瀬　由佳	（株）北都銀行	
千葉県	監督　飯田　武司	中央学院高校	
	選手　米元　陽花	ＮＴＴ東日本（株）	
	選手　新玉　美郷	ＮＴＴ東日本（株）	
	選手　矢野　智恵美	ＮＴＴ東日本（株）	
東京都	監督　岩田　良子	ヨネックス	
	選手　今別府　靖代	ヨネックス	
	選手　田村　千秋	ヨネックス	
	選手　土井　杏奈	ヨネックス	
富山県	監督　河合　昭博	公益財団法人　高岡市体育協会	
	選手　江淵　愛美	日本ユニシス（株）	
	選手　古西　佳那子	ＮＴＴ東日本（株）	
	選手　中尾　佳淑	龍谷大学	
石川県	監督　毛利　達彦	金沢市役所	
	選手　伊東　可奈	ルネサスＳＫＹ	
	選手　樽野　恵	ＮＴＴ東日本（株）	
	選手　三谷　美菜津	ＮＴＴ東日本（株）	
愛知県	監督　中口　直人	バドミントンハウスはりーあっぷ	
	選手　打田　しづか	日本ユニシス株式会社	
	選手　野尻野　匡世	日本ユニシス株式会社	
	選手　篠谷　菜留	日本ユニシス株式会社	

都道府県別出場監督・選手一覧

成年女子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
岐阜県	監督　尾藤　伸治	東海学院大学	
	選手　後藤　愛	東日本電信電話株式会社	
	選手　脇田　侑	株式会社文溪堂	
	選手　江藤　理恵	丸栄コンクリート工業株式会社	
大阪府	監督　谷内　貴昭	パナソニック株式会社	
	選手　福万　尚子	パナソニック株式会社	
	選手　髙橋　沙也加	パナソニック株式会社	
	選手　與猶　くるみ	パナソニック株式会社	
兵庫県	監督　酒井　将之	三菱電機株式会社	
	選手　中村　紋子	三菱電機株式会社	
	選手　大迫　晴加	三菱電機株式会社	
	選手　恵良　友里亜	三菱電機株式会社	
鳥取県	監督　山本　明良	パナソニック鳥取	
	選手　宮崎　優花	パナソニック鳥取	
	選手　西川　由衣	パナソニック鳥取	
	選手　井田　詩織	パナソニック鳥取	
広島県	監督　川田　輝夫	輝スポーツ	
	選手　武田　陽子	広島ガス株式会社	
	選手　前田　園美	広島ガス株式会社	
	選手　桜井　みどり	広島ガス株式会社	
香川県	監督　谷口　省二	(株)百十四銀行	
	選手　落合　智世	(株)百十四銀行	
	選手　安藤　真里絵	(株)百十四銀行	
	選手　水口　愛梨	(株)百十四銀行	
長崎県	監督　永田　美香	ドリームバドミントンショップ	
	選手　小森　愛美	龍谷大学	
	選手　吉村　裕那	九州国際大学	
	選手　田上　菜美子	東海学院大学	
熊本県	監督　本田　和宏	ルネサス	
	選手　原　麻衣子	ルネサス	
	選手　峰　歩美	ルネサス	
	選手　城口　優里花	ルネサス	

都道府県別出場監督・選手一覧

少年男子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
北海道	監督　松本　章	北海道旅客鉄道株式会社	
	選手　水間　陽介	札幌第一高等学校	
	選手　三枝　力起	札幌第一高等学校	
	選手　吉田　尚弥	札幌第一高等学校	
青森県	監督　由町　弘樹	東奥学園高等学校	
	選手　三浦　光將	東奥学園高等学校	
	選手　岡村　翼	東奥学園高等学校	
	選手　海谷　慎吾	青森山田高等学校	
福島県	監督　大堀　均	富岡高等学校	
	選手　桃田　賢斗	富岡高等学校	
	選手　松居　圭一郎	富岡高等学校	
	選手　保木　卓朗	富岡高等学校	
埼玉県	監督　大屋　貴司	埼玉栄高等学校	
	選手　井上　拓斗	埼玉栄高等学校	
	選手　金子　祐樹	埼玉栄高等学校	
	選手　西本　拳太	埼玉栄高等学校	
東京都	監督　落合　久夫	法政大学	
	選手　奥石　涼	関東第一高等学校	
	選手　細田　慎二	関東第一高等学校	
	選手　吉川　英太郎	関東第一高等学校	
石川県	監督　水内　浩	金沢市立工業高校	
	選手　日光　凌	金沢市立工業高校	
	選手　荒井　大輝	金沢市立工業高校	
	選手　袋井　由樹	金沢市立工業高校	
福井県	監督　丸永　幸則	福井県立足羽高等学校	
	選手　石井　大翔	福井県立勝山高等学校	
	選手　勝矢　悠太	福井工大附属福井高等学校	
	選手　服部　秀治	福井県立足羽高等学校	
愛知県	監督　野瀬　泰弘	岡崎城西高等学校	
	選手　峰　将大	岡崎城西高等学校	
	選手　高橋　佑典	愛知工業大学名電高等学校	
	選手　小笠　裕貴	名古屋経済大学市邨高等学校	

都道府県別出場監督・選手一覧

少年男子

都道府県	監督・選手名	勤務先・学校名	備考
岐阜県	監督　大橋　浩	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　後藤　圭亮	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　古田　将也	岐阜県立岐阜商業高等学校	
	選手　稲川　義樹	岐阜県立岐阜商業高等学校	
滋賀県	監督　仲尾　修一	比叡山高等学校	
	選手　河崎　駿輔	比叡山高等学校	
	選手　三津川　剛史	比叡山高等学校	
	選手　宮　雄大	比叡山高等学校	
大阪府	監督　有田　圭一	東大阪大学柏原高等学校	
	選手　常山　明良	東大阪大学柏原高等学校	
	選手　畠山　主税	東大阪大学柏原高等学校	
	選手　下農　走	東大阪大学柏原高等学校	
岡山県	監督　松川　大記	岡山県立水島工業高等学校	
	選手　福田　卓郎	岡山県立水島工業高等学校	
	選手　岡本　侑也	岡山県立水島工業高等学校	
	選手　渡邉　貴宏	岡山県立水島工業高等学校	
山口県	監督　松原　康則	山口県立徳山高校	
	選手　桐田　啓吾	山口県立柳井商工高等学校	
	選手　近本　哲	山口県立柳井商工高等学校	
	選手　桐田　和樹	山口県立柳井商工高等学校	
愛媛県	監督　徳永　督	新田高等学校	
	選手　國本　遼太郎	新田高等学校	
	選手　吾野　文人	新田高等学校	
	選手　渡部　翔大	新田高等学校	
長崎県	監督　林　貴昭	長崎県立西陵高等学校	
	選手　松村　健太	長崎県立西陵高等学校	
	選手　吉村　健吾	長崎県立西陵高等学校	
	選手　新田　祥基	長崎県立西陵高等学校	
熊本県	監督　権藤　浩二	熊本県立八代東高校	
	選手　富岡　寿将	熊本県立八代東高校	
	選手　西　智寛	熊本県立八代東高校	
	選手　藤　慶行	熊本県立八代東高校	

競技成績決定方法

男女総合成績(天皇杯得点)及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競技得点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位（4チーム）各7.5点の競技得点を与える。

2　参加得点

大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に10点を与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

総合成績(天皇杯・皇后杯)一覧表

都道府県名		成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女総合成績(天皇杯)				女子総合成績(皇后杯)				備考
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位	
1	北海道																	
2	青森																	
3	岩手																	
4	宮城																	
5	秋田																	
6	山形																	
7	福島																	
8	茨城																	
9	栃木																	
10	群馬																	
11	埼玉																	
12	千葉																	
13	東京																	
14	神奈川																	
15	山梨																	
16	新潟																	
17	長野																	
18	富山																	
19	石川																	
20	福井																	
21	静岡																	
22	愛知																	
23	三重																	
24	岐阜																	
25	滋賀																	
26	京都																	
27	大阪																	
28	兵庫																	
29	奈良																	
30	和歌山																	
31	鳥取																	
32	島根																	
33	岡山																	
34	広島																	
35	山口																	
36	香川																	
37	徳島																	
38	愛媛																	
39	高知																	
40	福岡																	
41	佐賀																	
42	長崎																	
43	熊本																	
44	大分																	
45	宮崎																	
46	鹿児島																	
47	沖縄																	

過去の成績一覧表

第４回　　昭和２４年　　東京都ＹＭＣＡ（個人戦オープン）

種別＼順位	1　位		2　位		3　位	
一般男子　単	東　京	広　田　敏　秀	北海道	佐　藤　　保	東　京	藤　井　光　男
一般男子　複	東　京	広　田　敏　秀 藤　井　光　男	神奈川	岡　　淳　一 相　馬　万　吉	北海道	佐　藤　　保 村　上　三　郎
一般女子　単	神奈川	吉　田　とよ子	愛　知	吉　沢　千　里	神奈川	遠　藤　文　子
一般女子　複	神奈川	吉　田　とよ子 遠　藤　文　子	神奈川	小　林　歌　子 中　村　多　喜	愛　知	吉　沢　千　里 後　藤　範　子

第５回　　昭和２５年　　愛知県　　白鷗小学校・東桜小学校（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1　位		2　位		3　位	
一般男子	東　京	広　田　敏　秀 藤　井　光　男 小　宮　淳　宏 山　田　康　久	神奈川	岡　　淳　一 相　馬　万　吉 大　谷　直　次 松　本　武　道	北海道	佐　藤　　保 村　上　三　郎 葛　西　英　俊 若　林　　守
一般女子	神奈川	吉　田　とよ子 遠　藤　文　子 小　林　歌　子 荒　川　とみ子	愛　知	水　谷　鈴　子 堀　江　綾　子 保　田　久　子 伊与田　照　子	北海道	伊　藤　絹　代 安　藤　　栄 佐　賀　信　子 片　岡　京　子
高校男子	北海道	石　田　　裕 神　山　周　二 大　塚　健　一 島　中　貞　夫	愛　知	石　川　光　男 渡　辺　成　雄 大　竹　健　司 野　口　　勇	神奈川	岡　　道　明 村　松　弘　喬 江　井　　実 藤　井　昂　一

第６回　　昭和２６年　　広島県　　広大東雲分校・同大附属小学校（総合優勝　愛知県）

種別＼順位	1　位		2　位		3　位	
一般男子	東　京	広　田　敏　秀 岡　　道　明 山　田　康　久	岐　阜	玉　越　忠　治 大　竹　健　司 下　野　和　彦	愛　知	藤　井　光　男 渡　辺　成　雄 蟹　　和　男
一般女子	愛　知	堀　江　綾　子 保　田　久　子 伊与田　照　子	石　川	登　　悦　子 貝　原　まさえ 高　田　八重子	北海道	伊　藤　絹　代 片　岡　京　子 栗　原　澄　子
高校男子	愛　知	服　部　興　治 野　口　　勇 立　松　健　市	石　川	東　　正　直 西　　貞　夫 諸　江　秀　一	岐　阜	後　藤　裕八郎 林　　金太郎 田　中　正　則

第７回　　昭和２７年　　宮城県　　東北大学体育館（総合優勝　神奈川県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀 岡道明 藤井昴一 吉原秀雄	北海道	石田裕 神山周二 葛西英俊 野坂豊三郎	東京	江井実 小宮章敬 山崎茂 佐藤芳朗
一般女子	石川	貝原まさえ 登悦子 高田八重子 岩倉衣絵	東京	田中知江子 中谷成子 佐之瀬教子 小野寺京子	愛知	堀江綾子 保田久子 伊与田照子 水野美根子
高校男子	東京	望月文雄 倉田一彦 力石潔 鈴木隆治	神奈川	新倉利男 関根秀司 内藤広明 伏島光則	石川	諸江秀一 井上晴夫 山本圭三 上田稔
高校女子	兵庫	広瀬延子 西尾貞子 小笠原美津子 関一子	山形	佐藤照子 五十嵐弘子 斎藤久美子 佐藤明	神奈川	大川良子 竜野美代子 藤田光子 中島緑

第８回　　昭和２８年　　香川県　　善通寺体育館（総合優勝　神奈川県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀 佐治豊 川崎順久 杉田博	東京	藤井光男 諸江秀一 相川十一郎 萩原誠	岐阜	大竹健司 松岡龍三 丹波哲昭 林金太郎
一般女子	神奈川	遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子 小野智子	北海道	岡元弘子 梅津貴久江 阿部悦子 荒井重子	石川	貝原まさえ 登悦子 島谷須磨子 町駒ヤス子
高校男子	北海道	片石兼敏 加藤正則 長谷川龍男 井桁啓充	石川	江尻桂三 辻貞三 半田外喜男 岡崎健一	神奈川	越川啓 花岡牧夫 折井利彦 内藤弘明
高校女子	宮城	西堀富美子 谷津京子 佐藤範子 松本幸子	香川	大西誉子 秋山武子 真鍋寿子	神奈川	大川良子 藤田光子 竜野美代子 波多野澄子

第９回　　昭和２９年　　北海道　　札幌市（総合優勝　愛知県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	岐阜	玉越忠治 大竹健司 松岡龍三	愛知	野口勇 服部興治 稲熊貞夫	富山	清水正 釣谷友一 荒木亥久男
一般女子	宮城	西堀富美子 佐藤範子 谷津京子	石川	登悦子 貝原まさえ 澁谷信	愛知	保田久子 伊与田照子 堀江綾子
高校男子	愛知	豊場建 御友昡正 伊藤雅昭	石川	西村嘉彦 江尻桂三 島谷昇	神奈川	宮沢健一 伊豆内宏 渡辺潔
高校女子	福島	武田信子 伊藤桂子 尾形亨子	岡山	大森嘉美 友野文子 三宅基子	愛知	大沢節子 大室久美子 大竹泰子

第１０回　昭和３０年　神奈川県　神奈川県体育館・鶴見女高校体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀 杉田博 岡道明	岐阜	大竹健司 松岡龍三 酒井弘	富山	釣谷友一 荒木亥久男 高木満
一般女子	福島	武田信子 伊藤桂子	神奈川	荒川とみ子 小林歌子 大川良子	北海道	梅津貴久江 阿部悦子 下山重子
高校男子	東京	永井栄一 北島克英 小野岡順一	石川	北方匡 関功 米谷外喜彦	山形	生田仁紀 板垣隆房 羽角至
高校女子	岡山	友野文子 権田節子 三宅基子	宮城	佐々木功子 三津節 菅井静子	香川	永田豊子 藤田純代 藤村怜子

第１１回　昭和３１年　兵庫県　神戸ＹＭＣＡ・生田中学校（総合優勝　岡山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪	上田益弘 増木節男 武村俊平	岡山	毛利清志 前田俊一 石原利道
一般女子	宮城	西堀富美子 小野寺静江 佐藤範子	岡山	友野文子 権田節子 光本政子	兵庫	西尾貞子 加藤洋子 金森奎子
高校男子	神奈川	小宮好雄 中村智 齊藤裕之	北海道	四ツ柳邦夫 小田桐正徳 岩本竜一	山形	板垣隆房 山岸重孝 鑓水勝志
高校女子	香川	横井キヌエ 井上桂子 山下衣子	岡山	小林桂子 戸田寿子 根岸純	宮城	三浦節 沼倉英子 三浦与志子

第１２回　昭和３２年　静岡県　富士市体育館・富士高講堂（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗 杉田博 新倉和男	東京	望月文雄 力石潔 鈴木峻三	北海道	島中貞夫 星野嘉雄 神山周二
一般女子	香川	横井キヌエ 井上桂子 山下衣子	岡山	権田節子 光本政子 小林桂子	神奈川	大川良子 小林歌子 石川英子
高校男子	神奈川	小宮好雄 中村智 鈴木敏勝	石川	酒井明夫 村田和男 堀知章	島根	平野隆 森脇英裕 富田豊
高校女子	香川	田島外茂子 山下久子 宮川ツヤ子	静岡	掛橋良子 西村弘子 佐野禎子	石川	有田順子 長田悠喜子 松田富美子

第１３回　昭和３３年　富山県　高岡女子高校体育館・南星中学校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 越川啓 花岡牧夫	神奈川	杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪	高谷芳弘 上田益弘 松王清志
一般女子	香川	横井キヌエ 山下久子 田島外茂子	神奈川	小林歌子 大川良子 二見文子	岡山	権田節子 光本政子 小林桂子
高校男子	山形	金森義弘 板垣義憲 小林賢	東京	鈴木幸春 宮永武司 貝戸肇	奈良	森晃一 榎高嗣 中川安正
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	石川	山崎紀久子 川節子 竹多光子

第１４回　昭和３４年　東京都　足立区体育館（総合優勝　神奈川県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗 佐藤昌久 関口潔	石川	新田正治 酒井明夫 村田和男	大阪	松王清志 小松康博 小松貢
一般女子	神奈川	大川良子 二見文子 椎野みや子	香川	横井キヌエ 山下久子 宮川ツヤ子	富山	大坪愛子 高島洋子 中島玲子
教員男子	神奈川	杉田博 山本剛 石塚義治	大阪	佐藤茂雄 宝来敏夫 北野敬四郎	東京	平田登志郎 市川和司 柳田直規
高校男子	宮城	渡部紘一 後藤忠広 甲斐昭宏	北海道	龍瀬康彦 竹中将晃 梅木聡	神奈川	山本洋彦 岡崎恵三 小坂拓充
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	静岡	伊沢利子 志村セツ子 石原待子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子

第１５回　昭和３５年　熊本県　菊池市体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	永井栄一 北島克英 貝戸肇	神奈川	佐藤芳朗 遠藤啓治 砥石勤	富山	荒木亥久男 扇沢三徳 大野幸雄
一般女子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	秋田	脇坂チエ 木村政子 横山満子	静岡	野村志津江 伊沢利子 志村セツ子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 茂藤寛	神奈川	杉田博 山本剛 石塚義治	秋田	宮越竜三 脇坂安隆 鈴木裕司
高校男子	神奈川	岡崎恵三 小坂拓充 長谷川敏彦	山形	佐藤勝彦 出沢勇男 高橋清一	新潟	阿部孚 笠原淳 伊藤洋祐
高校女子	富山	橘美智子 酒井美智子 平田敦子	香川	横井文子 林信子 森久子	秋田	高橋奉子 石沢七子 長崎文子

第１６回　昭和３６年　秋田県　象潟町中学校体育館（総合優勝　秋田県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 永井栄一 星野忠男	神奈川	佐藤芳朗 岡崎恵三 遠藤啓治	山形	板垣隆房 出沢勇男 北村任
一般女子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子	秋田	木村政子 横山満子 高橋奉子	香川	宮川ツヤ子 福本和子 横井文子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	秋田	脇坂安隆 鈴木裕司 高橋弘喜
高校男子	新潟	大竹紘一 安沢武司 星野義昭	北海道	中村富光 松浦潔 松本直治	山梨	平田勲 秋山真男 早川博
高校女子	山形	佐藤弘子 小笠原詔子 矢口淳子	静岡	高木紀子 天野博江 影山昭子	秋田	伊藤美津子 横山綾子 大門モモ子

第１７回　昭和３７年　岡山県　県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝　東京都、富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	星野忠男 富田豊 井門鎮雄	神奈川	遠藤啓治 鈴木敏勝 岡崎恵三	愛知	北島克英 小宮好雄 長谷川陽一
一般女子	香川	福本和子 横井文子 森久子	富山	橘美智子 酒井美智子 栂野尾桂子	秋田	木村政子 横山満子 高橋奉子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 秋山捷彦 岡田敬三郎	秋田	脇坂安隆 鈴木裕司 真崎俊光
高校男子	新潟	本田務 荒川治男 阿野善紀	東京	西野一征 須田孝夫 関一誠	青森	奥谷国昭 長谷川勇 三上義明
高校女子	富山	橘妙子 室崎光子 河村和子	秋田	大塚トシ 大門サヨ子 間瀬幸子	岡山	高塚淳子 重政百代 七村泰子

第１８回　昭和３８年　山口県　下関市体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 稲熊文隆	東京	井門鎮雄 宮永武司 堺栄一	島根	星野忠男 富田豊 山崎春茂
一般女子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	香川	田島外茂子 横井文子 森久子	富山	栂野尾桂子 酒井美智子 室崎光子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	大阪	大世古吉弘 北野敬四郎 片岡輝明
高校男子	新潟	星野義夫 裏田光男 樋口一春	東京	関一誠 中村安 古屋和正	北海道	福島智徳 林守 久保田和男
高校女子	栃木	前沢和子 松本昭子 小出千代子	新潟	後藤和子 茂沢純子 竹内泰子	北海道	高森幸子 高田裕子 村田泰子

第１９回　昭和３９年　新潟県　県立三条高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 岩后隆昭	東京	永井栄一 宮永武司 堺栄一	石川	新田正治 村田和男 松下力
一般女子	香川	横井文子 田島外茂子 森久子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	岐阜	高木紀子 天野博江 岩后蛍子
教員男子	新潟	渡部紘一 永井司 佐藤俊夫	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦
高校男子	新潟	鈴木正浩 神田和夫 片山毅	奈良	森芳夫 橋本修 真壁年一	富山	立野正昭 盛野博之 高林弘則
高校女子	栃木	植木タカ子 大島コヨ 武田初枝	新潟	竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	秋田	佐々木フミ 中川美枝子 加賀谷ユミ子

第２０回　昭和４０年　岐阜県　富田学園体育館（総合優勝　岐阜県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 長谷川敏彦	東京	堺栄一 宮永武司 田上十六	香川	東条義昭 山口立朗 牟礼顕
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	香川	横井文子 森久子 加藤和子	新潟	後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
教員男子	石川	河原山晴夫 北方匡 村西一	北海道	杉田茂良 笹森剛 中嶋弘志	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	栂野尾昌一 寺前信之 中坪邦雄	岐阜	堀幸矩 杉山修 尾関美智則	奈良	真壁年一 河村憲一 滝野公一
高校女子	大阪	近藤光枝 才脇妙子 池田栄子	岐阜	高橋葉子 稲葉良子 川本美代子	栃木	上野明美 石崎喜代子 吉田サト子

第２１回　昭和４１年　大分県　日田林工高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	長谷川敏彦 板垣善憲 安沢武司	山梨	岡崎恵三 秋山真男 三上勇	大分	宮永武司 田中大也 春武俊一
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	新潟	後藤和子 石崎妙子 加藤操	秋田	横山満子 高橋奉子 加賀谷ユミ子
教員男子	北海道	杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	石川	河原山晴夫 北方匡 原栄一	岡山	三宅勝 毛利清志 柳本堯敏
高校男子	新潟	本間順次 高橋宣 奥田良秋	宮城	我妻一郎 市川清 寒河江一利	香川	西辻和一 西崎健弘 小田忠庸
高校女子	山形	小山登茂子 遠藤幹子 伊藤シゲ子	新潟	本間恵美子 日下悦子 高坂薫	岡山	湯木博江 浦口恵子 佐藤民子

第２２回　昭和４２年　埼玉県　越ヶ谷市立体育館（総合優勝　香川県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	板垣善憲 安沢武司 小林一宏	神奈川	小島一平 山本洋彦 遠藤啓治	東京	堺栄一 田上十六 本橋平八
一般女子	香川	有木とみ子 横井文子 山本真江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 加藤操	岐阜	高木紀子 天野博江 虫賀雅子
教員男子	富山	清水芳隆 正木史郎 松山信之	北海道	杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	宮城	加茂和夫 渡部紘一 菊地功
高校男子	富山	米田実 松島保 谷口寛	奈良	滝野公一 小林正昭 葛輪博一	宮城	門間幹夫 山田哲夫 木戸純一
高校女子	新潟	相沢マチ子 金子美和子 高坂薫	香川	小片千恵子 竹森経子 山下清美	栃木	田仲美津江 枝加代子 印波和子

第２３回　昭和４３年　福井県　県立勝山合同体育館（総合優勝　岐阜県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	岡崎恵三 秋山真男 田中登	神奈川	小島一平 吉良悠一 渡辺直人	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 安藤久美子	東京	高橋とも子 水野小夜子 田仲美津江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 小林邦子
教員男子	熊本	南直治 工藤勇参 芦原健身	石川	北方匡 村西一 原栄一	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	二上敏博 草島正治 布目茂	山形	遠藤好男 田所光男 伊藤政臣	岐阜	岩田昇 後藤路宏 足立守男
高校女子	大阪	平山泰子 柴山きよ子 高崎弘子	香川	宮武泰子 福本幸子 赤沢ひろ子	新潟	堀川栄美子 竹中礼子 大竹由里子

第２４回　昭和４４年　長崎県　諫早市体育館、県立諫早高校体育館（総合優勝　新潟県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高橋千代美	東京	高橋とも子 田仲美津江 水野小夜子	京都	永井かおり 山下三枝子 岡崎繁子
教員男子	熊本	西田壽明 工藤勇参 芦原健身	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏	石川	北方匡 原栄一 村西一
高校男子	新潟	本間享 小泉司 九原正敏	群馬	内田通夫 桐生台次郎 渡辺稔	奈良	菅原弘貴 岡田昇久 山本繁幸
高校女子	大阪	柴山きよ子 高崎弘子 大場照美	岐阜	及川恵子 脇田和子 紅谷島子	栃木	望月しずか 石崎茂子 阿久津まさ子

第２５回　昭和４５年　岩手県　釜石製鉄所健康保険組合体育館（総合優勝　岩手県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	東京	池田信孝 栂野尾昌一 鈴木健二	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二
一般女子	新潟	竹中悦子 相沢マチ子 後藤和子	岐阜	高木紀子 天野博江 桑原富士子	栃木	松本昭子 石崎喜代子 望月しずか
教員男子	岩手	佐々木彦士 佐々木邦夫 永沢和彦	石川	北方匡 原栄一 松本忠之	熊本	西田壽明 工藤勇参 芦原健身
高校男子	奈良	巽康司 竹内真 西川繁美	石川	銭谷欽治 竹村勇治 青山信吾	岩手	高橋信夫 佐藤壮 佐藤吉雄
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	栃木	小林敏枝 藤井幸子 池田静江	香川	川東秀美 森清美 田所静子

第２６回　昭和４６年　和歌山県　湯浅中学校、耐久高校体育館（総合優勝　新潟県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	渡辺直人 小島一平 宮川秀樹	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄	岐阜	森芳夫 河田満 安藤義治
一般女子	新潟	鈴木明美 後藤和子 本間恵美子	神奈川	杉田良子 味藝とも子 秋山陽子	北海道	田村静子 高野美千子 今川喜佐子
教員男子	滋賀	久保田良昌 藤原健二 藤上良信	和歌山	森隆 中西詳味 佐藤光伸	熊本	本郷節生 南直治 工藤勇参
高校男子	新潟	土田征雄 鈴木裕 佐野直行	和歌山	山本茂樹 倉内徹 岡忠成	奈良	西川繁美 佐野弘 中井基夫
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	福島	千葉陽子 宮内すみ子 木村瑞江	岡山	林寿美子 平田喜久江 三宅一美

第２７回　昭和４７年　太陽国体　鹿児島県　南高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	小島一平 渡辺直人 宮川秀樹	東京	鈴木健二 池田信孝 栂野尾昌一	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄
一般女子	東京	湯木博江 竹中悦子 石崎茂子	愛知	橋本香代 池田静江 富居康子	香川	小片千恵子 小西幸代 森清美
教員男子	和歌山	森隆 中西詳味 門間幹夫	栃木	別井晃 斉藤佶 森田昇	石川	北方匡 原栄一 長谷川進
高校男子	奈良	中井基夫 南田義正 辻敏弘	石川	原敏夫 山下敏行 谷島助男	岐阜	古西悟 角田勝 後藤純一
高校女子	大阪	秋本幸子 高田幹子 徳田敦子	山形	矢口洋子 本間浩子 今田真知子	千葉	山田尚子 平野美千代 瀬野清美

第２８回　昭和４８年　若潮国体　千葉県　県立茂原高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京	関一誠 栂野尾昌一 池田信孝	愛知	本間順次 松島保 谷口寛
一般女子	東京	湯木博江 相沢マチ子 竹中悦子	香川	森清美 川東秀美 長尾弥生	岐阜	天野博江 広沢功子 日比野悦子
教員男子	滋賀	藤上良英 藤上良信 藤原健二	石川	原栄一 長谷川進 和田修	山形	永井司 高山昌三 斉藤和夫
高校男子	富山	西村正美 梶川博之 上治雄	福島	寺田繁 矢部芳光 五十嵐弘之	奈良	池田文昭 松重恵三 坪内利夫
高校女子	大阪	高田幹子 徳田敦子 植野恵美子	千葉	山田尚子 平野美千代 瀬野清美	山形	堀田正子 清水礼子 福原友子

第２９回　昭和４９年　水と緑のまごころ国体　茨城県　石岡小学校体育館、石岡二高校体育館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
一般男子	東京	池田信孝 栂野尾昌一 今井茂満	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	愛知	松島保 本間順次 谷口寛
一般女子	東京	石崎茂子 今田眞知子 柴山きよ子	香川	田所静子 山口豊子 川東秀美	北海道	田村静子 高野美千子 藤島百子
教員男子	和歌山	門間幹夫 武藤隆志 森隆	石川	原栄一 長谷川進 高来秀夫	茨城	佐藤利昭 関本昌和 大川健太郎
高校男子	山形	米山孝二 中島俊彦 加藤信之	奈良	塚本良一 小倉久和 村田信博	福井	長谷川博幸 諏訪芳博 中村幸平
高校女子	新潟	関根和子 大塚ソノエ 佐藤由喜子	香川	牛田真由美 片山千英子 渡辺幸子	大阪	植野恵美子 石川好子 北村寿弥子

第３０回　昭和５０年　たくましくあすをひらこう　みえ国体　三重県　県立松阪高校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京	池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	富山	河村博之 今泉勉 米沢和男
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 和田修	群馬	今井勇司 関俊夫 桐生台次郎	宮城	渡部紘一 木戸純一 白岩良治
成年女子		東京	湯木博恵 池田美加 柴山きよ子	香川	川東秀美 田所静子 山口豊子	岡山	石田雅子 三田明美 藤原敦子
少年男子		奈良	吉岡伸浩 冨田章夫 田島裕司	石川	宮森庄吉 酒井直人 坂本宏志	宮城	橘川光孝 沼沢隆 宍戸隆夫
少年女子		大阪	植野恵美子 北村寿弥子 石川好子	三重	谷口元美 槇野いく子 野崎知花	香川	前川加代子 渋谷茂子 金崎美保

第３１回　昭和５１年　若楠国体　佐賀県　県立牛津高校体育館、町立牛津中学校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	富山	今泉勉 河村博之 米沢和男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 和田修	群馬	関俊夫 今井勇司 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 武藤隆志 山本茂樹
成年女子		東京	湯木博恵 石崎茂子 今田眞知子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子
少年男子		石川	重山成生 森田均 坂本昌嗣	滋賀	北橋進 西山博司 西堀武	香川	平野勝彦 上原明 木田敬二
少年女子		大阪	石川好子 平久美子 河村茂美	新潟	青木恵子 藤井良子 佐藤友子	東京	徳永順子 松枝睦子 永野ふみ子

第３２回　昭和５２年　あすなろ国体　青森県　浪岡町民体育館（総合優勝　青森県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	埼玉	尾崎幹雄 飯野佳孝 土田証雄	東京	池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	神奈川	小島一平 笠井教行 辻敏弘
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 舛田吉光	群馬	今井勇司 栗原恒夫 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 山本茂樹 米山正和
成年女子		東京	湯木博恵 池田美加 池田茂子	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美
少年男子		滋賀	西山博司 矢部忠司 山田和樹	栃木	角田光永 久郷俊明 関根忠	青森	丹藤勇一 楠美誠悦 島内俊二
少年女子		大阪	平久美子 河村茂美 原口恵子	高知	浜田由理 田村圭香 寺田史枝	青森	葛西明子 山下奈々子 柳沼端代

第３３回　昭和５３年　やまびこ国体　長野県　塩尻市立体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男 大場和博 西村龍夫	新潟	棒勇 鈴木裕 丸山法男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	長谷川進 舛田吉光 和田修	群馬	今井勇司 栗原恒夫 岩崎盛和	熊本	工藤勇参 稲津悟 田中芳文
成年女子		大阪	谷美津代 秋本幸子 東海林文子	福岡	桶本百合子 丸山富江 山口峰子	栃木	沼能久子 日山裕子 日向野藤枝
少年男子		熊本	本石俊憲 権藤浩二 井上哲章	山形	桜井雅人 五十嵐正弘 須貝英徳	滋賀	保科正浩 横田悟司 川嶋栄司
少年女子		新潟	月岡広美 中沢一枝 斎藤優子	栃木	上野加代子 高田康子 海賀里美	大阪	合川裕子 原口恵子 北田スミ子

第３４回　昭和５４年　日本のふるさと宮崎国体　宮崎西都市民体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男	神奈川	小島一平	北海道	遠藤好男
			大場和博		高橋清		木村敏男
			織本富之		菅敏明		久原正敏
	教員	石川	長谷川進	群馬	今井勇司	滋賀	藤原健二
			和田修		栗原恒夫		藤上良信
			舛田吉光		鏑木智博		脇坂重之
成年女子		栃木	日山裕子	大阪	東海林文子	香川	平井佐代子
			日向野藤枝		葛西明子		山田高子
			大嶌和代		原口恵子		前川加代子
少年男子		熊本	権藤浩二	香川	岡野佳浩	栃木	馬場良浩
			村上英介		小西太		小野口正
			井上哲章		竹田佳史		大島正志
少年女子		大阪	北田スミ子	新潟	藤井直子	熊本	川添安代
			植田日出子		遠藤えり子		高峯和子
			冨田美千代		富岡栄子		陣内貴美子

第３５回　昭和５５年　栃の葉国体　栃木県　真岡市総合体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉	石川	長谷川進	神奈川	小島一平
		米正隆		舛田吉光		池田隆治
		二上敏博		堂谷内均		菅敏明
成年女子	東京	端洋護	滋賀	谷美津代	愛知	小松澄子
		渡辺多喜子		若村弥生		渡辺喜美
		高岸陽子		阪口典子		柳田智佳子
少年男子	滋賀	山本裕幸	栃木	大島正志	熊本	井上哲章
		竹端英夫		大堀円		伊東幸男
		松浦進二		戸村正樹		福田和幸
少年女子	熊本	高峯和子	大阪	松田全代	新潟	野上満子
		陣内貴美子		新木千織		山内美子
		森山弘美		尾崎升美		山田登美子

第３６回　昭和５６年　びわこ国体　滋賀県　大津市皇子が丘公園体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉	青森	佐藤光伸	群馬	今井勇司
		米正隆		須藤茂		秋庭克行
		林加永		村元英美		鏑木智博
成年女子	東京	湯木博恵	滋賀	谷美津代	大阪	河村茂美
		高岸陽子		西村美千代		平久美子
		月岡広美		磯野恵理子		葛西明子
少年男子	滋賀	松浦進二	山梨	松野修二	石川	羽田義仁
		片岡泰		宮健次		村松博
		辻田泰昌		宮康二		宮本照啓
少年女子	熊本	陣内貴美子	香川	山内佳子	新潟	山内美子
		高峯尚子		佃貴子		石崎咲知子
		森山弘美		永井明美		本田佳代子

第３７回　昭和５７年　くにびき国体　島根県　大東町立体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	今井勇司 群馬 鏑木智博 秋庭克行	今泉勉 富山 米沢和男 米正隆	遠藤好男 北海道 米山孝二 千葉昌弘
成年女子	河本小織 岡山 高田幹子 小寺裕美	河村茂美 大阪 平久美子 国奥美智子	山本美津子 静岡 川島直子 原田純子
少年男子	西川勉 滋賀 辻田泰昌 杉本吉男	山尾克則 石川 岡島浩一 羽田憲治	長内征美 埼玉 新井利幸 大割誠一郎
少年女子	松田太嘉子 大阪 石井香澄 鴻原春美	森山弘美 熊本 高峯尚子 青木きよみ	三沢真奈美 栃木 岡崎仁子 小貫早苗

第３８回　昭和５８年　あかぎ国体　群馬県　桐生市民体育館（総合優勝　群馬県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	今井勇司 群馬 栗原恒夫 鏑木智博	鈴木裕 新潟 山下圭一 飯塚芳英	後藤和之 静岡 飯野佳孝 井出裕雄
成年女子	河本小織 岡山 高田幹子 中原裕美	川島直子 静岡 白松千加子 原田純子	枝美代子 東京 月岡広美 高峯尚子
少年男子	川本英明 熊本 林謙一 三次英昭	佐藤浩 兵庫 松本泰典 村山喜洋	見市昌弘 奈良 小野満哲 村山友二
少年女子	鴻原春美 大阪 新木貴子 宮崎正美	上村美香 熊本 平井真由美 青木きよみ	原田真理恵 新潟 本田みどり 川野名智美

第３９回　昭和５９年　わかくさ国体　奈良県　田原本町中央体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	工士恭司 熊本 江藤正治 権藤浩二	今井勇司 群馬 栗原恒夫 鏑木智博	辻敏弘 奈良 中井基夫 吉岡伸浩
成年女子	葛西明子 大阪 星和枝 平山美恵子	伊東ひとみ 石川 小野順子 小路和代	枝美代子 東京 森山弘美 三田知佳子
少年男子	江藤裕樹 滋賀 中川健 中川康	平井保光 富山 中嶋正男 室田繁行	松元功一 埼玉 生井沢勝美 石橋隆
少年女子	新木貴子 大阪 今村薫 山田陽子	若井郁子 新潟 小池由扶子 青戸香織	徳光由美子 青森 谷地春子 西田美知子

第４０回　昭和６０年　わかとり国体　鳥取県　県立由良育英高校体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	熊本 工士恭司 権藤浩二 堺圭一	群馬 今井勇司 栗原恒夫 竹内康夫	愛知 坂本宏志 古賀勝志 坂井外喜男
成年女子	新潟 月岡広美 野上満子 山内美子	大阪 高峯和子 星和枝 平山美恵子	山形 東海林文子 佐藤栄美子 田口真由美
少年男子	埼玉 生井沢勝美 菊地修 石橋隆	石川 気谷篤人 山本明彦 中川守	熊本 浜北和彦 中村徳祐 小本義久
少年女子	熊本 田島志乃 田代美智世 松尾知美	新潟 小池由扶子 青戸香織 棒匡子	青森 横手智江美 平間由紀 乳井智秋

第４１回　昭和６１年　かいじ国体　山梨県　勝沼町民体育館（総合優勝　山梨県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	山梨 山本裕幸 松野修二 宮健次	大阪 森下一夫 谷田尚嗣 保科正浩	熊本 工士恭司 権藤浩二 堺圭一
成年女子	新潟 月岡広美 野上満子 山内美子	富山 今川真理子 大谷鶴美 田向和子	山梨 高田幹子 野口英代 清藤和
少年男子	熊本 久住猛 畑野宏幸 本山秀昭	山梨 内田高史 輿石努 岩佐延寿	富山 吉田直樹 越田芳成 城木夢高
少年女子	福岡 田村富士美 田島由美 間庭由美	熊本 松尾知美 毛利千秋 渡辺喜美子	埼玉 秋元美佐緒 太田悦子 清水由紀子

第４２回　昭和６２年　海邦国体　沖縄県　糸満市西崎総合体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	岐阜 蘭和真 木内広史 横尾宣幸	群馬 栗原恒夫 竹内康夫 片桐哲也	熊本 工士恭司 権藤浩二 堺圭一
成年女子	富山 今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	愛知 宮本美津子 大屋幸恵 松本清美	石川 彼島佳子 小路和代 水本幸代
少年男子	滋賀 鈴木草麻生 平井肇 小河原崇	熊本 本山秀昭 高村誠也 廣龍宗美	埼玉 関根英勝 石井隆 鈴木秀二
少年女子	熊本 中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	大阪 南里高子 岩田良子 水井妃佐子	新潟 棒匡子 高橋朱美 加賀ゆかり

第４３回　昭和６３年　京都国体　京都府　長岡京市西山公園体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男	群馬 鏑木智博 竹内康夫 片桐哲也
成年女子	富山 今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	大阪 今村薫 田代美智世 磯崎照枝	愛知 大屋幸恵 丑田明子 佐々恵理
少年男子	埼玉 大谷知昌 内村剛 須賀隆弘	北海道 工藤忠和 藤本謙治 村井秀樹	滋賀 平井肇 小河原崇 中橋一晃
少年女子	大阪 岩田良子 水井妃佐子 新木美志子	熊本 中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	宮城 立花久枝 矢野直子 伏見亜古

第４４回　平成元年　はまなす国体　北海道　日本工学院北海道専門体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	北海道 伊藤雅弘 山尾克則 角谷淳一	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男
成年女子	群馬 野口英代 中島真美 藤岡美智子	大阪 今村薫 奥山保子 秋元美佐緒	東京 都木弘美 毛利千秋 星野実智代
少年男子	北海道 佐藤嘉伸 郷路一郎 古川英樹	埼玉 片山卓哉 久保田雄三 関根靖則	熊本 田上厚志 本田和裕 霜上和宏
少年女子	熊本 宮村愛子 松田治子 阪本雅子	大阪 水井妃佐子 利川三貴 坂田美佐	佐賀 庄島由美子 寺尾美紀 篠原久子

第４５回　平成２年　とびうめ国体　福岡県　筑紫野市農業者ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	三重 福田実 中川健 常山兼二	大阪 辻田泰昌 奥野勉 早戸敬雄	福岡 荒木秀文 中村正巳 石井正行
成年女子	福岡 清水尚美 田村富士美 田頭美奈子	静岡 金丸陽子 横手智江美 山田美紀	大阪 今村薫 奥山保子 三ツ川貴子
少年男子	大阪 岸田明宏 上瀧賢二 片岡詔市郎	熊本 本田和裕 岡部英朗 前田尚文	埼玉 関根靖則 高橋真 増田直樹
少年女子	埼玉 井田貴子 青木由美子 浜崎忍	大阪 松田洋子 杉田暢子 大田貴子	佐賀 寺尾美紀 篠原久子 鬼塚知美

第４６回　平成３年　石川国体　石川県　美川町総合スポーツセンター（総合優勝　石川県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	中川　健 三重　常山兼二 山内一志	辻田泰昌 大阪　奥野勉 早戸敬雄	毛利達彦 石川　羽田義仁 崎田健一
成年女子	田児よし子 東京　都木弘美 立花久枝	青戸香織 神奈川　森真由美 加賀ゆかり	小泉陽子 石川　上浜陽子 中尾仁美
少年男子	太田慎二 千葉　石橋秀法 佐藤裕二	増田直樹 埼玉　高橋真 加賀谷洋	青木康 石川　竹鼻拓也 石本明男
少年女子	橋本淳子 宮城　山田裕美 貴田泉	高野八重 群馬　丹野恭子 田部井美奈	津田藍子 石川　安田香奈 丸山実支子

第４７回　平成４年　べにばな国体　山形県　新庄市体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	辻田泰昌 大阪　今井彰宏 鈴木草麻生	西山博司 山形　渡辺清一 寺島剛志	角谷淳一 北海道　工藤忠和 古川英樹
成年女子	大堀麻紀 富山　佐々木忍 野々村美春	林美希 熊本　田畑美香 上田純子	田児よし子 東京　岡山登紀子 立花久枝
少年男子	高橋幸治 群馬　横山秀之 坂入秀貴	成島瑞穂 茨城　樋渡順也 矢部正博	片岡直茂 熊本　花田政文 野田亮介
少年女子	大田貴子 大阪　水井泰子 川口桐香	小室恭子 埼玉　伊藤さおり 浅井康代	宮村亜貴子 熊本　村上直美 伊藤真由美

第４８回　平成５年　東四国国体　香川県　坂出市立体育館（総合優勝　大阪府）

種別＼順位	1位	2位	3位
成年男子	高橋英治 東京　峯岸康史 須賀隆弘	谷田尚嗣 大阪　植村昭彦 常山兼二	中川健 三重　磯部昌弘 吉田義利
成年女子	西田美由紀 大阪　村上直美 大田貴子	林美希 熊本　田畑美香 上田純子	中尾仁美 香川　川本光佐子 磯崎照枝
少年男子	樋渡順也 茨城　矢部正博 大橋雅道	田中肇一 千葉　池田哲徳 小倉伸彦	井野嘉久 北海道　一宮孝一 馬木智一
少年女子	水井泰子 大阪　川口桐香 鬼池めぐみ	増茂孝枝 北海道　中山智香子 田村裕美	山田潤子 富山　進藤範子 山田青子

第４９回　平成６年　わかしゃち国体　愛知県　大府市民体育館（総合優勝　大阪府）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	東京	須賀隆弘 片山卓哉 久保田雄三	大阪	辻田泰昌 今井彰宏 植村昭彦	富山	気谷篤人 岩渕公一 本山秀昭
成年女子	東京	松尾知美 道上彰子 阪本雅子	富山	佐々木忍 渡辺真由美 高野八重	新潟	竹野景子 遠藤みゆき 亀田幸恵
少年男子	滋賀	酒井将之 諏訪良人 松本徹	北海道	一宮孝一 馬木智一 今西隆浩	石川	津田光一郎 奥森正志 舛田圭太
少年女子	大阪	福島由佳 鬼池めぐみ 市橋美紀	福岡	長谷部裕子 吉富明子 吉武由加里	群馬	中麻依子 岡田真紀 亀山貴代

第５０回　平成７年　ふくしま国体　福島県　白河市中央体育館（総合優勝　福島県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	福島	柳谷辰哉 大堀均 平野泰宏	富山	気谷篤人 本山秀昭 本田和裕	大阪	常山兼二 渡辺哲義 岸田明宏
成年女子	福島	棒匡子 大堀麻紀 寺尾美紀	大阪	中山智香子 増茂孝枝 田中美保	富山	佐々木忍 松田治子 高野八重
少年男子	滋賀	松本徹 向裕樹 川口馨士	福島	渡部訓生 沈逸文 竹俣洋平	石川	徳坂渉 栄代正男 舛田圭太
少年女子	石川	中島珠美 片糸由希子 堀哲子	富山	山田青子 石橋陽子 加藤真知子	福岡	吉富明子 大石瞳 稗田華子

第５１回　平成８年　ひろしま国体　広島県　三原リージョンプラザ（総合優勝　熊本県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今井彰宏 谷内貴昭 本田和裕	熊本	霜上和宏 花田政文 福田茂	北海道	村井秀樹 佐藤嘉伸 水澤直哉
成年女子	富山	河口奈緒美 明石由美 市橋理恵	新潟	竹野景子 斎藤かおり 住矢直美	広島	福井奈美 吉川愛 渡辺夕子
少年男子	石川	舛田圭太 車浩明 酒井忠相	埼玉	小吹公彦 中西洋介 長嶺宙	熊本	大東忠司 木下伸介 二瓶良
少年女子	埼玉	井川里美 岩脇史 李荔	熊本	杉浦美幸 永峰弘子 橋本純子	大阪	吉岡知香 鄭有琁 安城美華

第５２回　　平成９年　　なみはや国体　大阪府　　大東市立体育館（総合優勝　大阪府）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	東京	兒嶋　昇 町田文彦 須賀隆弘 久保田雄三	大阪	松井峰生 常山兼二 植村昭彦 岸田明宏	福岡	森　裁美 清水文武 棟居秀行 五十嵐一智
成年女子	大阪	宮崎克巳 井田貴子 中山智香子 増茂孝枝	奈良	谷口章 水井妃佐子 水井泰子 渡辺未奈子	富山	河合昭博 高野八重 河口奈緒美 市橋美紀
少年男子	大阪	和田泰寛一 仲尾修一也 永谷和也 福川和也	熊本	権藤浩二 瓶良 大束真也 中村寿史	石川	彼島重範 車浩明 酒井忠相 茶谷徳靖
少年女子	福岡	樽野智子 森かおり 中内景子 三好奈緒	石川	和田修 田井美幸 舛田恵 田村恵理	大阪	西上正一 福永麻美 安城美華 速水永子

第５３回　平成１０年　かながわ・ゆめ国体　神奈川県　大和市ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ体育会館（総合優勝　大阪府）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 鈴木草麻生 今井紀夫 大山宏司	東京	兒嶋　昇 町田文彦 須賀隆弘 渡辺清一	大阪	松井峰生 岸田明宏 松井　充 川口馨士
成年女子	奈良	谷口章子 水井泰子 松田治子 市橋理恵	茨城	磯部和弘 米倉加奈子 大坂千尋 岩松絵理子	富山	河合昭博 高野八重 河口奈緒美 明石由美
少年男子	熊本	権藤浩二也 大束真也 中村寿史 茂見祥平	埼玉	関根務 橋村竜彦 平山政史 川崎和宗	石川	彼島重範 酒井忠相 茶谷徳靖 山下淳
少年女子	福岡	樽野智子 中内景子 藤本乃恵 松尾美穂子	大分	吉田信之 末綱聡子 赤尾美代 赤尾亜希	埼玉	加藤勝 大熊倫子 山口絵美 謝婷婷

第５４回　　平成１１年　　くまもと未来国体　　熊本県　　八代市総合体育館（総合優勝　熊本県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	石黒之武久 霜上和宏 花田政文 大束忠司	富山	今泉　勉 今井紀夫 大山宏司 吉川大助	神奈川	石場隆雄 舛田圭太 清水隆志 古川裕輔
成年女子	大阪	宮崎克巳 鬼池めぐみ 森かおり 関本祥子	茨城	大塚三佳 米倉加奈子 中島暁子 大坂千尋	富山	河合昭博 山本静香 山田潤子 山田青子
少年男子	東京	渋谷実 安村康介治 佐藤翔 佐々木翔	熊本	権藤浩二 茂見祥平 池田礼緒奈 土田真義	香川	岡野佳浩 二宮和敬 前田丈博 木場喬
少年女子	福岡	明神憲一 松尾美穂子 藤本乃恵 脇坂郁	熊本	伊東幸雄 田上千晴 松本舞子 野口理加	埼玉	中島正敏 陳暁娜 大下詩織 広岡まり香

第５５回　平成１２年　２０００年とやま国体　富山県　高岡市民体育館（総合優勝　富山県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 今井紀夫 谷内貴昭 大山宏司	熊本	村中陽介 花田政文 田上良治 古井博高	神奈川	石場隆雄 舛田圭太 清水隆志 古川裕輔
成年女子	茨城	下鳥洋樹 米倉加奈子 長縄美佳子 岩松絵理子	大阪	喜多努 関本祥子 田上晴予 西千宏	富山	河合昭博 山本静香子 山田潤子 山田青子
少年男子	東京	渋谷実 佐藤翔治 佐々木翔一 池田雄一	富山	山形英明 川口佳介 米隆夫 劉志遠	北海道	井口一司 早坂幸平 石田圭大 竹村純
少年女子	青森	髙屋仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 楊藹琳	富山	麦谷正二 田村美幸 今井幸代 劉晶	長崎	春野良三 松田友美 西山真鯉子 宇津早也香

第５６回　平成１３年　新世界・みやぎ国体　宮城県　塩竈市体育館（総合優勝　富山県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 吉川大助 舛田圭太 大東忠司	熊本	村中陽介 古井博高 花田政文 田上良治	埼玉	中條彪 中村憲尚 福井剛士 加賀谷洋
成年女子	千葉	中村新一 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	茨城	小島浦一夫 松木津裕子 正梅知真澄 梅津知恵	富山	河合昭博 山田潤子 村美幸 佐伯知佳
少年男子	東京	渋谷実 山浦尚仁 池田雄一 新開慎士	埼玉	大屋藤貴司 斉藤元伸 堤上敦史 井上知也	青森	戸祭潤 岩脇峰生 長原克博 鈕佳平
少年女子	青森	髙屋仁 楊藹琳 廣瀬栄理子 今別府靖代	富山	中田庄二 佐伯美沙都 劉晶 今井幸代	大分	吉田信之 服部麻衣 倉満一美 橋本麻衣子

第５７回　平成１４年　よさこい高知国体　高知県　南国市立ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ（総合優勝　東京都）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 今井紀夫 舛田圭太 大東忠司	北海道	古川英樹 水澤直哉 三上裕司 長原正博	大阪	渡辺哲義 川口馨士 一宮孝一 谷内貴昭
成年女子	千葉	中村新一 山本静香 松田友美 赤尾亜希	宮城	山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸子	東京	落合久夫 岩田良子 米倉加奈子 田井美幸
少年男子	東京	渋谷実 池田雄一 新開慎士 高木洋平	埼玉	大屋貴司 井上知也 秋山駿祐巳 新井克	滋賀	藤上良信 山口公洋太 数野健一 早川賢
少年女子	青森	髙屋仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 小柳知子	岐阜	尾藤伸治 脇田侑 後藤舞佳 林裕	宮城	常田貴裕 田嶋朝美 平山優 松村咲希

第５８回　　平成１５年　　ＮＥＷ!!わかふじ国体　静岡県　富士宮市民体育館（総合優勝　東京都）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	東京	兒嶋　昇 久保田雄三 片山卓哉 清水　裕	岡山	藤原道弘 松川大記 尾崎勝久 佐伯浩一	宮城	原田利雄 草井　篤 山下洋平 鈴木知道
成年女子	千葉	中村新一 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	宮城	山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸子	熊本	今井彰宏 末綱聡子 中内景子 今井幸代
少年男子	滋賀	藤上良信 数野健太 早川賢一平 早崎修平	東京	小林重徳 高木洋平 堀川善生 林　森	埼玉	大屋貴司 中尾祐介 黒田俊明 宗形俊克
少年女子	宮城	常田貴裕 平山　優 松村咲希 麻植まさよ	青森	髙屋　仁 小柳知子紀 藤澤美佑 今別府香里	熊本	工藤勇参 吉村征美 前田美順 岡　ひとみ

第５９回　　平成１６年　　彩の国まごころ国体　　埼玉県　久喜市総合体育館（総合優勝　埼玉県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 舛田圭太 大東忠司 大東真也	埼玉	中條　彪 山田英孝 福井剛士 中西洋介	北海道	小倉隆司 松本　章 竹村　純 長原正博
成年女子	熊本	今井彰宏子 末綱聡子美 幡谷好美順 前田美順	宮城	山並正人子 小川尚子 長縄美佳子 平山　優	東京	岩田良子 田井美幸 媚山映里 今別府靖代
少年男子	東京	渋谷実生 藤田真生 堀川善生 高階知也	埼玉	帰山好和 遠藤大由 山田和司 小松谷輝	滋賀	藤上良信 早川賢一 早崎修平 川下剛士
少年女子	青森	髙屋　仁 今別府香里 本間ちさと 藤井瑞希	埼玉	名倉康弘 高橋沙織 井上春奈 李　舒静	宮城	常田貴裕 松村咲希 麻植まさよ 大阪あや

第６０回　　平成１７年　　晴れの国おかやま国体　　岡山県　岡山市総合文化体育館（総合優勝　埼玉県）

順位 / 種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	荒木　純 舛田圭太 大東忠司 大東真也	埼玉	中條　彪 山田英孝 福井剛士 中西洋介	東京	町田文彦 松本　徹 川口馨士 清水　裕
成年女子	岐阜	尾藤伸治 後藤　愛侑 脇田吉村征美	熊本	今井彰宏子 末綱聡子代 今井幸代 前田美順	大阪	谷内貴昭 脇坂　郁 多谷郁恵 今別府香里
少年男子	埼玉	大屋貴司司 林　純智希 三橋拓馬 上田拓馬	岡山	西崎文貴行 佐伯祐達也 三宅元優樹 米元優樹	滋賀	藤上良信 早崎修平太 田中昭太 川下剛士
少年女子	青森	髙屋　仁 本間ちさと希 藤井瑞希佳 垣岩令佳	埼玉	田部井秀郎 井上春奈子 富永翔美 作山智美	石川	車　浩明 浜中麻亜子 樽野　恵 南出なつき

第６１回　　平成１８年　　のじぎく兵庫国体　　兵庫県　　宝塚市立総合体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1　位	2　位	3　位
成年男子	富　山 今泉　勉 舛田　圭太 大東　忠司 劉　志遠	埼　玉 中條　彪 仲尾　修一 井上　知也 山田　和司	秋　田 鈴木　理之 佐々木　翔 西浦　和広 鈕　佳平
成年女子	埼　玉 小室　恭子 岩脇　史子 大熊　倫子 広岡　まり香	熊　本 今井　彰宏 幡谷　好美 今井　幸代 岡　ひとみ	岐　阜 尾藤　由浩 後藤　愛 脇田　侑 吉村　征美
少年男子	埼　玉 大屋　貴司 上田　拓馬 田児　賢一 佐々木　啓	福　井 木戸口　元 松川　直弘 笹木　里司 川村　勝平	熊　本 権藤　浩二 武山　修三 嘉村　健士 園田　啓悟
少年女子	石　川 車　浩明 樽野　恵菜 木村　唯 南出　さき	青　森 藤田　真人 藤井　瑞希 佐々木　理恵 垣岩　令佳	埼　玉 田部井　秀郎 大森　舞 三木　佑里子 中森　理紗

第６２回　　平成１９年　　秋田わか杉国体　　秋田県　　美郷総合体育館（総合優勝　秋田県）

種別＼順位	1　位	2　位	3　位
成年男子	秋　田 鈴木　理之 佐々木　翔 菅野　俊助 鈕　佳平	富　山 今泉　勉 平田　典靖 劉　志遠 菊田　健一	滋　賀 酒井　良之 数野　健太 早川　賢一 早崎　修平
成年女子	石　川 和田　修幸 田井　美知恵 梅津　恵 樽野　恵	秋　田 鈴木　康修 三好　奈緒 金上　路子 下﨑　彩	神奈川 鶴見　和彦 坂田　雅美 伊東　可奈 内藤　真実
少年男子	埼　玉 大屋　貴司 松丸　一輝 田児　賢一 和田　周	熊　本 権藤　浩二 嘉村　健士 園田　啓悟 今給黎　将之	福　井 木戸口　元 松浦　正輝 千京　尚将 坂井　哲也
少年女子	青　森 藤田　真人 垣岩　令佳 内井　快枝 橋本　由衣	石　川 車　浩明 桜井　みどり 村上　彩 三谷　美菜津	福　岡 明神　憲一 栗原　文音 植田　悠 古賀　さやみ

第６３回　　平成２０年　　チャレンジ！おおいた国体　　大分県　　日田市総合体育館
（総合優勝　東京都・熊本県・富山県・青森県）

種別＼順位	1　位	2　位	3　位
成年男子	富　山 荒木　純 平田　典靖 劉　志遠 古財　和輝	東　京 笹林　義春 早坂　幸平 廣部　好輝 岩脇　峰生	埼　玉 中西　洋介 井上　知也 上田　拓馬 松丸　一輝
成年女子	熊　本 今井　彰宏 幡谷　好美 藤井　瑞希 垣岩　令佳	秋　田 原田　利雄 三好　奈緒 金上　路子 楠瀬　由佳	東　京 栂野尾　昌一 今別府　靖代 伊東　可奈 野尻野　匡世
少年男子	福　岡 北島　義浩 末松　純二 北野　拓 原田　和憲	滋　賀 藤上　良信 矢部　拓也 村上　俊 宇野　賢人	青　森 戸祭　潤 北島　翼 吉田　尚弘 櫻庭　弘貴
少年女子	宮　城 田所　光男 高橋　礼華 佐藤　冴香 松友　美佐紀	青　森 藤田　真人 橋本　由衣 米元　小春 佐藤　楓	大　阪 谷田　尚嗣 西　友理 久後　あすみ 福万　尚子

第６４回　平成２１年　トキめき新潟国体　新潟県　五泉市総合会館（総合優勝　東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	笹林義春 廣部好輝 岩脇峰生 山田和司	熊本	村中陽介 武山修三 園田啓悟 嘉村健士	宮城	草井篤 菊田健一 佐藤黎 木戸道治
成年女子	岐阜	山田青子 後藤愛侑 脇田恵 江藤理恵	秋田	原田利雄 金上路子 三好奈緒 楠瀬由佳	大阪	谷内貴昭 森かおり 今別府香里 関谷真由
少年男子	埼玉	大屋貴司 星野翔平 小林晃 長谷川達也	熊本	権藤浩二 嘉村昌俊 坂中賢太 平山涼介	東京	小林重徳 間瀬俊介 高岡透平 鄭圭介
少年女子	青森	藤田真人 佐藤楓 田中志穂 市丸美里	石川	車浩明 三谷美菜津 平野華梨 三納英莉佳	富山	麦谷正二 古西佳那子 髙橋沙也加 中尾佳淑

第６５回　平成２２年　ゆめ半島千葉国体　千葉県　野田市関宿総合公園体育館、野田市総合公園体育館（総合優勝　埼玉県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	千葉	野村和弘 佐藤翔治 山口公洋 川内崇士	東京	坂本修一 廣部好輝 池田雄一行 佐伯祐行	富山	荒木純 古財和輝 橋本博且 黒瀬尊敏
成年女子	岐阜	山田青子 後藤愛侑 脇田恵 江藤理恵	石川	和田修 田井美幸 樽野恵 伊東可奈	兵庫	酒井将之 木村早紀 小椋しのぶ 大迫晴加
少年男子	埼玉	大屋貴司 和田治久気 竹内宏憲 竹内義憲	福島	大堀均 桃田賢斗 松居圭一郎 小森洋佑	大阪	有田圭一 相和勇輝 小高拓也 佐野拓磨
少年女子	埼玉	大高史夫 中村梨沙 小橋霞 奥原希望	愛知	下込貞司 峰歩美 與猶くるみ 城口優里花	富山	麦谷正二 高橋沙也加 古西佳那子 中尾佳淑

第６６回　平成２３年　おいでませ！山口国体　山口県　光市総合体育館（総合優勝　埼玉県・東京都）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	東京	坂本修一 池田雄一 藤田真生 垰畑亮太	富山	荒木純 古財和樹 黒瀬尊敏 銭谷翔	山口	大東真也 山平直樹 松尾光平 米本優樹
成年女子	石川	毛利達彦 三谷美菜津 伊東可奈 桜井みどり	岐阜	尾藤伸治 脇田侑 梅津知恵 江藤理恵	秋田	原田利雄 楠瀬由佳 馬上愛実 下﨑彩
少年男子	福島	大堀均 齋藤太一 桃田賢斗 松居圭一郎	埼玉	大屋貴司 古賀輝 井上拓斗 金子祐樹	東京	小林重徳 関口直挙 森田努 吉川英太郎
少年女子	青森	藤田真人 福島由紀 篠谷菜留 窓場由加奈	埼玉	大高史夫 小橋霞 奥原希望 渡邉あかね	石川	車浩明 芝野真由 木村百花 星千智

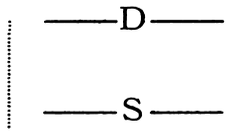
第６７回　　平成２４年　　ぎふ清流国体　　岐阜県　　池田町総合体育館（総合優勝　　）

順位 / 種別	1　位	2　位	3　位
成年男子			
成年女子			
少年男子			
少年女子			



競　技　記　録

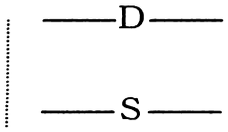
種　　別＿＿＿＿＿＿
試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）



（　　）

・・・・・・・・・・（　　）		（　　）・・・・・・・・・・
（　　）		（　　）
（　　）		（　　）

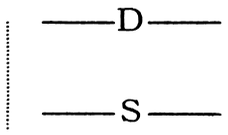
種　　別＿＿＿＿＿＿
試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）



（　　）

・・・・・・・・・・（　　）		（　　）・・・・・・・・・・
（　　）		（　　）
（　　）		（　　）

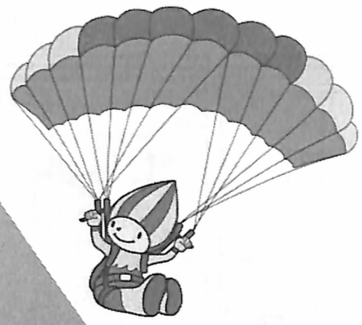
種　　別＿＿＿＿＿＿
試合番号＿＿＿＿＿＿（　　）



（　　）

・・・・・・・・・・（　　）		（　　）・・・・・・・・・・
（　　）		（　　）
（　　）		（　　）

競技会場・練習会場等案内図



至 揖斐川町
脛永橋
池田
公園
第7練習会場
養基小学校体育館
揖斐駅
脛永溝口
揖斐川
至 大野町
三町大橋
第6練習会場
宮地小学校体育館
小牛
FamilyMart
美濃本郷駅
ゲンキー
バロー
本郷
第9練習会場
サンビレッジ国際
医療福祉専門学校
第4練習会場
池田小学校体育館
第2練習会場
池田中学校体育館
温知小学校東
北池野駅
第3練習会場
温知小学校体育館
池野東町
池野駅
第1練習会場
池田高校体育館
杭瀬川
国道417 ROUTE
至 大垣駅
至 岐阜市
競技会場
池田町総合体育館
池田山
八幡郵便局前
ふれあい街道
県道53 岐阜関ヶ原線
岐阜関ヶ原線
第8練習会場
多目的ホール
温知小学校東
下八幡広海橋
池田町役場
イオンビッグ
審判・監督会議・開始式
池田町中央公民館
池田温泉
道の駅
片山北
第5練習会場
八幡小学校体育館
至 垂井町
至 大垣市

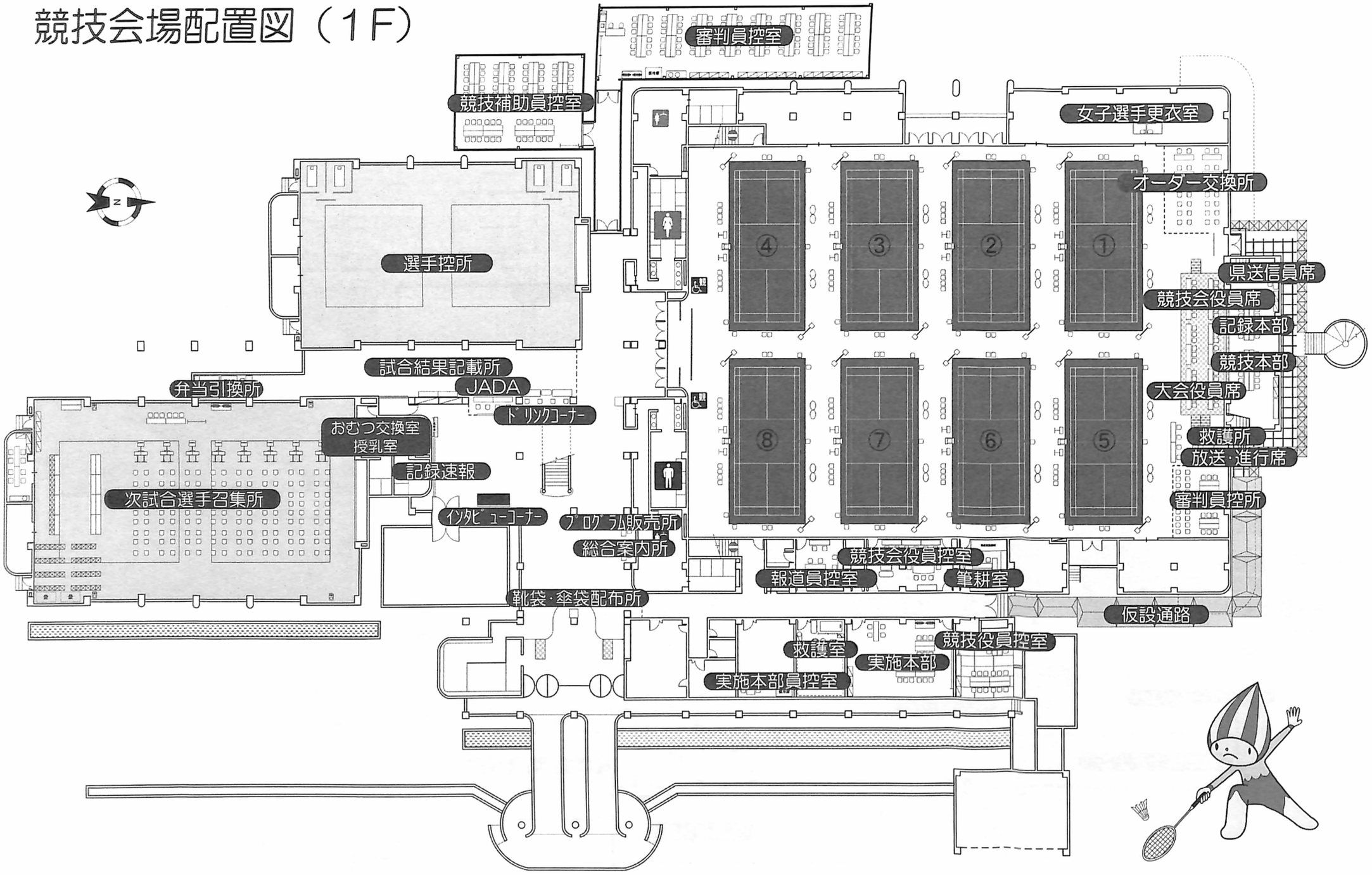
交通案内

☆養老鉄道 北池野駅
　シャトルバス ・・・ 10分
☆周辺駐車場 池田中学校
　シャトルバス ・・・ 5分
☆関ヶ原I.C ・・・ 30分
☆大垣I.C ・・・ 30分
☆大垣西I.C ・・・ 20分

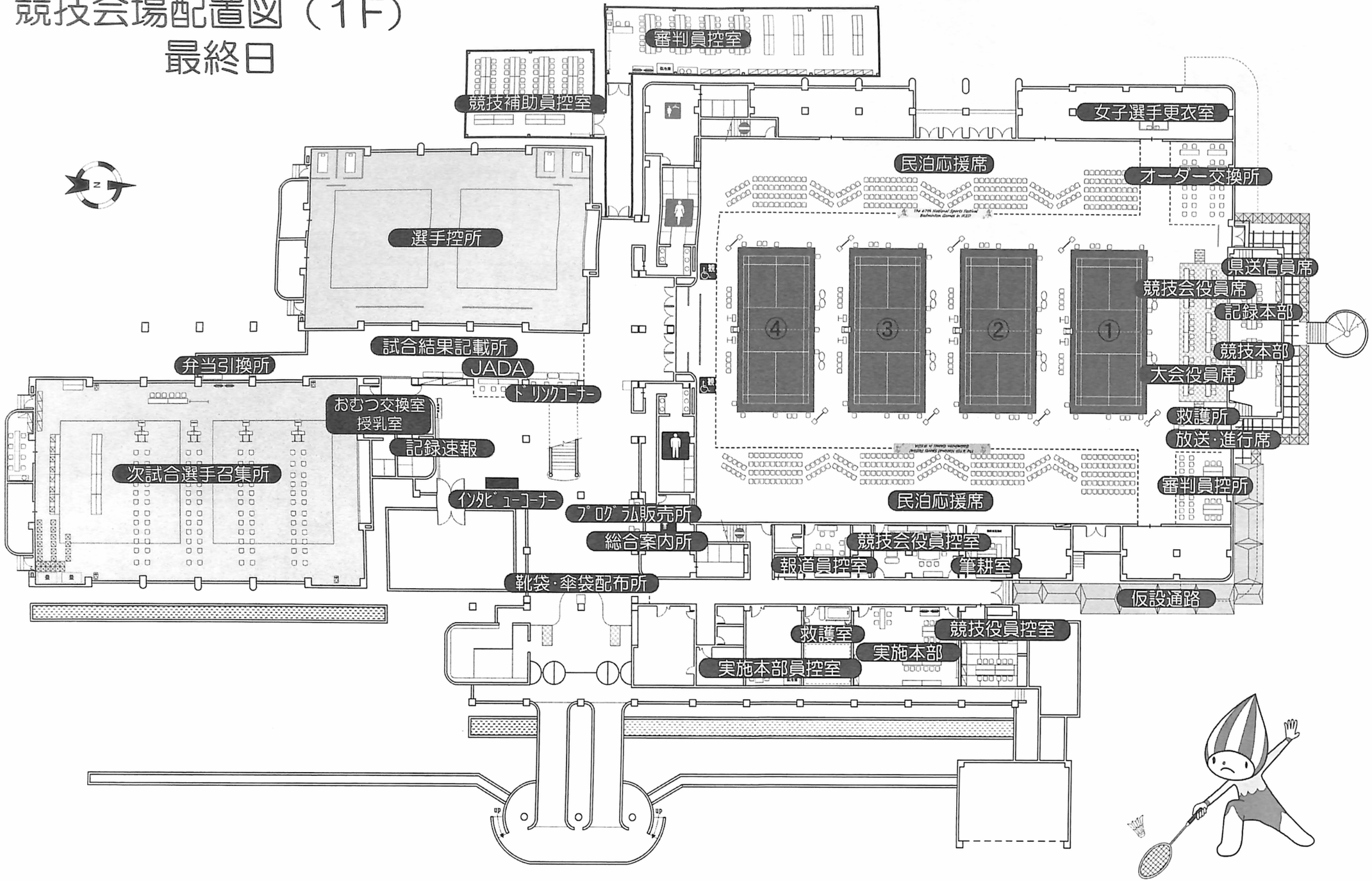
競技会場
周辺配置図



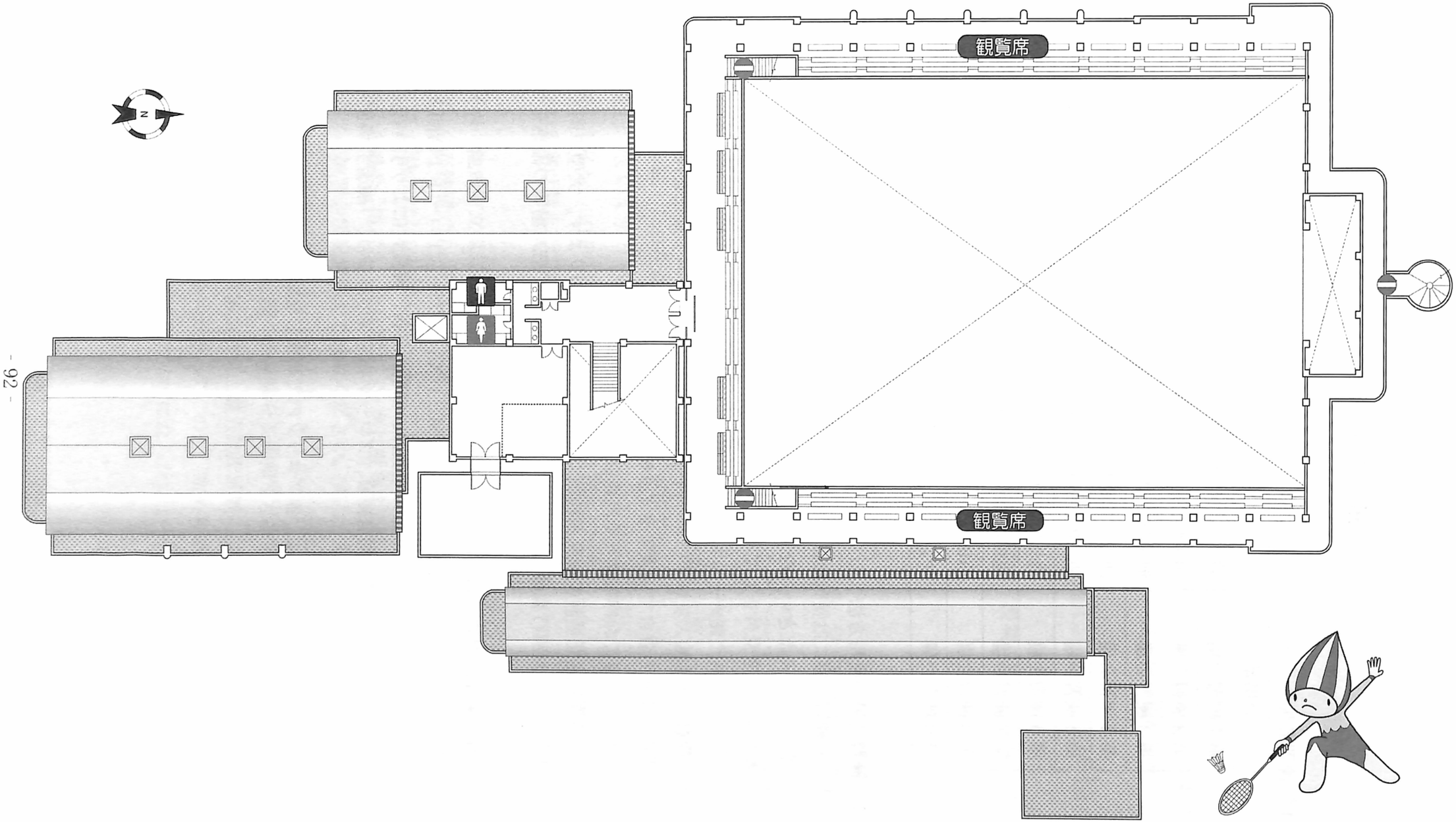
競技会場配置図（1F）


審判員控室
競技補助員控室
女子選手更衣室
オーダー交換所
選手控所
県送信員席
競技会役員席
記録本部
競技本部
大会役員席
救護所
放送・進行席
審判員控所
試合結果記載所
JADA
弁当引換所
ドリンクコーナー
おむつ交換室
授乳室
記録速報
次試合選手召集所
インタビューコーナー
プログラム販売所
総合案内所
競技会役員控室
報道員控室
筆耕室
靴袋・傘袋配布所
仮設通路
競技役員控室
救護室
実施本部
実施本部員控室
④
③
②
①
⑧
⑦
⑥
⑤

競技会場配置図（1F）
最終日



競技会場配置図（2F）



練習会場の使用について

1　練習会場

会場番号	練習会場名	コート数
第１練習会場	岐阜県立池田高等学校体育館	６コート
第２練習会場	池田町立池田中学校体育館	６コート
第３練習会場	池田町立温知小学校体育館	４コート
第４練習会場	池田町立池田小学校体育館	４コート
第５練習会場	池田町立八幡小学校体育館	４コート
第６練習会場	池田町立宮地小学校体育館	２コート
第７練習会場	池田町立養基小学校体育館	４コート
第８練習会場	池田町中央公民館多目的ホール	４コート
第９練習会場	サンビレッジ国際医療福祉専門学校	１コート

2　練習会場の使用方法

① 各練習会場には受付を設けております。受付で使用申込をしてから、係員の指示に従い、練習を行ってください。なお、**電話等による練習会場使用の事前予約はできません**。必ず、練習会場に行き受付をしてください。

② 各都道府県代表チームであることが判別できる服装でご来場ください。

③ 貴重品ほか個人及びチームの所有物は、各自及びチームで責任を持って保管してください。また、下足も各自で保管するようにお願いします。

④ ゴミは各自でお持ち帰りください。

⑤ **バス等の大型車両の乗り入れができない**練習会場があります。大型車両で移動される場合、事前に池田町実行委員会にお問い合わせの上、最寄りの駐車場等の確認をしてください。

3　練習会場開設期間における各日の使用について

① 割り当て練習を除き、練習時間は原則として、１チーム１コート１時間とします。ただし、空きコート待ちのチームがない場合は、練習終了後、再受付により引き続き使用できます。

② 練習会場の開設日時、割当練習、ブロック指定等の詳細は、「練習会場使用日程表」でご確認ください。

③ ブロック指定の練習では、各ブロック内で調整しながら練習してください。

4　各練習会場の使用上の注意点について

（1）　第１練習会場（岐阜県立池田高等学校体育館）の使用について

①　学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は、敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないでください。

②　学校敷地内へのタクシー及び乗用車の乗り入れについては、10月2日(火)～10月5日(金)は多数の生徒がいるので、十分気をつけてください。車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは練習会場配置図でご確認ください。

③　体育館以外の建物への出入りは禁止です。あらかじめ概要図を確認し、進入禁止区域には絶対に進入しないでください。

④　10月2日(火)～10月5日(金)は、通常授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑤　体育館内での食事は禁止です。

（2）　第２練習会場（池田町立池田中学校体育館）の使用について

①　学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は、敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないでください。

②　車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは練習会場配置図でご確認ください。

③　体育館以外の建物への出入りは禁止です。進入禁止区域には絶対に進入しないでください。

④　平日、学校（通学路）には生徒が大勢いますので、車の移動には十分気をつけてください。また、授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑤　体育館１階のトイレ、２階の更衣室以外の部屋は使用禁止です。

⑥　体育館内での食事は禁止です。

（3）　第３練習会場（池田町立温知（おんち）小学校体育館）の使用について

①　学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は、敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないでください。

②　車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは練習会場配置図でご確認ください。また、第３練習会場には、<u>マイクロバスや大型バス車両の進入が禁止</u>されています。マイクロバスや大型バスでの移動となる場合は温知小学校西　ゆうごう・ほっと館の駐車場をご利用ください。

③　体育館以外の建物への出入りは禁止です。進入禁止区域には絶対に進入しないでください。

④　平日、学校（通学路）には児童が大勢いますので、車の移動には十分気をつけてください。また、授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑤　体育館内での食事は禁止です。

（４）　第４練習会場（池田町立池田小学校体育館）の使用について

①　学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は、敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないでください。

②　車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは練習会場配置図でご確認ください。また、第４練習会場には、**マイクロバスや大型バス車両の進入が禁止**されています。マイクロバスや大型バスでの移動となる場合は池田小学校西側の道路側面の駐車場をご利用ください。

③　体育館以外の建物への出入りは禁止です。進入禁止区域には絶対に進入しないでください。

④　平日、学校（通学路）には児童が大勢いますので、車の移動には十分気をつけてください。また、授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑤　体育館内での食事は禁止です。

（５）　第５練習会場（池田町立八幡（やわた）小学校体育館）の使用について

①　学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は、敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないでください。

②　車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは練習会場配置図でご確認ください。また、第５練習会場には、**マイクロバスや大型バス車両の進入が禁止**されています。マイクロバスや大型バスでの移動となる場合は八幡小学校東南のＪＡいび川八幡支店の駐車場をご利用ください。

③　体育館以外の建物への出入りは禁止です。進入禁止区域には絶対に進入しないでください。

④　平日、学校（通学路）には児童が大勢いますので、車の移動には十分気をつけてください。また、授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑤　体育館内での食事は禁止です。

（６）　第６練習会場（池田町立宮地（みやじ）小学校体育館）の使用について

①　学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は、敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないでください。

②　車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは練習会場配置図でご確認ください。

③　体育館以外の建物への出入りは禁止です。進入禁止区域には絶対に進入しないでください。

④　平日、学校（通学路）には児童が大勢いますので、車の移動には十分気をつけてください。また、授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑤　体育館内での食事は禁止です。

（７） 第７練習会場（養基組合立養基小学校体育館）の使用について

① 学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は、敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないでください。

② 車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは練習会場配置図でご確認ください。また、第７練習会場には、**マイクロバスや大型バス車両の進入が禁止**されています。マイクロバスや大型バスでの移動となる場合は養基小学校プール南の駐車場をご利用ください。

③ 体育館以外の建物への出入りは禁止です。進入禁止区域には絶対に進入しないでください。

④ 平日、学校（通学路）には児童が大勢いますので、車の移動には十分気をつけてください。また、授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

⑤ 体育館内での食事は禁止です。

（８） 第８練習会場（池田町中央公民館多目的ホール）の使用について

① 多目的ホール内は全面禁煙です。喫煙は、ホール外でお願いします。なお、ホール外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないでください。

② 車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは練習会場配置図でご確認ください。

③ 多目的ホール内での食事は禁止です。

（９） 第９練習会場（サンビレッジ国際医療福祉専門学校）の使用について

① 学校敷地内は全面禁煙です。喫煙は、敷地外でお願いします。なお、学校敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨てはしないでください。

② 車両で移動する場合、指定された駐車スペースに駐車するようにしてください。進入経路及び駐車スペースは練習会場配置図でご確認ください。また、第９練習会場には、**マイクロバスや大型バス車両の進入が禁止**されています。

③ 体育館以外の建物への出入りは禁止です。進入禁止区域には絶対に進入しないでください。

④ 平日、学校には学生が多数いますので、車の移動には十分気をつけてください。また、授業を行っていますので、授業の妨げにならないようにご協力ください。

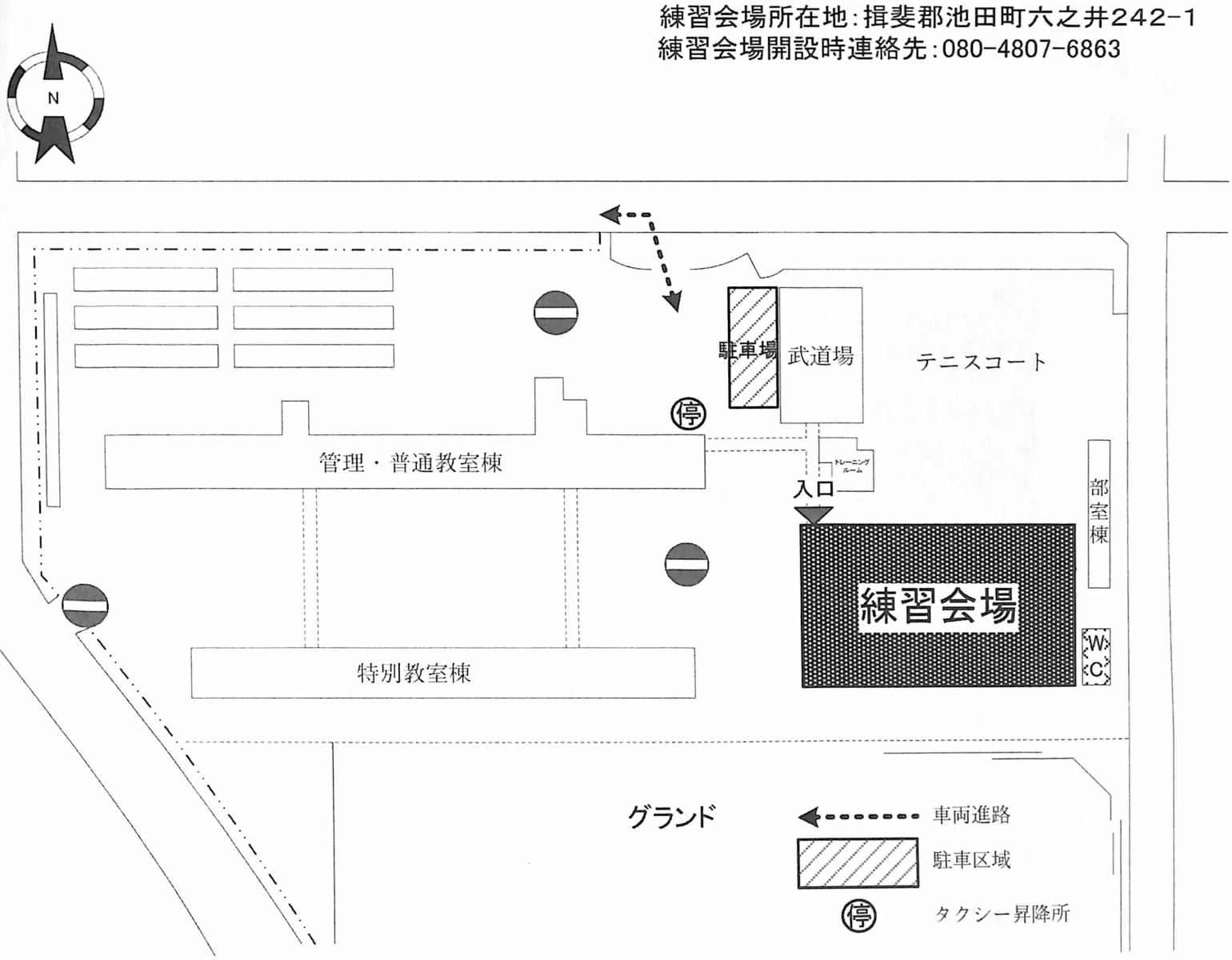
⑤ 体育館内での食事は禁止です。

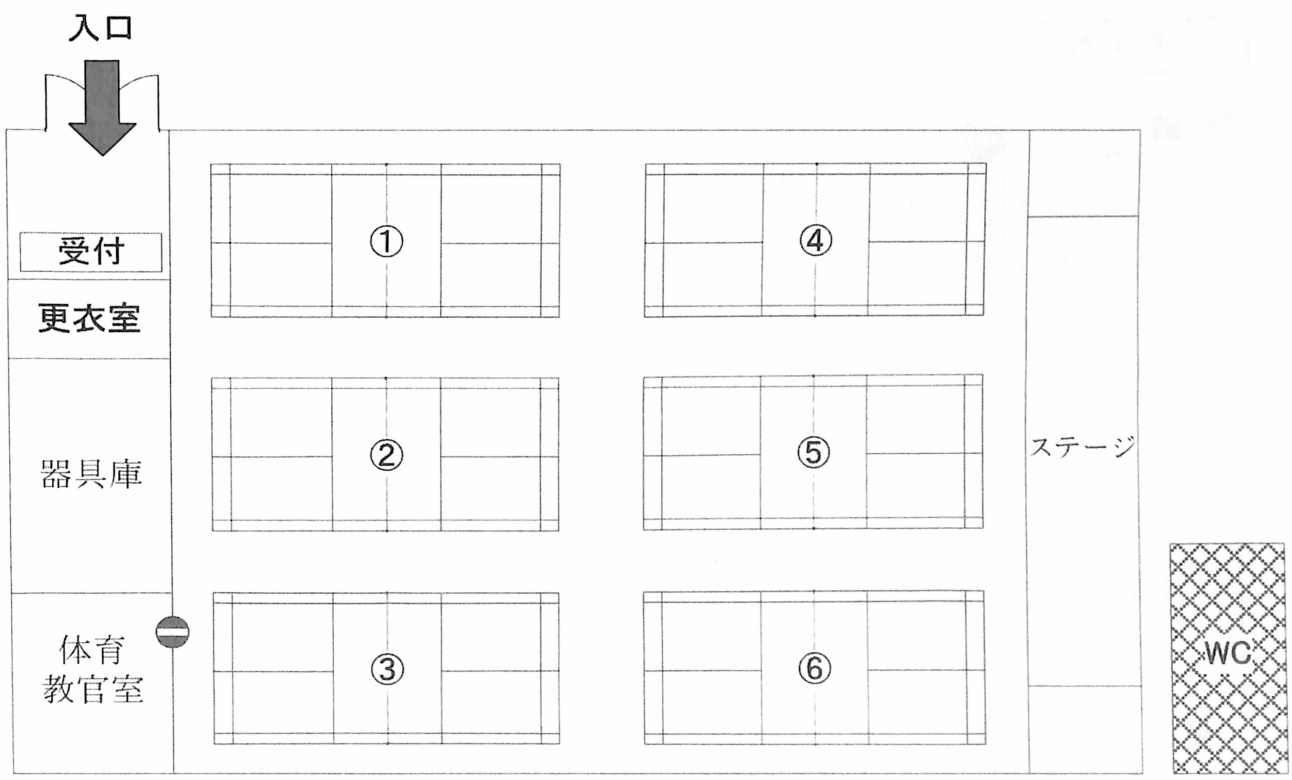
練習会場使用日程表

月日		第１練習会場 池田高等学校体育館						第２練習会場 池田中学校体育館						第３練習会場 温知小学校体育館				第８練習会場 多目的ホール			第５練習会場 八幡小学校体育館				第４練習会場 池田小学校体育館				第９練習会場 サンビレッジ 国際医療福祉 専門学校体育館	第６練習会場 宮地小学校体育館		第７練習会場 養基小学校体育館				
		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4		1	2	1	2	3	4	
１０月２日 （火）	13:00～16:00	自由練習						自由練習						閉館（会場設営）				閉館（会場設営）			閉館（会場設営）				閉館（会場設営）				閉館（会場設営）	閉館（会場設営）		閉館（会場設営）				9:00～16:00
１０月３日 （水）	9:00～17:00	広島県・徳島県・福井県・奈良県・福岡県・岐阜県・京都府						岩手県・佐賀県・大分県・静岡県・三重県・山形県・茨城県・富山県・山口県・福島県						兵庫県・香川県・青森県・愛媛県・北海道・高知県・長野県・滋賀県							東京都・愛知県・宮城県・埼玉県・大阪府				岡山県・神奈川県・熊本県・千葉県・鹿児島県・新潟県・宮崎県					長崎県・秋田県・和歌山県・沖縄県・山梨県・石川県・鳥取県・島根県・栃木県・群馬県						9:00～17:00
１０月４日 （木）	9:00～15:00	広島県・徳島県・福井県・奈良県・福岡県・岐阜県・京都府						岩手県・佐賀県・大分県・静岡県・三重県・山形県・茨城県・富山県・山口県・福島県						兵庫県・香川県・青森県・愛媛県・北海道・高知県・長野県・滋賀県							東京都・愛知県・宮城県・埼玉県・大阪府				岡山県・神奈川県・熊本県・千葉県・鹿児島県・新潟県・宮崎県					長崎県・秋田県・和歌山県・沖縄県・山梨県・石川県・鳥取県・島根県・栃木県・群馬県						9:00～15:00
１０月５日 （金）	7:00～ 8:30	G1	G1	G2	G2	G3	G3	G4	G4	G5	G5	G6	G6	G7	G7			東北 近畿 中国 ブロック（40） 使用時間 7:00～17:00			北海道 関東 四国 ブロック（30） 使用時間 7:00～17:00				北信越 東海 九州 ブロック（41） 使用時間 7:00～17:00											7:00～17:00
	8:30～10:00	G8	G8	G9	G9	G10	G10	G11	G11	G12	G12	G13	G13	G14	G14	G15	G15																			
	10:00～11:30	M1	M1	M2	M2	M3	M3	M4	M4	M5	M5	M6	M6	M7	M7	M8	M8																			
	11:30～13:00	M9	M9	M10	M10	M11	M11	M12	M12	M13	M13	M14	M14	M15	M15	M16	M16																			
	13:00～14:30	G16	G16	G17	G17	G18	G18	G19	G19	G20	G20	G21	G21	G22	G22	G23	G23																			
	14:30～16:00	G24	G24	G25	G25	G26	G26	G27	G27	G28	G28	G29	G29	G30	G30	G31	G31																			
	16:00～17:00	自由練習						自由練習						自由練習																						
１０月６日 （土）	7:00～ 8:30	B1	B1	B2	B2	B3	B3	B4	B4	B5	B5	B6	B6	B7	B7	B8	B8	自由練習 使用時間 7:00～17:00			自由練習 使用時間 7:00～17:00				自由練習 使用時間 7:00～17:00				自由練習 使用時間 7:00～17:00	自由練習 使用時間 7:00～17:00		自由練習 使用時間 7:00～17:00				7:00～17:00
	8:30～ 10:00	W1	W1	W2	W2	W3	W3	W4	W4	W5	W5	W6	W6	W7	W7	W8	W8																			
	10:00～11:30	M17	M17	M18	M18	M19	M19	M20	M20	M21	M21	M22	M22	M23	M23	M24	M24																			
	11:30～13:00	G32	G32	G33	G33	G34	G34	G35	G35	G36	G36	G37	G37	G38	G38	G39	G39																			
	13:00～17:00	自由練習						自由練習						自由練習																						
１０月７日 （日）	7:00～ 8:30	B9	B9	B10	B10	B11	B11	B12	B12	W9	W9	W10	W10	W11	W11	W12	W12	閉鎖			自由練習 使用時間 7:00～17:00				自由練習 使用時間 7:00～17:00				閉鎖	自由練習 使用時間 7:00～13:00		自由練習 使用時間 7:00～17:00				7:00～17:00
	8:30～10:00	G40	G40	G41	G41	G42	G42	G43	G43	M25	M25	M26	M26	M27	M27	M28	M28																			
	10:00～17:00	自由練習						自由練習						自由練習																						
１０月８日 （月）	7:00～8:30	M31	M31		B15	B15		W15	W15		G46	G46		閉鎖				閉鎖			閉鎖				閉鎖				閉鎖	閉鎖		閉鎖				7:00～10:00
	8:30～10:00		M32	M32		B16	B16		W16	W16		G47	G47																							
	10：00～	閉館						閉館																												

第1練習会場概要図(岐阜県立池田高等学校)

練習会場所在地:揖斐郡池田町六之井242-1
練習会場開設時連絡先:080-4807-6863

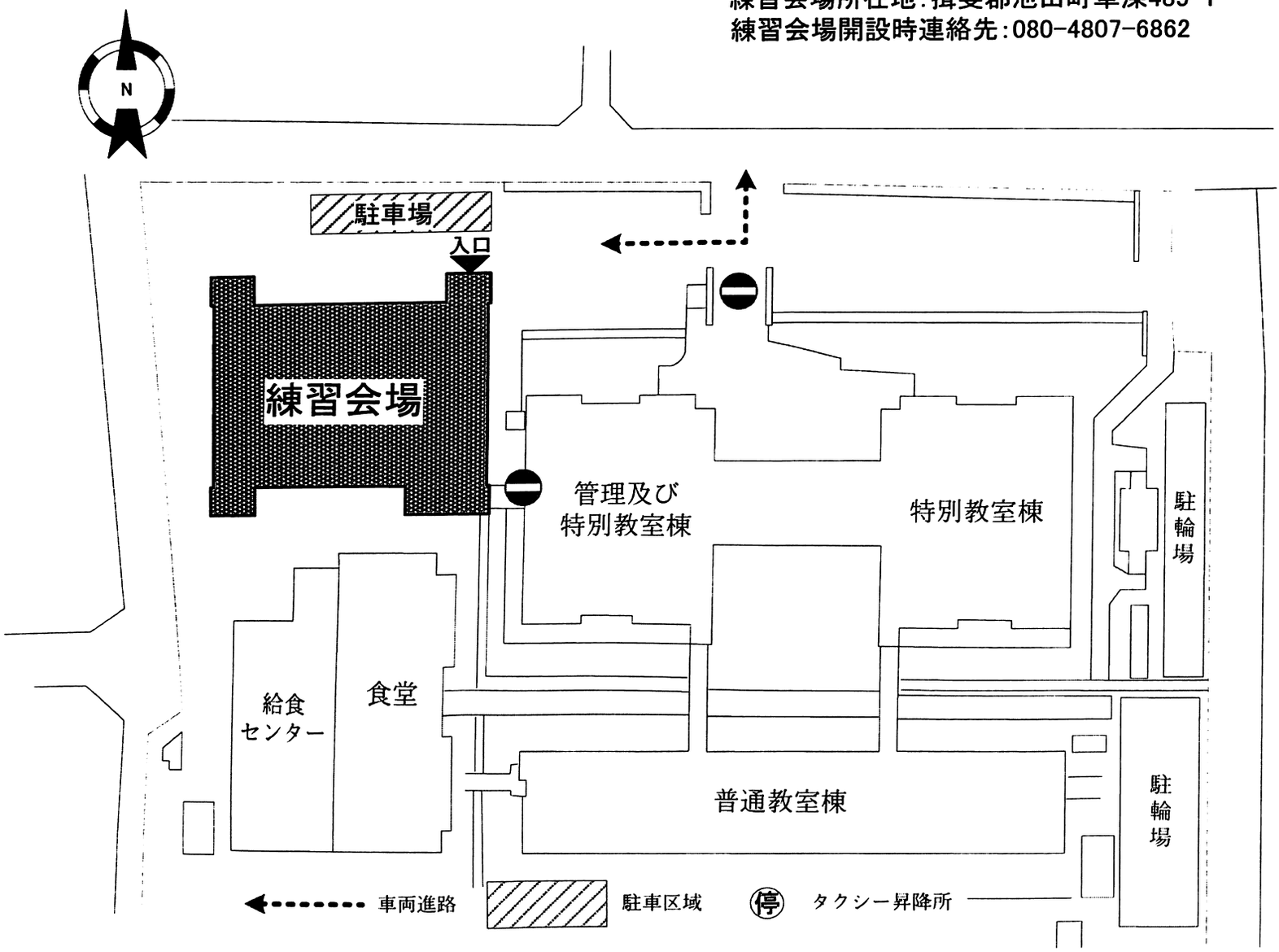


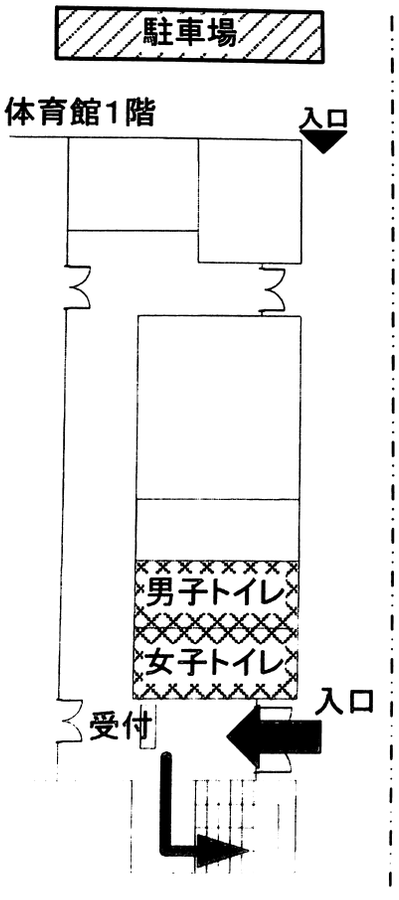


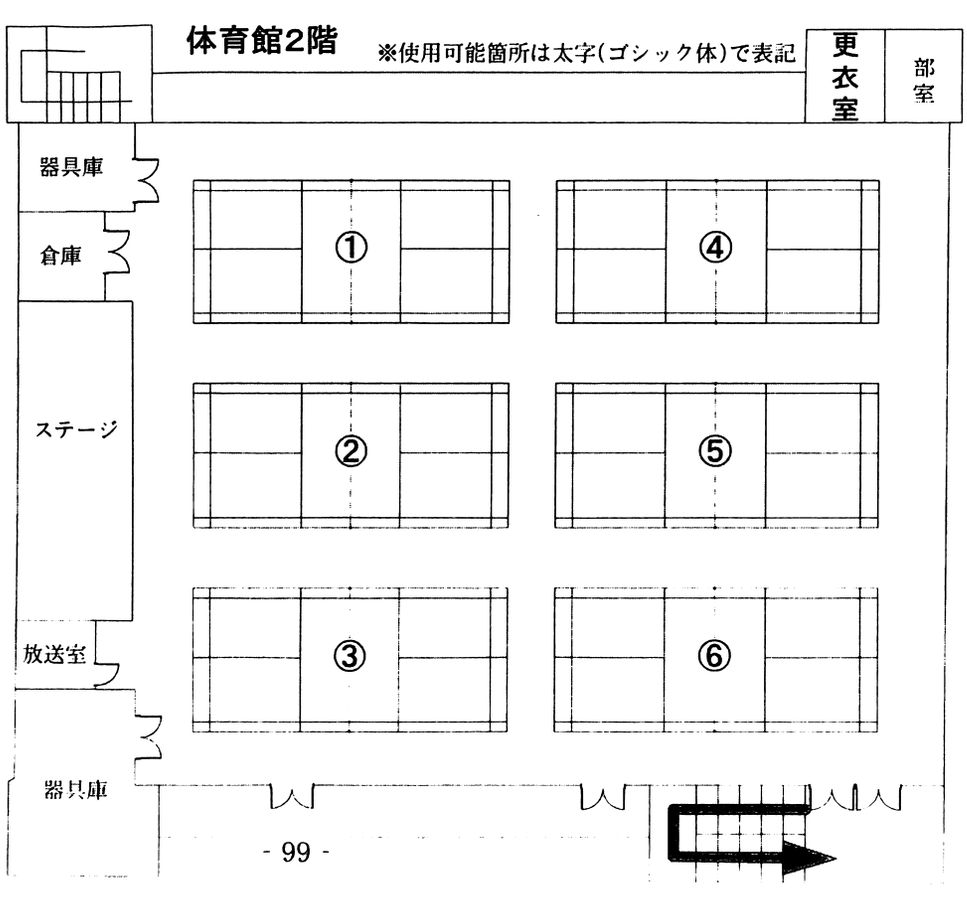
※使用可能な箇所は太字(ゴシック体)で表記

第2練習会場概要図（池田町立池田中学校）

練習会場所在地：揖斐郡池田町草深485-1
練習会場開設時連絡先：080-4807-6862

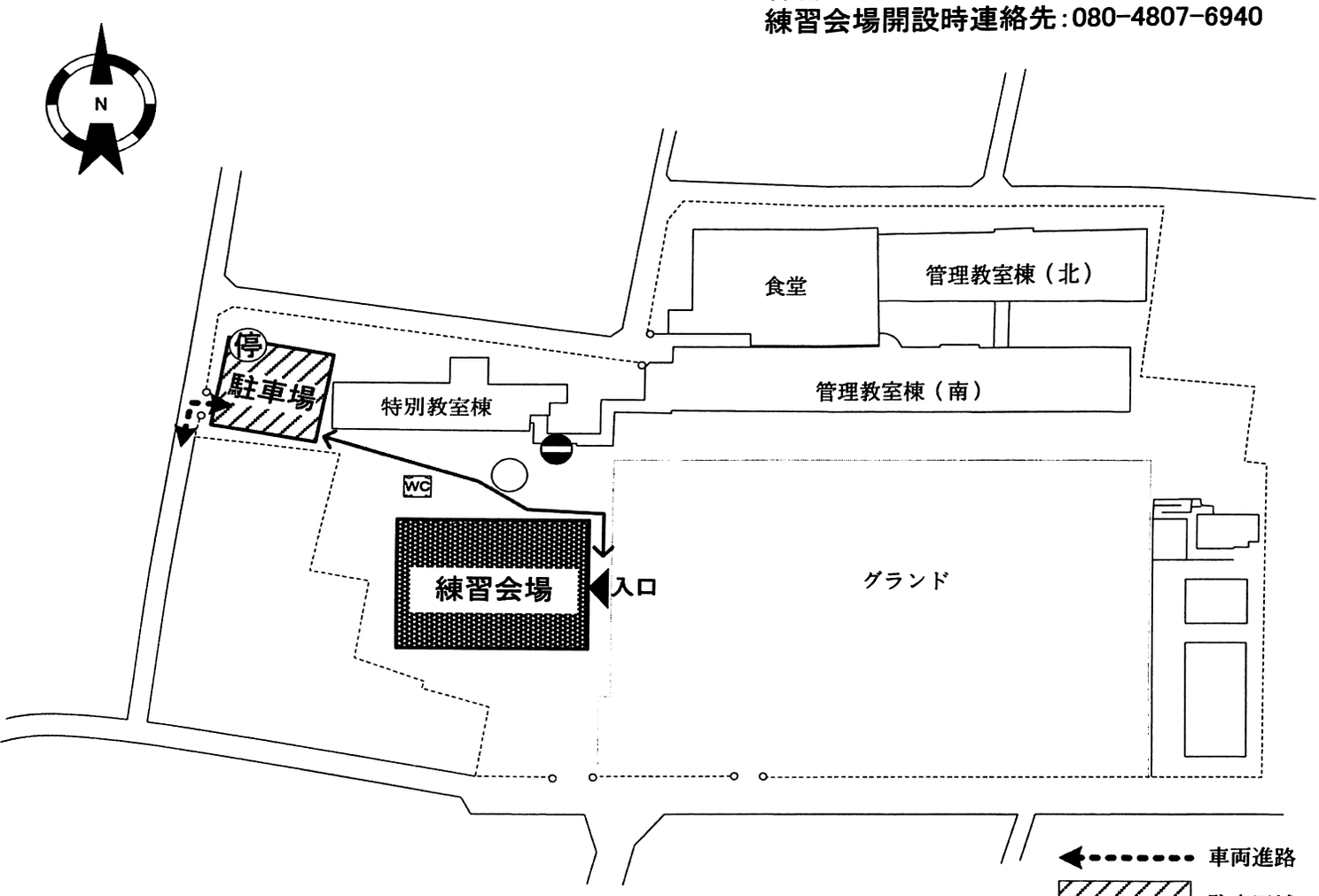


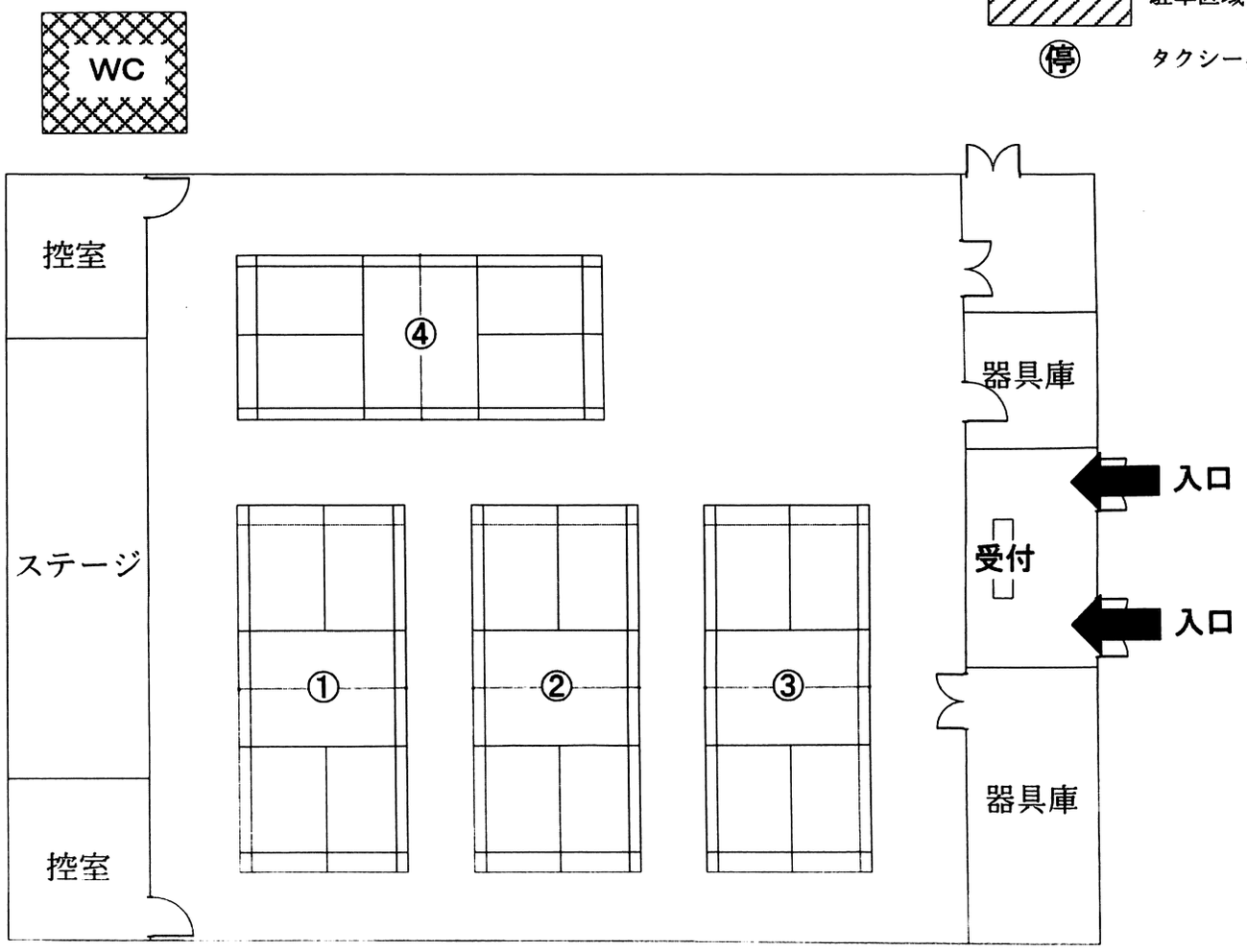




第3練習会場概要図（池田町立温知小学校）

練習会場所在地：揖斐郡池田町本郷1267
練習会場開設時連絡先：080-4807-6940

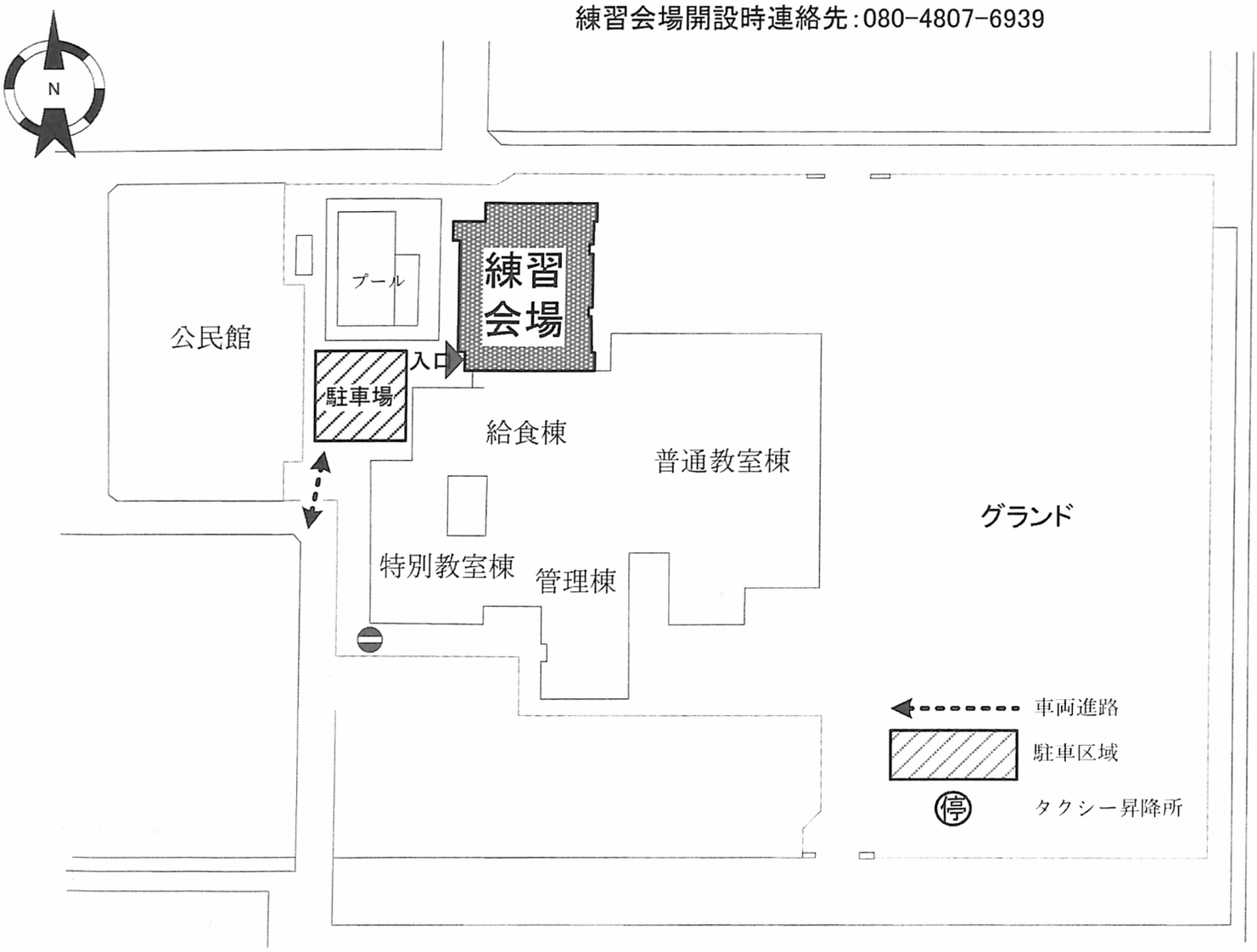


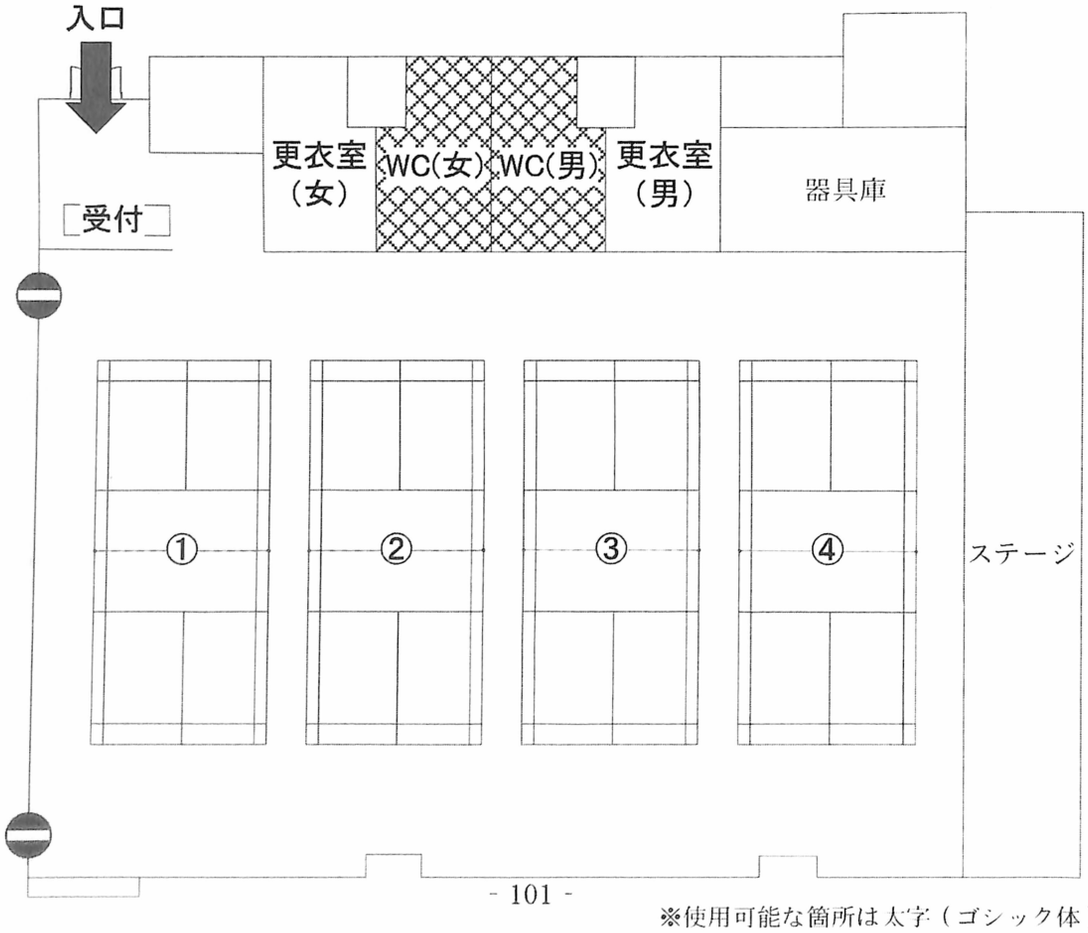


※使用可能な箇所は太字（ゴシック体）で表記

第4練習会場概要図（池田町立池田小学校）

練習会場所在地：揖斐郡池田町上田1160-1
練習会場開設時連絡先：080-4807-6939

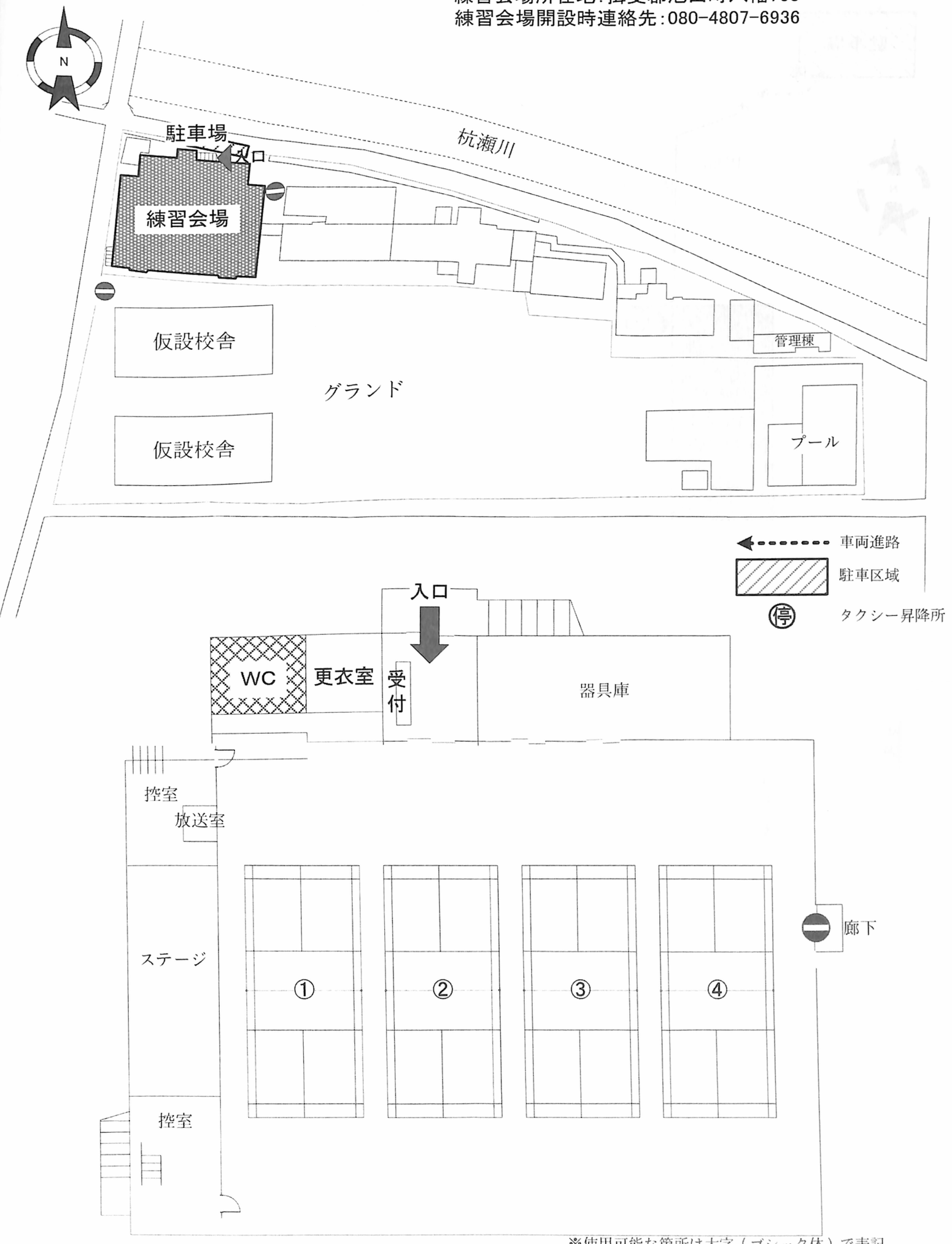




※使用可能な箇所は太字（ゴシック体）で表記

第5練習会場概要図（池田町立八幡小学校）

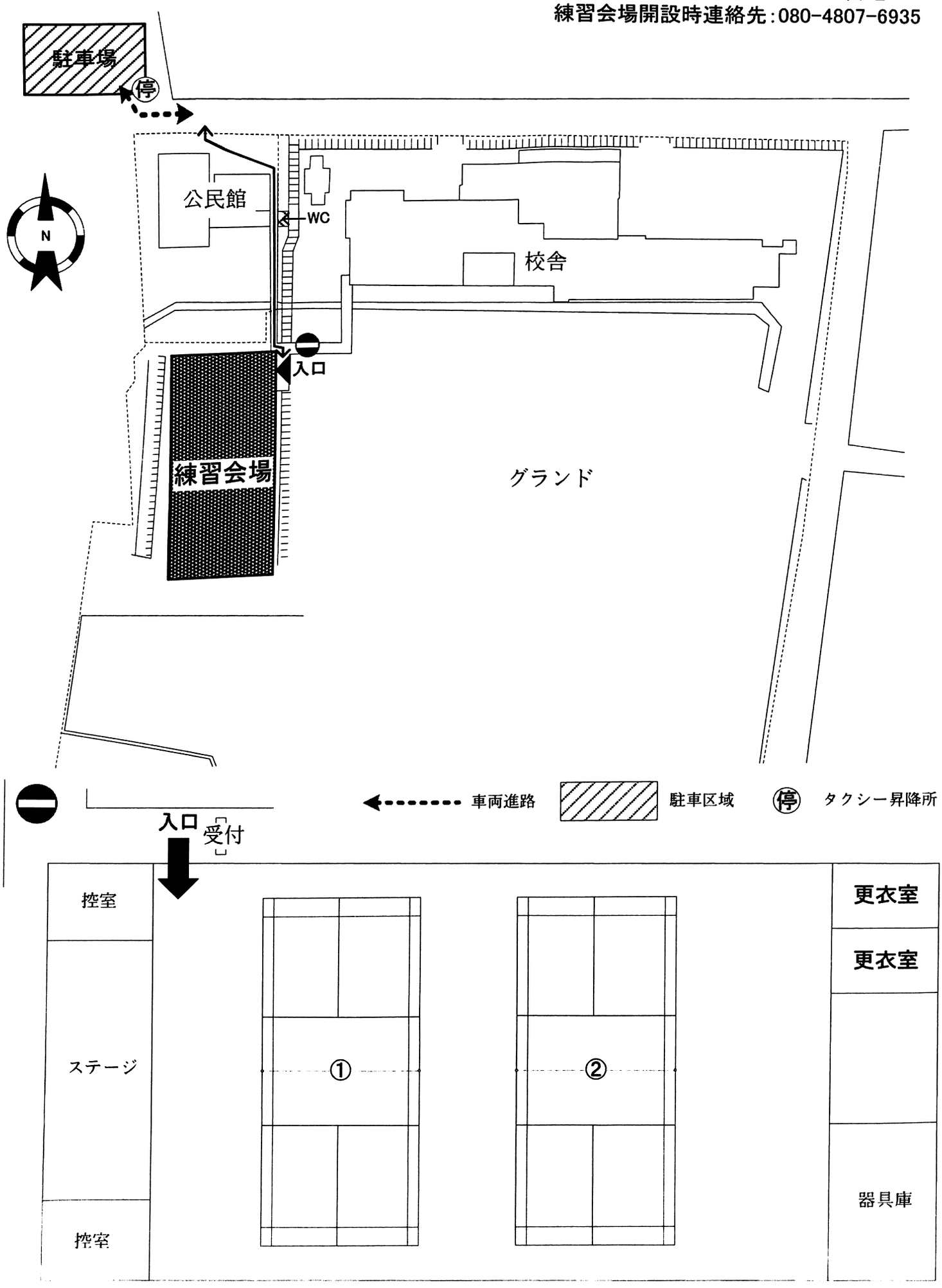
練習会場所在地：揖斐郡池田町八幡753
練習会場開設時連絡先：080-4807-6936



※使用可能な箇所は太字（ゴシック体）で表記

第6練習会場概要図（池田町立宮地小学校）

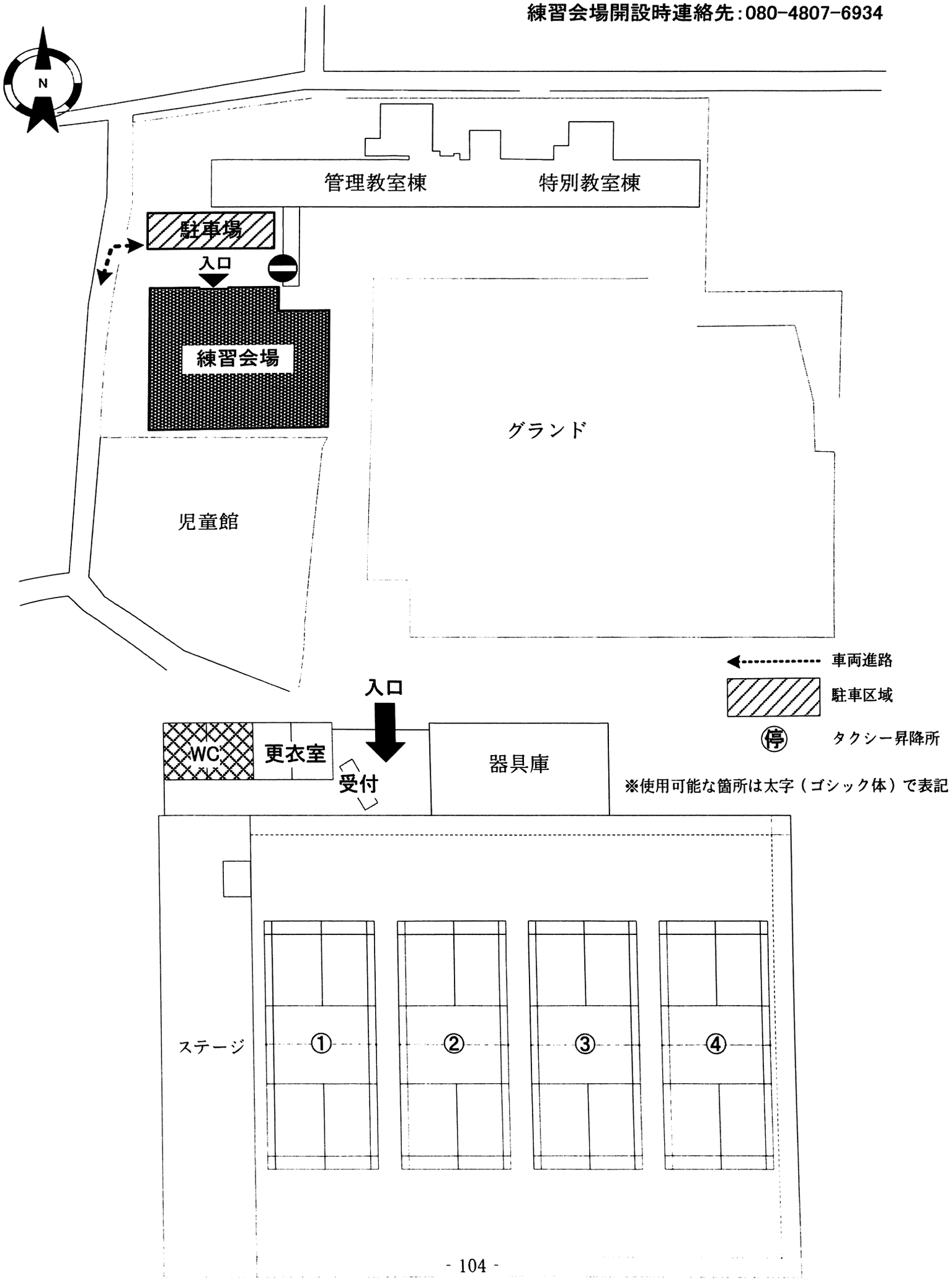
練習会場所在地：揖斐郡池田町宮地864
練習会場開設時連絡先：080-4807-6935



※使用可能な箇所は太字（ゴシック体）で表記

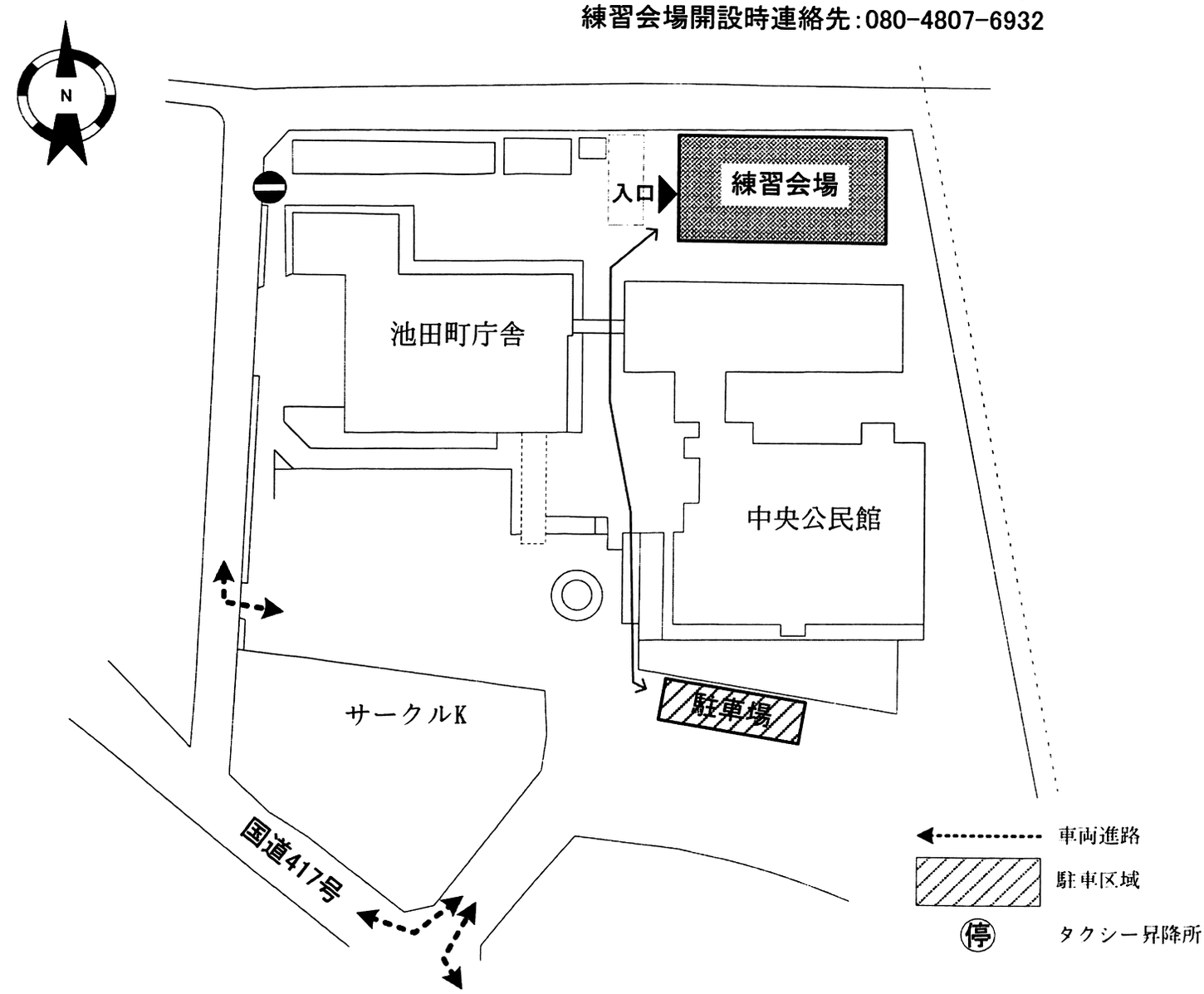
第7練習会場概要図(養基組合立養基小学校)

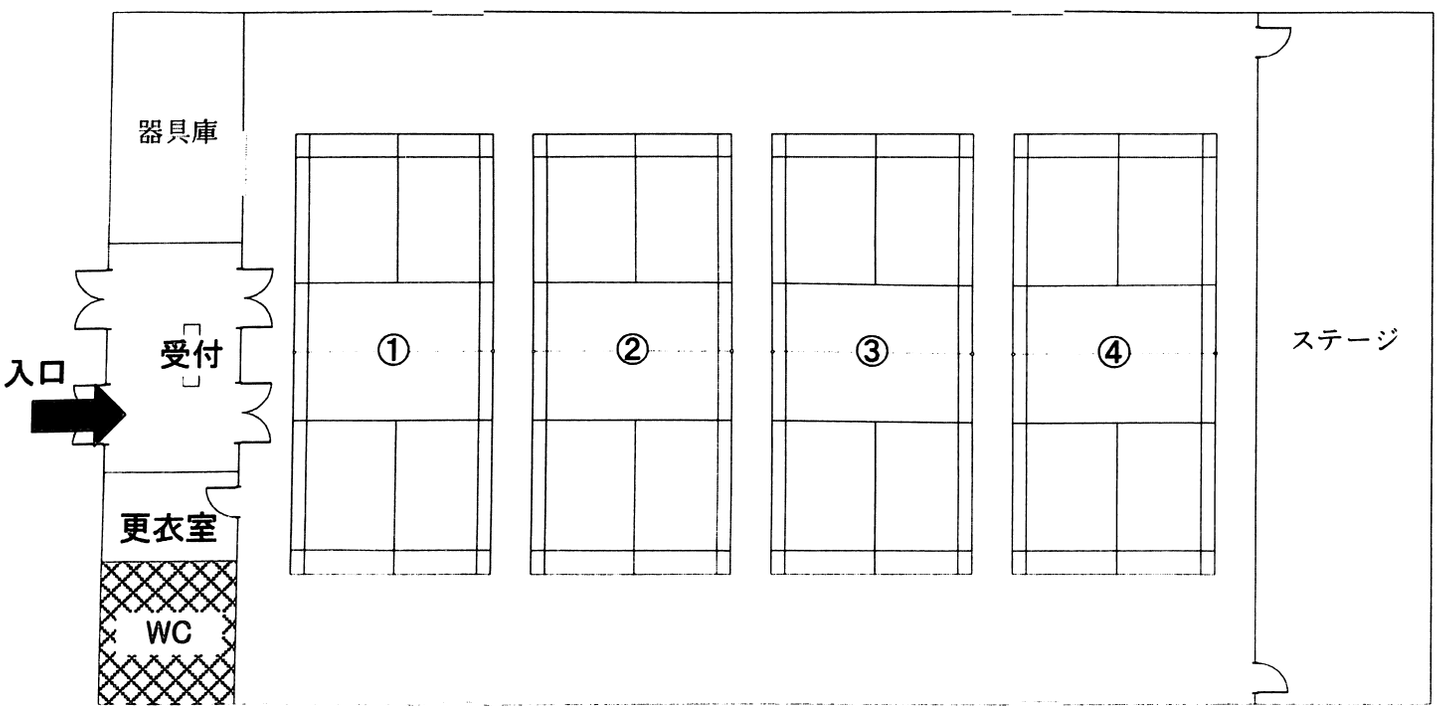
練習会場所在地:揖斐郡池田町田中555
練習会場開設時連絡先:080-4807-6934



第8練習会場概要図(多目的ホール)

練習会場所在地:揖斐郡池田町六之井1455-1
練習会場開設時連絡先:080-4807-6932

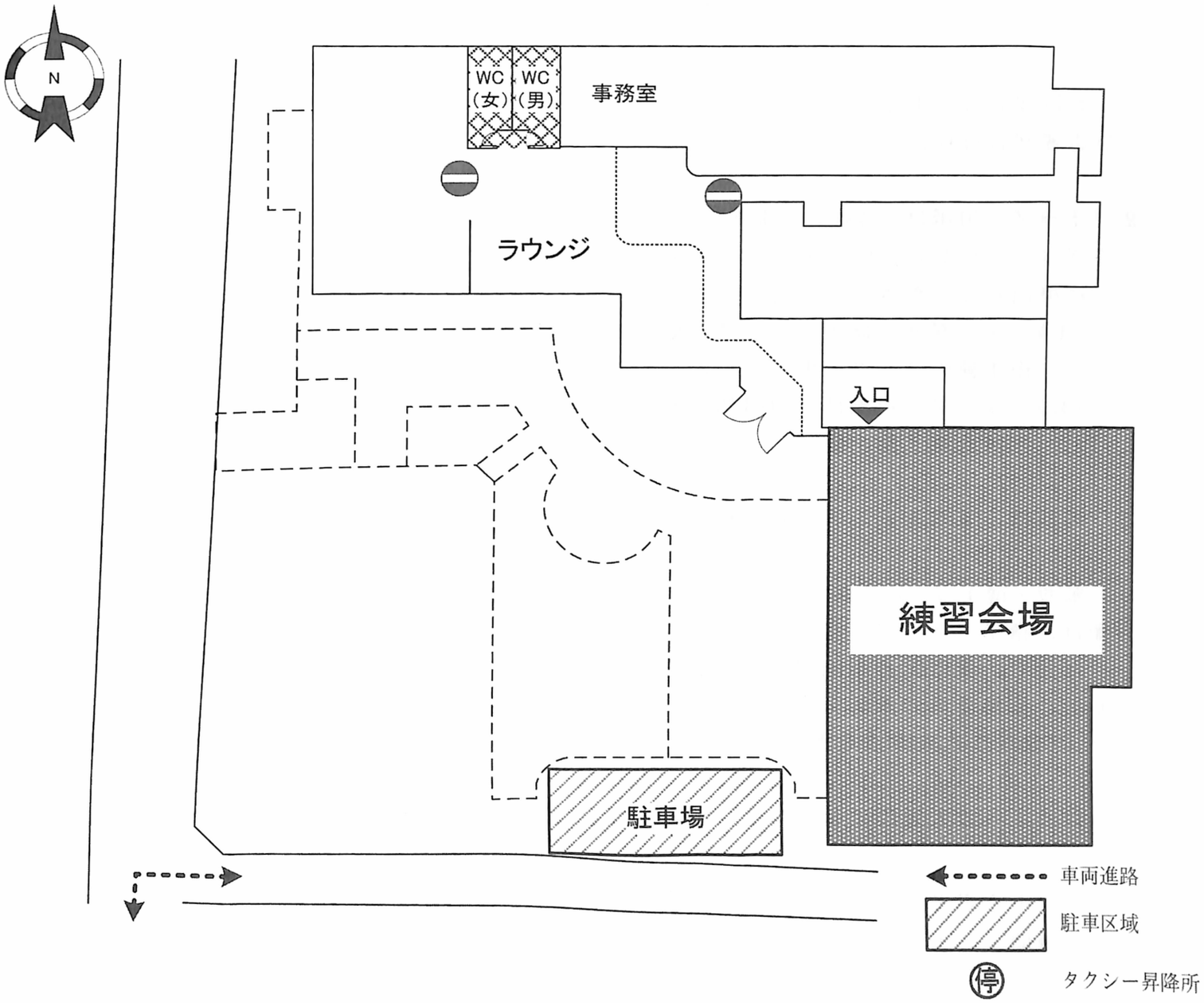


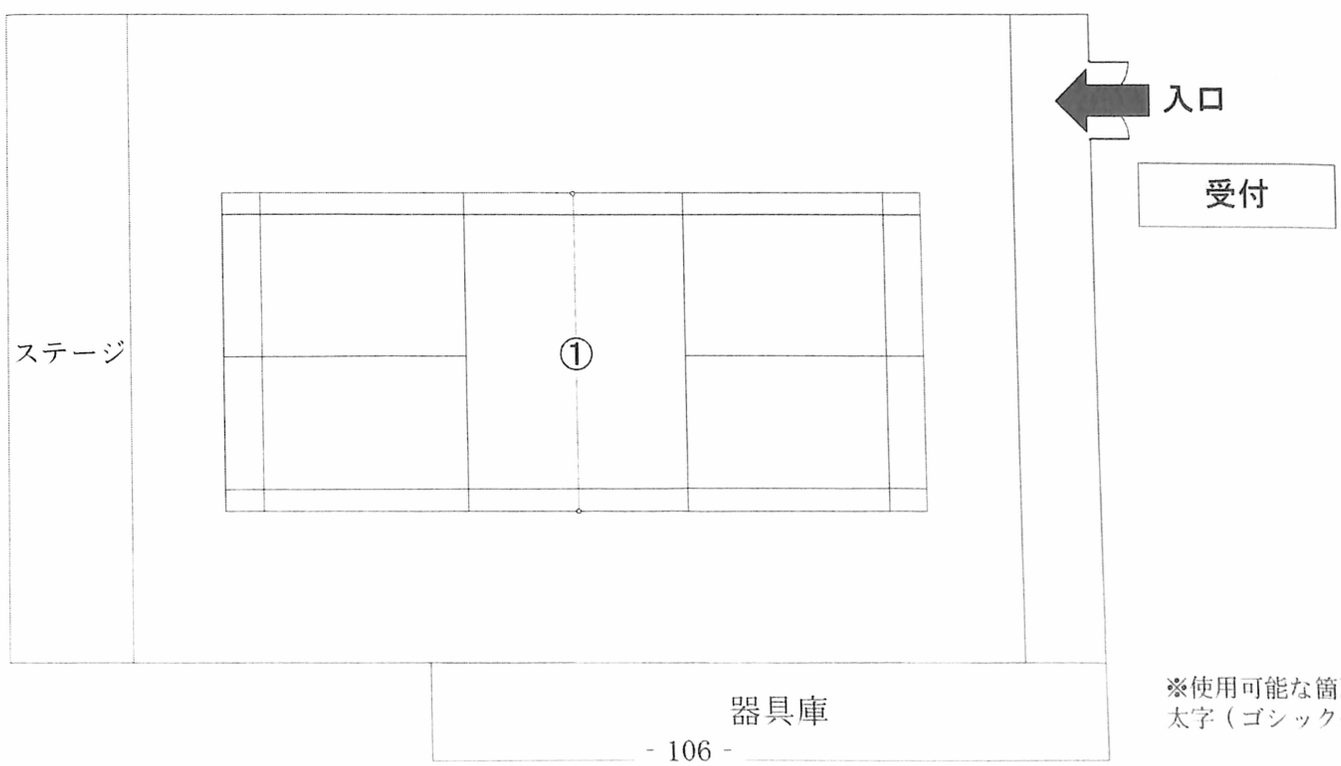


※使用可能な箇所は太字(ゴシック体)で表記

第9練習会場概要図（サンビレッジ国際医療福祉専門学校）

練習会場所在地：揖斐郡池田町白鳥104
練習会場開設時連絡先：080-4807-6931





※使用可能な箇所は
太字（ゴシック体）で表記

競技上の注意

1　本競技会は、財団法人日本バドミントン協会平成24年度競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程により行います。

2　オーダー用紙は、当該試合開始時刻45分前までに、監督がオーダー交換所へ提出してください。しかし、45分前の時点で現に試合が継続している場合は、試合終了後すみやかに提出してください。指定時刻までに提出されない場合は「棄権」とみなします。

（1）　オーダー交換は、オーダー交換所で競技審判副部長立ち会いのもと行います。

※予備のオーダー用紙は、オーダー交換所に用意してあります。

（2）　オーダー用紙は、初回試合用を監督会議時に配付します。

（3）　試合終了後、勝者チームに次のオーダー用紙を主審から配付します。

3　勝敗は、2点先取方式とし、勝敗決定後の残りの試合は行いません。

4　監督・選手は、試合開始予定時刻20分前に選手招集所に集合して、招集委員の確認を受け、指示に従ってください。

ただし、現に試合を継続している監督・選手は、試合が終了しだい選手招集所に集合して、招集委員の確認を受け指示に従ってください。この場合、前の試合が終了してから15分後に次の試合を開始します。

5　コートへの入退場については、主審の指示に従ってください。

6　コート入退場後の公式練習は、当該試合の組み合わせ若番号のチームからとし、時間は3分間とします。

7　シャトルは試打してありますので、選択は認めません。

※シャトルの交換については、主審の許可を得てください。

8　インターバルは、競技規則第16条第2項によります。

インターバル中、コートに入れるのは当該選手の外ベンチ入りしている2人までとしますが、「20秒」のコールがなされたら、当該選手以外の方は速やかにコートから離れてください。

なお、第1ゲームと第2ゲームの間及び第2ゲームと第3ゲームの間並びに第3ゲームのインターバルでは、選手がエンドを替えた後に入るようにしてください。

9　同一選手による連続試合の場合は、ウエアの着替えのみ認めますが、その場合は必ず主審に申し出てください。

10　試合が遅れている場合は、コートを並行して試合を行うことがあります。
※第２シングル戦に同一選手が連続して試合を行う場合は、ダブルス戦の試合が終了した 10 分後に開始します。

11　試合進行の都合により、コートを変更する場合があります。

12　試合中にコート内で事故が生じた場合、コートに入ることを許されるのは、競技役員長が必要と認める医療役員やその他の方に限られています。

13　競技に際しては、上衣の背面中央に必ず都道府県名のみを明示（文字は、上衣の色と明確に区別できる文字色の漢字）してください。
また、試合前の練習を含め、ベンチに控えている際にも都道府県名の分かるジャージまたは、ウエアを着用してください。

14　水分の補給について、主審の指示に従ってください。
（１）　蓋付のボトルのみ使用を許可します。
（２）　ベンチ内の給水ボトルは、必ずバック等に保管してください。
※クーラーボックスの持ち込みはご遠慮ください。また、氷のうの使用はインターバル中のみ認めます。使用後は、必ずバック等に保管してください。

15　各試合（ダブルス又は、シングルス）の開始前及び終了時には、勝敗に関係なく、主審及びサービスジャッジと握手することを心がけてください。

16　競技場内では、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。

17　その他、競技実施要項を遵守してください。

審判上の注意

1 審判員は、公益財団法人日本バドミントン協会平成 24 年度競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程に則り、厳正に競技を運営する。

2 競技規則の第9条(サービス)、第 13 条(フォルト)、第 16 条(プレーの継続、不品行な振舞い、罰則)については、厳正に判定する。

3 すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが 11 点になったとき、60 秒を超えないインターバルを認める。また、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に 120 秒を超えないインターバルを認める。[競技規則第 16 条第2項]

4 プレーヤーは、どんな事があっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはならない。[競技規則第 16 条第4項] ラケットの破損、ストリングの切断等のためラケットを交換する場合、あるいは、靴の紐を締め直す場合などは、主審の許可を得て指示に従わなければならない。(インプレー中は除く。)

5 プレーヤーがマッチ(試合)中にアドバイスを受けることができるのは、シャトルがインプレーでない場合に限る。[競技規則第 16 条第5項(1)]
監督・プレーヤーなどが、インプレー中に当該プレーヤーに対して、助言・指導することは認められない。

6 プレーヤーは、競技規則第 16 条第2項のインターバルを除き、マッチ(試合)が終了するまで主審の許可なしに、コートを離れてはならない。[競技規則第 16 条第5項(2)]
マッチ(試合)中、プレーヤーが汗拭きやそれに伴う水分補給などのため、プレーが中断しない範囲内でコートを離れる場合でも、主審の許可を得なければならない。

7 プレーヤーが競技規則第 16 条第4項(プレーの遅延)・5項(アドバイスとコートを離れることに関して)・6項(プレーヤーの禁止行為)に違反した場合、主審は違反したサイドのプレーヤーに警告し、一度警告を受けた後、再び違反した場合は、そのサイドにフォルトを宣言する。一つのサイドによる二度目のフォルトは執拗な違反と見なす。目に余る不品行な振舞い、執拗な違反、第 16 条第2項(インターバル)の違反には、その違反したサイドをフォルトとし、直ちに競技役員長(レフェリー)を呼び、指示を仰ぐ。

8 主審は、もし線審が明らかに間違ったコールをしたと確信する場合には、線審の判定を変更することができる。[競技規則第 17 条第5項]

9 競技の品位を保つため、色つき着衣を使用する場合は、公益財団法人日本バドミントン協会の審査合格品とする。[大会運営規程第 22 条]

10 審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーと監督に限り、主審に対して「質問」することができる。ただし、「抗議」あるいは「異議」であってはならない。
[大会運営規程第 34 条]

昼食弁当斡旋のご案内

「第 67 回国民体育大会バドミントン競技会」に参加される選手・監督、視察員・報道員の皆様の昼食弁当を斡旋しますので、ご希望の際は、指定の期日までにお申込み願います。

1　斡旋期間

平成 24 年 10 月 5 日（金）～10 月 8 日（月）まで

2　弁当料金

1 個　945 円（お茶付、消費税込）

3　申込方法

《競技 2 日以降（10 月 6 日～10 月 8 日分）の弁当申込をされる場合》

競技会場弁当引換所で、所定の申込書に必要事項を記入の上、代金を添えて弁当必要日の前日の午前 11 時～午後 3 時までにお申込みください。

なお、競技初日（10 月 5 日分）の弁当の申込みは別途斡旋済みです。

4　弁当の引換方法

① 競技会場の弁当引換所にて、弁当引換券と引き換えに弁当を受け取ってください。なお、申込をされた引換日・引換所以外での引き換えはできません。

② 弁当引換時間は、午前 11 時～午後 2 時までです。

5　お願い

① お弁当は引換後お早目にお召し上がりください。

② 弁当の持ち帰りはしないでください。

③ 弁当容器は必ず午後 3 時までに弁当引換所へご返却ください。

④ 弁当引換券及び弁当代金領収書の再発行はいたしません。

⑤ 宿舎でのお弁当の申込みは取り扱っておりませんのでご注意ください。

医療救護のご案内

1　傷病者が発生したとき

（1）　競技会場で傷病又は発病したとき

ア　競技会場には、『救護室』を設置し、医師、看護師、係員が対応いたします。

イ　救護室は「看板」等により、所在を示してあります。

（2）　練習会場で傷病又は発病したとき

練習会場には、簡易な救護薬品を備えておりますので、傷病者が発生した場合には、練習会場係員に申し出てください。

（3）　宿舎で傷病又は発病したとき

直接宿舎に申し出て、医療機関の紹介をしてもらうか、緊急な場合は、救急車の手配を依頼してください。なお、医療機関に移送する場合、チーム関係者が必ず同行してください。

2　治療の受け方

（1）　救護室では、応急処置及び簡易な手当てを行います。また、傷病者を医療機関に移送する必要がある場合は救急車等の手配を行います。移送の場合は、チーム関係者が必ず同行してください。なお、受診の際は、救護室で交付する「処置記録兼診療依頼書」及び「健康保険証」を医療機関に提示してください。

（2）　宿舎において傷病又は発病をし、医療機関で治療を受ける場合は、チーム関係者が同行のうえ「健康保険証」を提示してください。

（3）　診療が終了しましたら、処置結果等その後の状況を速やかに、競技会場内実施本部にご連絡ください。なお、夜間は実施本部との連絡が取れない場合がありますので、その場合は翌日にご連絡ください。

3　医療費の負担

（1）　救護室で行う応急処置及び簡易な手当て並びに救急車の利用に要する費用は無料です。

（2）　医療機関で治療を受けた費用は受診者の負担となりますので、必ず「健康保険証」を持参してください。「健康保険証」を提示しないで受診した場合は、医療費の全額が受診者負担となります。

また、医療機関までタクシー等を利用した場合の費用も、自己負担となります。

輸送のご案内

大会期間中の選手・監督の輸送については、自家用車（持込車両）、タクシー、徒歩等による方法となっています。

輸送方法

○自家用車（持込車両）

（１）競技会場

あらかじめ駐車証を発行しますので、ルームミラーにお取付いただき、指定の駐車場をご利用ください。駐車証がない場合は、一般駐車場へのご案内となります。

（２）練習会場

指定の駐車場をご利用ください。

（３）宿泊施設

各民泊協力会が用意した駐車場をご利用ください。

○タクシー

（１）利用できる期間

平成２４年１０月２日（火）～１０月９日（火）

（２）利用できる区間

原則として、民泊拠点施設から競技会場（事前練習日及び指定がある場合は民泊拠点施設から練習会場）の区間のみ利用できます。

（３）利用方法

① 乗車には、ぎふ清流国体池田町実行委員会が発行した「タクシー乗車券」が必要です。「タクシー乗車券」はチームに対して配付します。

利用できるのは、選手及び監督に限ります。同行のスタッフ等は利用できません。

② タクシーの予約は、利用時に「タクシー乗車券」に記載してあるタクシー会社に利用者が直接予約してください。

競技会関係電話番号一覧表

【競技会場及び現地実施本部】

名　　称	所　在　地	電　話　番　号　・　F　A　X		H　P
池田町総合体育館	池田町小寺722－1	TEL	(0585)45－8711	
		FAX	(0585)45－8710	
競技会場実施本部 (池田町実行委員会現地本部)	池田町小寺722－1	TEL	(0585)44－1556	
		FAX	(0585)44－1557	
競技本部・記録本部 (岐阜県バドミントン協会現地本部)	池田町小寺722－1	TEL	(0585)44－2775	
		FAX	(0585)44－2776	

※　池田町総合体育館のホームページは、池田町のホームページからアクセスしてください。

【ぎふ清流国体池田町実行委員会】

名　　称	所　在　地	電　話　番　号　・　F　A　X		H　P
ぎふ清流国体 池田町実行委員会	池田町六之井1468－1	TEL	(0585)45－3111	○
		FAX	(0585)45－8314	

※　実行委員会のホームページにつきましては、池田町のホームページからアクセスしてください

【監督会議・審判会議会場】

名　　称	所　在　地	電　話　番　号	H　P
池田町中央公民館	池田町六之井1455－1	(0585)45－7110	○

【練習会場】

名　　称	所　在　地	電　話　番　号		H　P
第1練習会場 岐阜県立池田高等学校	池田町六之井242－1	係員 携帯	080－4807－6863	○
第2練習会場 池田町立池田中学校	池田町草深485－1	係員 携帯	080－4807－6862	○
第3練習会場 池田町立温知小学校	池田町本郷1267	係員 携帯	080－4807－6940	○
第4練習会場 池田町立池田小学校	池田町上田1160－1	係員 携帯	080－4807－6939	○
第5練習会場 池田町立八幡小学校	池田町八幡753	係員 携帯	080－4807－6936	○
第6練習会場 池田町立宮地小学校	池田町宮地864	係員 携帯	080－4807－6935	○
第7練習会場 養基組合立養基小学校	池田町田中555	係員 携帯	080－4807－6934	○
第8練習会場 多目的ホール	池田町六之井1455－1	係員 携帯	080－4807－6932	
第9練習会場 サンヒレッジ国際医療福祉専門学校	池田町白鳥104	係員 携帯	080－4807－6931	○

【関係機関】

名　　称	所　　在　　地	電　　話　　番　　号	H P
揖斐警察署	揖斐郡揖斐川町上南方4－5	(0585)23－0110	○
揖斐郡消防組合消防本部	揖斐郡大野町中之元824	(0585)32－0119	○
大垣消防組合北部消防署	池田町八幡2675	(0585)45－3733	
西濃保健所揖斐センター	揖斐郡揖斐川町上南方1－1 揖斐総合庁舎1階	(0585)23－1111	○

【救急・夜間協力病院】

医　療　機　関　名	所　　在　　地	電　　話　　番　　号	H P
新生病院	池田町本郷1551－1	(0585)45－3161	○
揖斐厚生病院	揖斐郡揖斐川町三輪2547－4	(0585)21－1111	○

【タクシー会社】

会　　社　　名	所　　在　　地	電　　話　　番　　号
揖斐タクシー 池野配車センター	池田町池野255－4	(0585)45－3939
スイトタクシー 池野営業所	池田町六之井1377	(0585)45－4321
岐阜近鉄タクシー 配車センター	大垣市静里町字蓮町555	(0584)27－2149

スポーツ宣言日本　～21 世紀におけるスポーツの使命～

スポーツは、自発的な運動の楽しみを基調とする人類共通の文化である。スポーツのこの文化的特性が十分に尊重されるとき、個人的にも社会的にもその豊かな意義と価値を望むことができる。とりわけ、現代社会におけるスポーツは、暮らしの中の楽しみとして、青少年の教育として、人々の交流を促し健康を維持増進するものとして、更には生きがいとして、多くの人々に親しまれている。スポーツは、幸福を追求し健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものとなったのである。

既にユネスコは、1978 年の「体育とスポーツに関する国際憲章」において、スポーツが全ての人々の基本的な権利であることを謳っている。しかし、今もなお、様々な理由によりスポーツを享受できない人々が存在する。したがって、遍く人々がスポーツを享受し得るように努めることは、スポーツに携わる者の基本的な使命である。

また、現代社会におけるスポーツは、それ自身が驚異的な発展を遂げたばかりでなく、極めて大きな社会的影響力をもつに至った。今やスポーツは、政治的、経済的、さらに文化的にも、人々の生き方や暮らし方に重要な影響を与えている。したがって、このスポーツの力を、主体的かつ健全に活用することは、スポーツに携わる人々の新しい責務となっている。

この自覚に立って 21 世紀のスポーツを展望するとき、これまでスポーツが果たしてきた役割に加えて、スポーツの発展を人類社会が直面するグローバルな課題の解決に貢献するよう導くことは、まさに日本のスポーツが誇れる未来へ向かう第一歩となる。

このことに鑑み、21 世紀における新しいスポーツの使命を、スポーツと関わりの深い 3 つのグローバルな課題に集約し、以下のように宣言する。

1. スポーツは、運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、人々のつながりを深める。人と人との絆を培うこのスポーツの力は、共に地域に生きる喜びを広げ、地域生活を豊かで味わい深いものにする。

   21 世紀のスポーツは、人種や思想、信条等の異なる多様な人々が集い暮らす地域において、遍く人々がこうしたスポーツを差別なく享受し得るよう努めることによって、公正で福祉豊かな地域生活の創造に寄与する。

2. スポーツは、身体活動の喜びに根ざし、個々人の身体的諸能力を自在に活用する楽しみを広げ深める。この素朴な身体的経験は、人間に内在する共感の能力を育み、環境や他者を理解し、響き合う豊かな可能性を有している。

   21 世紀のスポーツは、高度に情報化する現代社会において、このような身体的諸能力の洗練を通じて、自然と文明の融和を導き、環境と共生の時代を生きるライフスタイルの創造に寄与する。

3. スポーツは、その基本的な価値を、自己の尊厳を相手の尊重に委ねるフェアプレーに負う。この相互尊敬を基調とするスポーツは、自己を他者に向けて偽りなく開き、他者を率直に受容する真の親善と友好の基盤を培う。

   21 世紀のスポーツは、多様な価値が存在する複雑な世界にあって、積極的な平和主義の立場から、スポーツにおけるフェアプレーの精神を広め深めることを通じて、平和と友好に満ちた世界を築くことに寄与する。

現代社会におけるスポーツは、オリンピック競技大会等の各種の国際競技会において示されるように、人類が一つであることを確認し得る絶好の機会である。したがって、スポーツが、多様な機会に、グローバル課題の解決の重要性を表明することは極めて重要である。

しかし、スポーツに携わる者は、そのような機会を提供するだけではなく、スポーツの有する本質的な意義を自覚し、それを尊重し、表現すること、つまりスポーツの 21 世紀的価値を具体化し、実践することによって、これらの使命を達成すべきである。その価値とは、素朴な運動の喜びを公正に分かち合い感動を共有することであり、身体的諸能力を洗練することであり、自らの尊厳を相手の尊重に委ねる相互尊敬である。遍く人々がこのスポーツの 21 世紀的価値を享受するとき、本宣言に言うスポーツの使命は達成されよう。

スポーツに携わる人々は、これからの複雑で多難な時代において、このような崇高な価値と大いなる可能性を有するスポーツの継承者であることを誇りとし、その誇りの下にスポーツの 21 世紀的価値の伝道者となることが求められる。

平成 23 年 7 月 15 日
日本体育協会・日本オリンピック委員会
創立 100 周年記念事業実行委員会
会　長　　森　　喜朗

詳細につきましては、日本体育協会・日本オリンピック委員会のホームページをご参照ください。
http://www.japan-sports.or.jp/
http://www.joc.or.jp/

真のチャンピオンのために FOR THE REAL CHAMPION

JADA PLAY TRUE
Japan Anti-Doping Agency

スポーツの本当の勝者とは何か
なぜ人はスポーツに感動し、感化されるのか
スポーツを通して何を達成しようとするのか、達成されるのか
強いものが真のチャンピオンとして美しくあるために、
JADAは進化を続け、アンチ・ドーピング活動を推進していく。

JADAのミッションとは…

- スポーツの価値の保全及び向上
- 全ての競技者が公正・公平な条件のもとに競技できる環境を整える
- スポーツの振興及び健全な発展



ドーピングってなに？

ドーピングとは、競技力を高めるために薬物などを使用したり、それらの使用を隠したりする行為です。
ドーピングを許してしまうことは、スポーツの健全な発展を妨げます。
ドーピングをなくすためには、アスリート、そしてアスリートを支える監督やコーチ、スポーツ関係者、
医療関係者、そしてアスリートの家族の方々の理解と協力が何よりも大切です。
一緒にアンチ・ドーピングについて学んでいきましょう。

ドーピング防止ガイドブック



ドーピング防止ガイドブックWEB版、
Androidアプリには、ガイドブック全ての
内容が掲載されています。
また、クイズも用意されているので、得た
知識を確認してみよう!

WEB版
http://www.playtruejapan.org/guidebook/

Androidアプリ
https://play.google.com/store/apps/details?id=org.playtruejapan.antidoping

無料でダウンロードできます

ガイドブックでドーピング防止について学んだら…

Real Winnerを体験してわからないところがあれば…

Real Winner

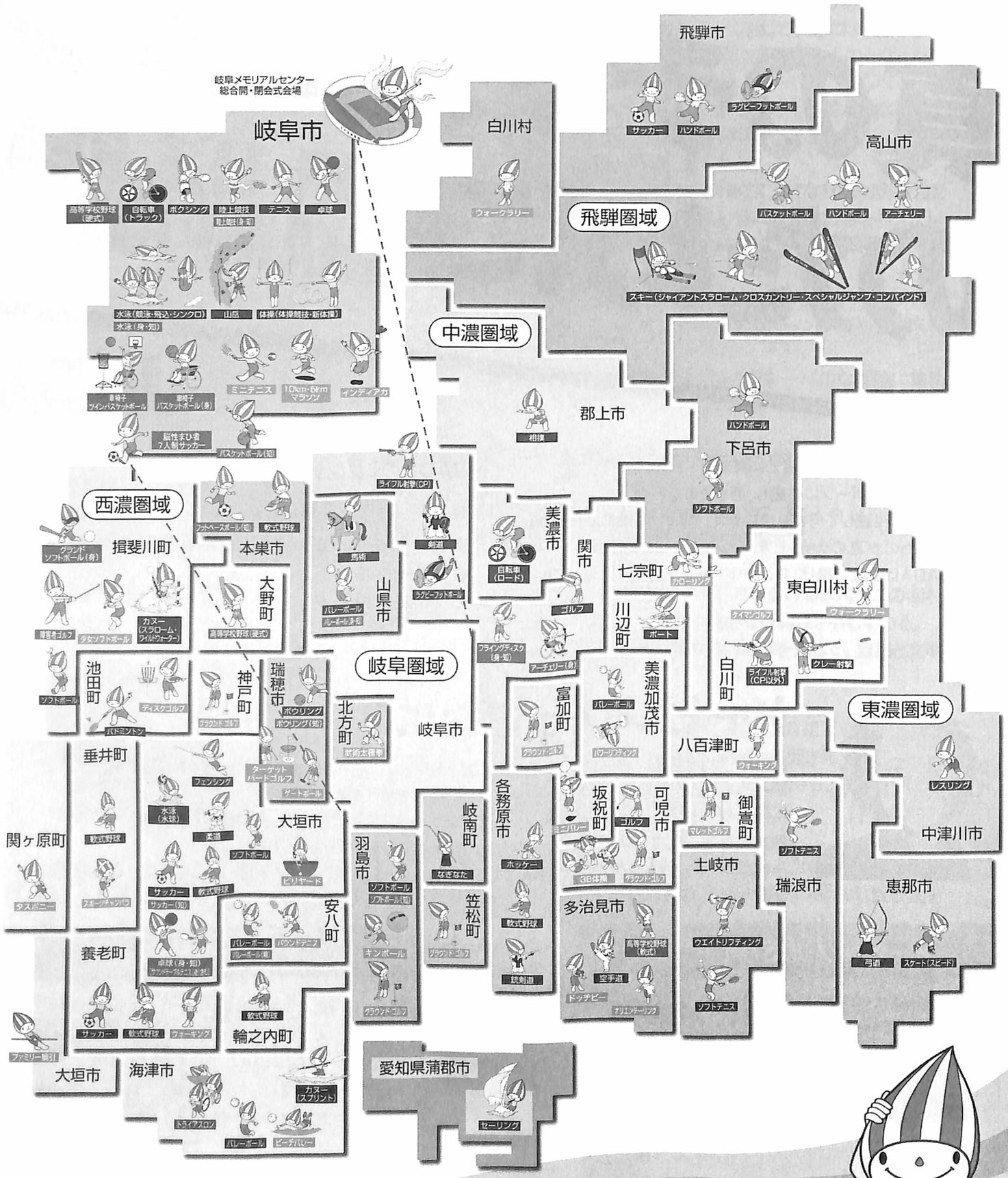
アスリートの「良き助言者」役
となって、アンチ・ドーピング
に関する9つのストーリー
を体験できる、
Eラーニング・プログラムです。



http://jada.realwinner.org/



会場地マップ



国体の正式競技　39競技（冬季2競技を含む）

国体の公開競技　2競技

デモスポ行事　26行事（32会場）

子どもからお年寄りまで幅広く親しまれている
レクリエーションスポーツ行事

大会の正式競技　13競技

※（身）…身体障がいのある方が出場する競技
（知）…知的障がいのある方が出場する競技
（精）…精神障がいのある方が出場する競技

大会のオープン競技　3競技

冬季大会のスケート競技、スキー競技は
2012年1月～2月に実施済みです。

環境にやさしい大会の実現に向けて！
★★みなさまのご協力お願いいたします★★



本大会実行委員会では、環境にやさしい大会運営をめざしています。
環境にやさしい取り組みは、ちょっとした配慮からはじまります。
全ての大会関係者が一体となり「環境にやさしい大会運営」を進めていきましょう。

①ごみのポイ捨て禁止

ごみは持ち帰るか会場内に設置しているごみ箱に捨てるようにしましょう。

②ごみの分別

会場内のごみ箱は4分別となっています。
ごみは分別してごみ箱に捨てるようにしましょう。
〈分別方法〉
1、可燃ごみ　2、ペットボトル　3、ビン　4、缶

③自家用車の乗り合い

自家用車で来場される場合は、出来るだけ乗り合いで来場されるようお願いいたします。

④アイドリングストップ

二酸化炭素の排出量削減と騒音防止のため、アイドリングストップにご協力ください。

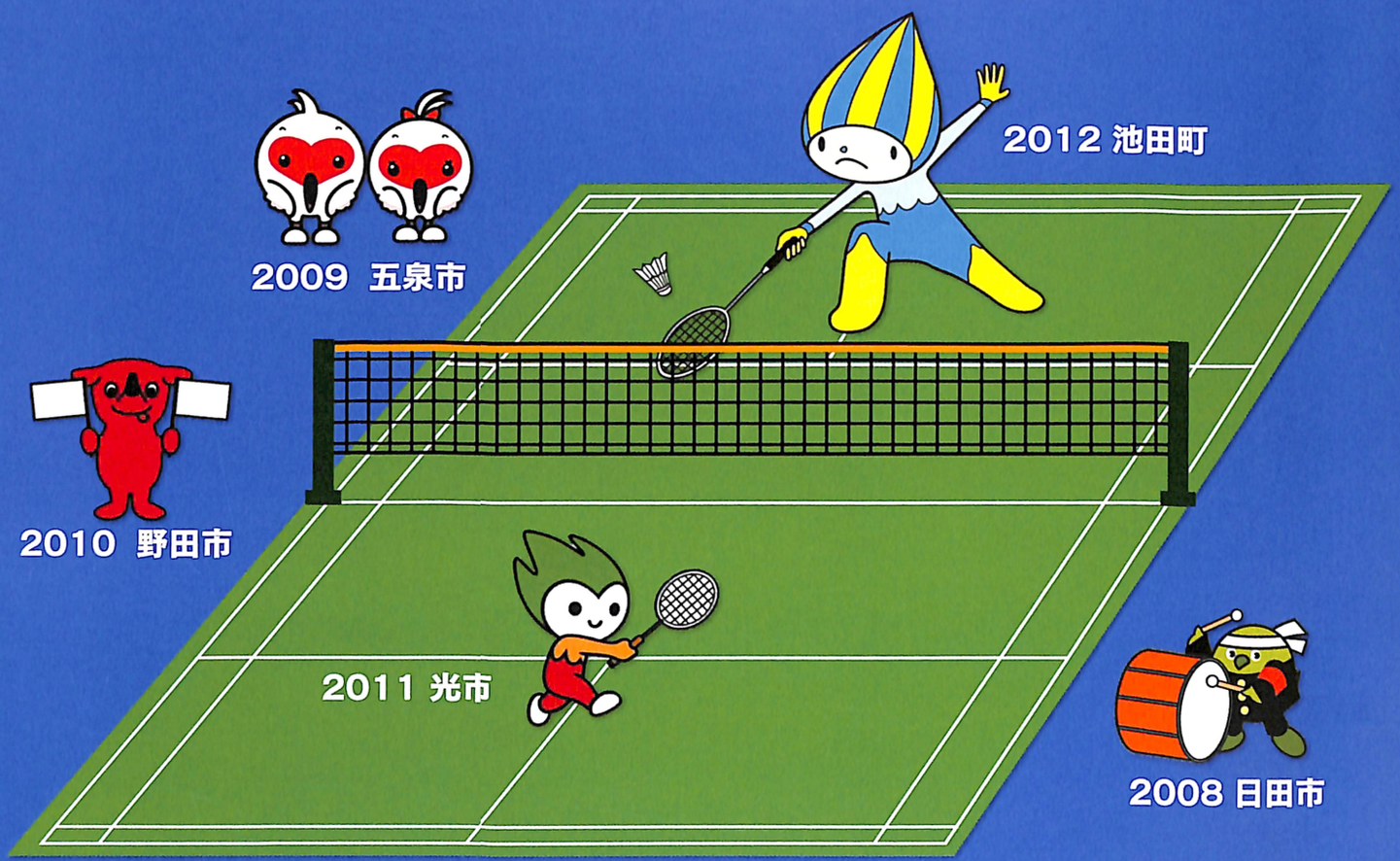
⑤指定の場所で喫煙を

競技会場（館内）は、全面禁煙となっています。
喫煙される方は、指定の喫煙所で喫煙くださいますようご協力お願いいたします。





The 67th National Sports Festival in Gifu





来年は東京都町田市でお会いしましょう!

≪競技記録速報≫

平成24年9月12日(水)～平成24年10月31日(水)
全競技・全試合の結果を速報します。
〔インターネット〕
http://www.kirokukensaku.com/minamo2012/
〔携帯サイト〕
http://www.keitai.kyogikekka.com/minamo2012/
※携帯電話のバーコードリーダーで読み取ると携帯サイトに簡単にアクセスできます。
（未対応の機種があります。）

QRコード

≪競技記録電話案内≫

岐阜県記録本部　総務・情報案内係
■本大会／ TEL 058-295-8901
《案内期間》平成24年9月28日(金)～ 10月9日(火)　9:00 ～ 20:00
(ただし、9月28日及び10月9日は9:00 ～ 17:00)